

設 移	再 設	既 設 現 在 ノ 儘	既 設	事 別	
				電 熱	電 動 力
同	同	同	個 所	屋 外 燈	容 量 承 口 臺 數
同	同	同	個 所	屋 內 燈	容 量 承 口 臺 數
			定 從	屋 外 燈	容 量 承 口 臺 數
			定 從	屋 內 燈	容 量 承 口 臺 數
			ト キ ロ ワ ツ	容 量	容 量 承 口 臺 數
			ト キ ロ ワ ツ	容 量	容 量 承 口 臺 數
			力 ト 又 ハ 馬	容 量	容 量 承 口 臺 數

摘 要	家主又ハ家屋管理人	移設後供給方法	工 事 別		
			位 置 變 更	改 修	撤 去
	區		同	同	同
	町		同	同	同
	丁目				
	番地				

電燈屋内配線露出工事ナルトキハ其旨摘記スルコト
(様式第九號甲)

給水装置移設工事申請書

申請第 號

土地區劃整理ノ爲バラツク移轉ニ付下記ノ通工事施行ヲ要シ候ニ付テハ之カ費用ヲ貴市ニ於テ御負擔ノ上實施方可然御取計被成下度然ル上ハ
本工事及装置ノ整理ニ關シテハ一切貴市ニ御任セ致シ後日異議申間敷候也

年 月 日

所有者 區 町 丁目 番地

職業

東京市 復興事業局第 出張所御中

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

水 栓 所 在	種 別 番 號	區 劃 整 理 地 區	移 轉 場 所	移 轉 豫 定 年 月 日	現 使 用 者	地 主 又 ハ 家 主	摘 要
區 町 丁目 番地	栓 第 號	第 地區 第 群 換地第 號 バラック第 號	區 年 丁目 番地	年 月 日		區 町 丁目 番地	

(様式第九號乙)

瓦斯裝置移設申請書

申請第 號

土地區劃整理ノ爲メバラック移轉ニ付下記ノ通り工事施行ヲ要シ候ニ付テハ之ガ費用ヲ貴市ニ於テ御負擔之上實施方可然御取計被成下度然ル
上ハ工事ニ關シテハ一切貴市ニ御任セ致シ後日異議申間敷候也

年 月 日

所有者職業 區 町 丁目 番地

東京市復興事業局第 出張所御中

土地區劃整理ノ爲メバラツク移轉ニ付下記ノ通り工事施行ヲ要シ候ニ付テハ之ガ費用ヲ貴市ニ於テ御負擔之上實施方可然御取計被成下度然ル
上ハ工事ニ關シテハ一切貴市ニ御任セ致シ後日異議申間敷候也

年 月 日

所有者職業 區 町 丁目 番地

東京市復興事業局第 出張所御中

現在引用場所	區 町 丁目 番地 建物所在使用者	移轉場所	區 町 丁目 番地	移轉豫定年月日	家主又ハ差配	種類	燈 用	熱 用	其 他	摘 要
						現 在 口 數				
						移 設 口 數				
						修 理 口 數				

(様式第九號丙)

電燈電熱及電動力移設工事申請書 申請第 號

土地區劃整理ノ爲メバラツク移轉ニ付下記ノ通り工事施行ヲシ候ニ付テハ之ガ費用ヲ貴市ニ於テ御負擔ノ上實施方可然御取計被成下度然ル上本
工事及装置ノ整理ニ關シテハ一切貴市ニ御任セ致シ後日異議申間敷候也

年 月 日

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

東京市

復興事業局第 出張所御中

移設後供給方法	移設工事別					既設	工種別		移轉豫定年月日	區劃整理地區	現使用者職業	移設使用場所	現在使用場所
	位置變更	改修	撤去	再設	既設現在ノ儘		電熱	電力					
	同	同	同	同	同	個所	屋外燈	電燈	年	地區第	氏名	區	區
	同	同	同	同	同	個所	屋內燈	電燈	月	群	換地第	町	町
						キロワット	容量	電	日	號	換地第	丁目	丁目
							承口	熱		號	號	番地	番地
							臺數	電					
						又ハ馬力	容量	動力					
							臺數	力					

移設後供給方法	工事		
	別	改	撤
	位置變更	修同	去同
		同	同

家主又ハ家屋管理人	區	町	丁目	番地
	摘要			

電燈屋内配線露出工事ナルトキハ其旨摘記スルコト

(様式第一〇號)

年 月 日

出張所

宛

何々工事申込書

何々出張所管内(又ハ何々)

工事 個所

着手年月日

竣工年月日

費用 金額 金 圓

費用 負擔關係「全額又ハ半額補償」

内 譯

工事種類	名稱	種類	形狀	寸法	單位	員數	單價	金額	摘要

(様式第一一號)

契約書

一金 圓也 補償金額「金 圓ノ内半額補償」

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

二九二

右金額ニ依リ何々會社代表者何某ヲシテ東京都市計畫土地區劃整理施行ニ伴フ何々工作物ニ關スル整理ヲ爲サシムル爲區劃整理施行者東京市長何某ヲ甲事業者何々會社代表者何某ヲ乙トシ契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ甲ノ申込書ニ依リ甲ノ指示ニ遵ヒ其ノ指定スル期間内ニ之ヲ整理スヘシ

第二條 乙ハ甲ノ制定セル地下埋設物其他工作物整理實施手續中ニ記載セル義務ヲ履行スヘシ

第三條 工事施行又ハ設計變更ノ結果整理物件ノ種類數量等ニ附キ異動ヲ生シタルトキハ甲ハ協定單價ニ依リ補償金額ヲ増減スヘシ

第四條 第一條ノ整理ヲ終了シタルトキハ甲ハ其ノ補償金額ヲ乙ニ支拂フヘシ

右契約ノ證トシテ本證書貳通ヲ作成シ當事者各壹通ヲ保有ス

年 月 日

東京都市計畫土地區劃整理施行者

東京市長 何

某

事業者

何々會社代表者

何

某

(様式第一二號)

請 書

一金 圓也 補償金額「金

圓ノ内半額補償」

東京都市計畫土地區劃整理施行ニ伴ヒ支障トナルヘキ當社所有(局、課所轄)物件ノ整理方申込相受ケ候ニ付テハ地下埋設物其他工作物整理實施手續中ニ記載スル義務ヲ履行スル外御指揮ニ基キ指定期間内ニ實施可任仍テ請書差出候也

年 月 日

住 所

氏 名

東京都市計畫土地區劃整理施行者

東京市長

何 某 宛

實施手續中ニ記載スル義務ヲ履行スル外御指揮ニ基キ指定期間内ニ實施可仕仍テ請書差出候也

年 月 日

住所 氏名

東京都市計畫土地區劃整理施行者
東京市長 何 某宛

整理スヘキ物件ノ表示

東京何々第何地區又ハ何線何號(何々橋)

一 瓦斯本管線(又ハ引込線屋内線)

(様式第一三號)

請 求 書

一金 圓

但シ何年何月何日契約(又ハ要求)ニ係ル何々工事整理費

右及請求候也

年 月 日

住所

氏名

東京市長 何 某宛

市及會社有地下埋設物其ノ他工作物整理費補償審査内規中疑義ノ件

(昭和二年五月十一日復興事業局長宛復興局)
(土木部長通牒復土發第七六一號)

標記ノ件ニ關シ甲號ノ通り當局東京第二出張所長ヨリ照會有之乙號ノ通り回答致置候ニ付爲御參考通知候也

甲 號 (昭和二年一月二十八日復興局土木部長宛)
(第二出張所長照會復東二工發第二七四號)

乙 號 (昭和二年五月十一日第二出張所長宛復興局)
(土木部長回答復土發第七六一號)

(甲號)

市及會社有地下埋設物其他工作物整理費補償内規中橋梁及其添架物ヲ移設スル場合ニ於ケル補償ニ關シ疑義有之候ニ付左記ノ通り解釋相成可
然哉

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

左記

一 應急整理工事ニシテ全額補償スルモノ

第五條 當局工事ニシテ支障アル各種管線路及専用橋梁（橋梁添架物ヲ除ク）ノ整理工事

但シ移設ニ伴ヒ在來設備ヲ變更スル場合（例ヘバ専用橋ヲ伏越ニ變更スルカ如シ）ニハ在來設備ノ程度ニ於ケル整理工事費ノ範圍内ニ於テ補償スルコト

解釋 但書ニヨリ在來設備ヲ變更シタル場合ノ補償ノ程度ヲ限定セラレタル以上ハ本文中「専用橋梁」ハ其ノ添架物ヲモ含マレタルモノト解釋シテ宜シキヤ

（橋梁添架物ヲ除ク）トハ在來公道橋ノ添架物ヲ除クモノト解釋シテ宜シキヤ

第七條 在來橋梁ニ添架セル管線路ノ假移轉又ハ撤去工事竝ニ直接専用橋梁ニ移轉スル場合ノ該管線路（専用橋梁ヲ除ク）ノ移設工事

但シ直接ニ伏越トナス場合ニ於テハ専用橋梁ニ移設スル場合ノ管線路移設工事費ノ限度ニ於テ補償スルコト

問 本條中「在來橋梁」トハ専用橋ニアラザル在來公道橋ト解釋シテ宜シキヤ（専用橋梁ヲ除ク）トハ橋梁ノ自體ノ意味ナルヤ

二 假本整理工事トシテ半額補償スルモノ

第十四條 假移轉又ハ假撤去管線路ノ橋梁ニ本移設工事

但シ専用橋又ハ伏越ニ本移設スル場合ハ本文補償ノ限度ニ依ル

問 本文中「橋梁」トハ新設公道橋ト解釋シ但書中本文補償トハ第七條ヲ適用スル意向ト解釋シテ宜シキヤ

以上橋梁關係條文ノ解釋ニ基キ左ノ工法別ニ從ヒ其ノ適用例ヲ示セハ

(イ) 在來専用橋（其ノ添架物ヲ含ム）ノ整理工事

一 在來専用橋（其ノ添架物ヲ含ム）ヲ其ノ儘本移設ヲナス場合

第五條ニ依リ全額補償

二 在來専用橋（其ノ添架物ヲ含ム）ヲ直接新橋（公道橋）ニ本移設ノ場合

第五條ニ依リ全額補償

但シ在來設備ノ程度ニ於ケル整理工事費ノ範圍内トス

直 接 本 整 理 工 事

(イ) 在來専用橋(其ノ添架物ヲ含ム)ノ整理工事

一 在來専用橋(其ノ添架物ヲ含ム)ヲ其ノ儘本移設ヲナス場合

第五條ニ依リ全額補償

二 在來専用橋(其ノ添架物ヲ含ム)ヲ直接新橋(公道橋)ニ本移設ノ場合

第五條ニ依リ全額補償

但シ在來設備ノ程度ニ於ケル整理工事費ノ範圍内トス

直接本整理スル

場合

三 在來専用橋(其ノ添架物ヲ含ム)ヲ直接伏越トスル場合

右ニ同ジ

(ロ) 在來公道橋ノ添架物ノ整理工事

四 在來公道橋ノ添架物ヲ直接専用橋ニ本移設ヲナス場合

第七條ニ依リ全額補償

五 在來公道橋ノ添架物ヲ直接伏越トスル場合

第七條ニ依リ全額補償

但シ専用橋梁架設ノ費用ヲ控除シタルモノ

六 在來公道橋ノ添架物ヲ新橋(公道橋)ニ本移設ノ場合

第七條ノ「撤去工事」トハ全ク不用ノタメ撤去スルモノ及一時的撤去工事ヲモ含ムモノト解釋シ在來公道橋ヨリ撤去スル費用ハ第七條ニ依リ全額補償シ新橋(公道橋)ニ本移設ノ場合ハ第十四條ニ依リ半額補償ス

(ハ)

在來専用橋ヨリ假移設工事ヲナシ更ニ本整理ヲナス場合

七 在來専用橋(其ノ添架物ヲ含ム)ヨリ假工事ヲナシ更ニ専用橋ニ本移設スル場合

在來専用橋ヨリ假移設ハ工事迄第五條ニ依リ全額補償トシ假移設シタルモノヲ撤去シ専用橋ニ本移設ノ場合ハ第十四條ニ依リ半額補償

八 在來専用橋(其ノ添架物ヲ含ム)ヨリ假工事ヲナシ更ニ新橋(公道橋)ニ移設ノ場合

在來専用橋ヨリ假移設迄ハ第五條ニ依リ全額補償シ假工事ヨリ新橋ニ移設ノ場合ハ第十四條ニ依リ半額補償ス

九 在來専用橋(其ノ添架物ヲ含ム)ヨリ假工事ヲナシ更ニ伏越トナス場合

在來専用橋ヨリ假移設工事マデハ第五條ニ依リ全額補償シ假工事ニ依リ更ニ伏越ニ本移設スル費用ハ第十四條ニ依リ半額補償ス但シ専用橋ニ移設スル場合ノ管路移設費ノ限度ニ於テ補償ス

(ニ)

間接本整理ノ場合

在來公道橋ヨリ假移設工事ヲナシ更ニ本整理ヲナス場合

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

- 一〇 在來公道橋ノ添架物ヲ假移設シ更ニ新橋(公道橋)ニ本移設ヲナス場合
在來公道橋ノ添架物ヲ假移設スル迄ノ工事ハ第七條ニヨリ全額補償
假工事ヨリ新橋ニ本移設スル費用ハ第十四條ニヨリ半額補償
- 一一 在來公道橋ノ添架物ヲ假移轉シ更ニ專用橋ニ本移設ヲナス場合
在來公道橋ノ添架物ヲ假移轉スル迄ノ工事ハ第七條ニヨリ全額補償
假工事ヨリ專用橋ニ移設スル工事ニ對シテハ第十四條ニヨリ半額補償
- 一二 在來公道橋ノ添架物ヲ假移設シ更ニ伏越トナス場合
在來公道橋ノ添架物ヲ假移設スル迄ノ工事ニ對シテハ第七條ニヨリ全額補償
假工事ヨリ伏越シ本移設スル工事ニ對シテハ第十四條ニヨリ半額補償

(乙號)

記

- 一、第五項本文及但書
貴見ノ通リ
- 一、第七項本文
貴見ノ通リ
- 一、第十四項本文及但書
本文中橋梁トハ貴見ノ通リ
但シ補償ニ關シテハ第十四項ニ依ルコト
- (イ) 在來專用橋(其ノ添架物ヲ含ム)ノ整理工事(直接本整理スル場合)
- 一 貴見ノ通リ
- 二 貴見ノ通リ
- 三 貴見ノ通リ 但シ在來設備ノ限度ニ於テ補償スルコト二ノ場合ト同ジ

本文中橋梁トハ貴見ノ通り

但シ補償ニ關シテハ第十四項ニ依ルコト

(イ) 在來専用橋(其ノ添架物ヲ含ム)ノ整理工事(直接本整理スル場合)

一 貴見ノ通り

二 貴見ノ通り

三 貴見ノ通り 但シ在來設備ノ限度ニ於テ補償スルコトニノ場合ト同ジ

(ロ) 在來公道橋ノ添架物ノ整理工事(直接本移設スル場合)

四 貴見ノ通り

五 貴見ノ通り

六 貴見ノ通り

(ハ) 在來専用橋ヨリ假移設工事ヲナシ更ニ本整理ヲナス場合(間接本整理ノ場合)

七、八、九

以上ハ審査内規制定ノ當時豫想セサリシモノナルヲ以テ實際問題ニ當リ其ノ都度審議スルコト

(ニ) 在來公道橋ヨリ假移設工事ヲナシ更ニ本整理ヲナス場合

一〇 貴見ノ通り

一一 貴見ノ通り

一二 貴見ノ通り

路上工作物其ノ他整理費用負擔ニ關スル件

(昭和二年六月十日復興事業局工事課長宛)
(第一出張所工事課長照會)

(昭和二年六月十四日第一出張所工事課長宛)
(復興事業局工事課長回答復工發第一七號)

(照會)

標記ノ件ニ關シ左記事項何分ノ儀至急御指示相煩度此段及照會候也

記

- 一 市施行地區内ニアル「巡查派出所」「火見櫓」「夜警番」「撒水井戸及唧筒」「水管配置所」「共同便所」「樹木」其他之ニ類似ノモノニシテ土地區劃整理ノ爲メ廢道敷ニ入り支障トナルモノ及廢道敷ニ入ラサルモ補助線及區劃整理街路上ニアリバラツク移轉ニ件ヒ其ノ出入口ニ甚タシク支障トナルモノ、移設若クハ撤去ノ費用負擔區分ハ建物其他工作物移轉ニ依ル損害補償金負擔區分ニ準據處理シ差支ナキヤ
- 二 前記路上工作物ニシテ補助線街路又ハ區劃整理街路ノ築造工事ニ支障トナルモノ、移設若クハ撤去ノ整理補償ハ昭和二年三月十七日區乙

附 錄 丙 地下埋設物其ノ他工作物整理

第一三七八號ノ二費用負擔區分ニ關スル件通牒「二、本枝管線路ニ關スルモノノ整理費口項」ニ準據シ復興事業局ノ負擔トシテ差支ナキヤ尙其ノ支出科目ノ詳細

三 補助線街路又ハ區劃整理街路ノ築造工事ニ當リ支障(官廳所管電信、電話ヲ除ク)トナルモノノ地下埋設物(私有工作物ヲ含ム)ハ昭和二年三月十七日區乙第一三七八號ノ二、費用負擔區分ニ關スル件通牒「二、本枝管線路ニ關スルモノノ整理費口項」ニ依リ復興事業局ノ負擔ナルモ右支出科目不明ニ付其ノ詳細

(同 答)

以上

一 支障ナシ

二 貴見ノ通り 支出科目ハ

補助線ノ場合(土木局所管)

區劃街路ノ場合、土地整理費、工事費、雜工雜費

三 支出科目

補助線ノ場合、街路修築費、工事費、用地及補償費

區劃街路ノ場合、土地整理費、工事費、地下埋設物整理費

以上

都市計畫法施行令第十一條竝ニ耕地整理法第二十九條ニ依ル出願處理方ノ件

(昭和二年七月八日各出張所長宛復興事業局局長事務取扱通牒市復乙第一八一四號)

- 一 從來處理上ノ意見ヲ付シ本局經由復興局土木部工務課宛御送付相成居候築造願ハ自今貴所ヨリ直接東京府へ回送ノコト
- 二 二以上ノ出張所ニ跨ルモノハ主タル關係ノ出張所ニ於テ處理スルコト
- 三 六月二十四日迄ニ受理シタル願書ニシテ未處理ノ分ハ從前ノ通り處理スルコト

土地區劃整理ニ伴フ路上工作物整理費負擔區分ニ關スル件

(昭和二年七月二十二日東京市長宛復興局土木部長照會復土發第一二五三號)

(昭和二年九月二日復興局長官宛東京市長回答市復乙第二一六八號)

都市計畫法施行令第十一條並ニ耕地整理法第二十九條ニ依ル出願處理方ノ件

(昭和二年七月八日各出張所長宛復興事業局)
局長事務取扱通牒市復乙第一八一四號

- 一 從來處理上ノ意見ヲ付シ本局經由復興局土木部工務課宛御送付相成居候築造願ハ自今貴所ヨリ直接東京府へ回送ノコト
- 二 二以上ノ出張所ニ跨ルモノハ主タル關係ノ出張所ニ於テ處理スルコト
- 三 六月二十四日迄ニ受理シタル願書ニシテ未處理ノ分ハ從前ノ通り處理スルコト

土地區劃整理ニ伴フ路上工作物整理費負擔區分ニ關スル件

(昭和二年七月二十二日東京市長宛復興)
局土木部長照會復土發第一二五三號

(昭和二年九月二日復興局長官宛東京市長回答)
市復乙第二一六八號

(照會)

國及市ニ於テ施行スヘキ土地區劃整理ニ伴ヒ整理ヲ要スル路上工作物ノ移轉又ハ撤去費用負擔區分ニ關シテハ左記方針ニ依リ措置致度候條
御意見至急承知致度此段及照會候也

追テ土地區劃整理ノタメニアラスシテ國ニ於テ執行スベキ街路、橋梁及運河工事ニ伴フ共同便所ノ整理費用ニ關シテハ大正十四年二月十日復土發第二三二號撤水井戸及ポンプノ整理費ニ關シテハ大正十四年二月十日復土發第一五八號ヲ以テ及照會置候處其他類似ノモノニ在リテハ右ニ準スル儀ト御了知相成度

記

- 一 巡查派出所、巡查見張所、撒水井戸及同ポンプ、共同便所等第一種路上工作物並街燈柱、轉轍手柄等第二種工作物其他類似ノモノ大正十五年六月七日土發第五七五號路上工作物配置標準ニシテ土地區劃整理ノタメ廢道敷ニ入り又ハ廢道敷ニ入ラサルモ幹線、補助線及區劃整理街路上ニ在リテ建物其他工作物ノ移轉ニ伴ヒ移轉又ハ撤去ヲ要スルモノ、費用ハ當該建物其他工作物ノ移轉ニ依ル損害補償金負擔區分ニ據リ處理スルコト

路上工作物配置標準

第一條 東京都市計畫事業施行地域内ニ於テ新設又ハ移設ヲ要スル路上工作物ノ占用位置ハ本標準ニ據ルモノトス

第二條 路上工作ヲ左ノ二種ニ分ツ

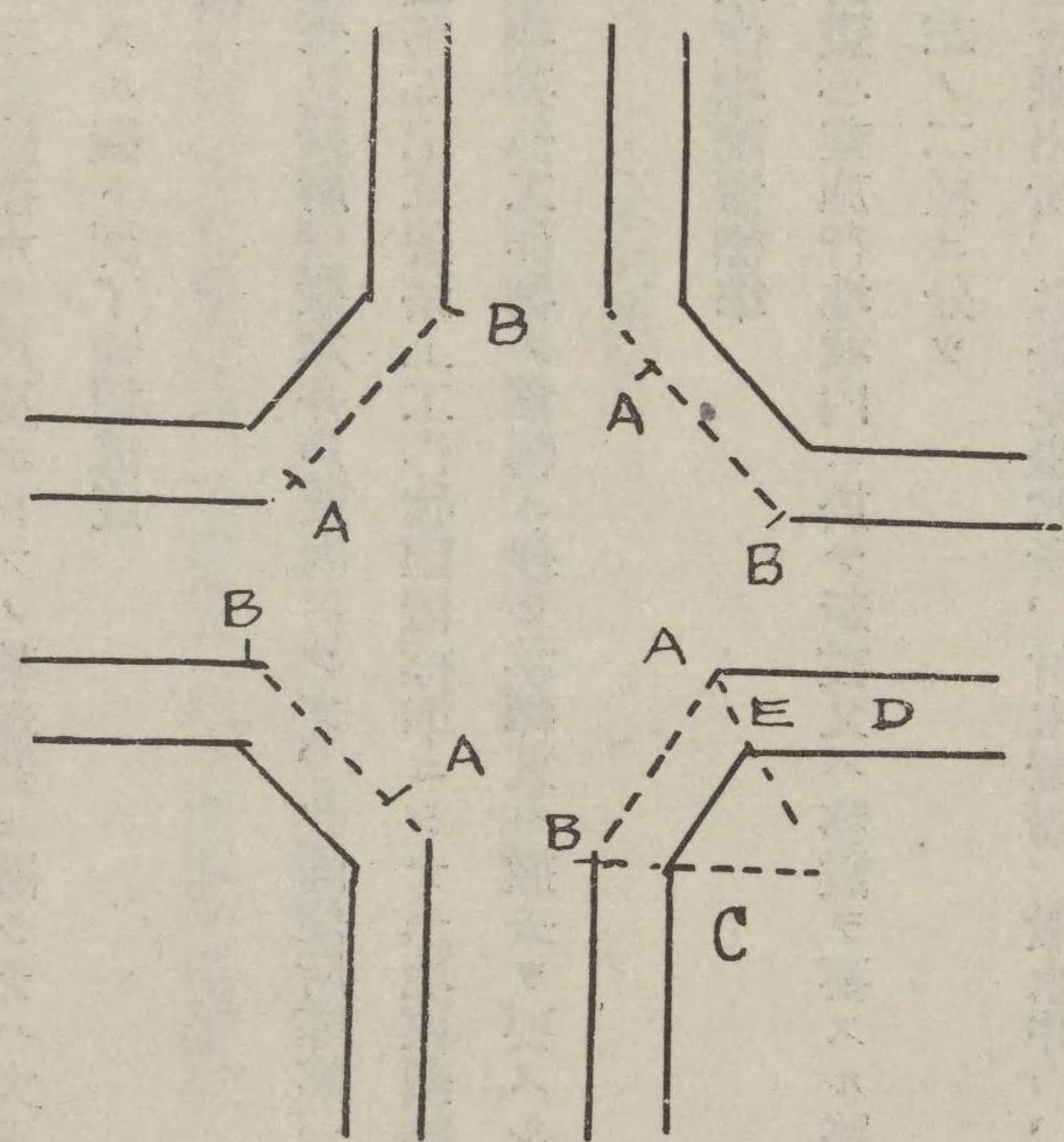
- 第一種工作物 巡查派出所、巡查見張詰所、材木置場、撒水井戸、撒水用ポンプ、共同便所、機具納庫(消防又ハ消毒用)
- 第二種工作物 電柱、變壓塔、閉閉塔、配電函、自動電話、ポスト、街燈柱、轉轍手柄、消火栓柱
- 第三條 第一種工作物ハ廣場橋臺地又ハ河岸地等道路有効幅員外ニ設置スルモノトス但シ巡查見張詰所ハ歩道内車道側ニ設置スルコトヲ得
- 第四條 第二種工作物中直徑(角柱ノトキハ最大邊ノ長サ)〇・八米以内ノモノニアリテハ歩道内車道側一米以内(歩車道境界アルトキ)又ハ路端一米以内(歩車道境界ナキトキ)ニ設置スルモノトス

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

第五條 前條ノ形状ヨリ大ナル第二種工作物ハ第三條ニ準シ設置スルモノトス

但シ自動電話ニ限リ前條ニ準シ設置セシムルモノトス

第六條 道路ノ曲角ニ於テハ一般ニ路上工作物ノ設置ヲ避クヘシ但シ移動式巡查見張詰所ニ限リ隅切アル道路ノ曲角歩車道境界線A-B間ニ設置スルコトヲ得



$$\begin{pmatrix} CE=ED \\ CD \perp AE \end{pmatrix}$$

第七條 第三條ニ記載セサル工作物ニシテ路上占用ノ必要ヲ認ムヘキモノアルトキハ箇所毎ニ適宜之ヲ決定スルモノトス

(回 答)

昭和二年七月二十二日付復土發第一二五三號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件ニ付テハ異存無之候條及回答候備考

本市負擔ニ屬スル費用ハ左記ノ區分ニ依リ支出スルコト

- (イ) 建物其他ノ工作物移轉ニ必要上街路工作物ヲ整理スル場合
- 補助線街路ニ當ルトキ 用地及補償費

區劃街路ニ當ルトキ

建物其他移轉料

(ロ) 街路工事ノ必要上街頭工作物ヲ整理スル場合

第七條 第三條ニ記載セサル工作物ニシテ路上占用ノ必要ヲ認ムヘキモノアルトキハ箇所毎ニ適宜之ヲ決定スルモノトス
(同 答)

昭和二年七月二十二日付復土發第一二五三號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件ニ付テハ異存無之候條及回答候
備考

本市負擔ニ屬スル費用ハ左記ノ區分ニ依リ支出スルコト
(イ) 建物其他ノ工作物移轉ニ必要上街路工作物ヲ整理スル場合
補助線街路ニ當ルトキ 用地及補償費

區劃街路ニ當ルトキ 建物其他移轉料

(ロ) 街路工事ノ必要上街頭工作物ヲ整理スル場合

補助線街路ニ當ルトキ 用地費以外ノ工事費

區劃街路ニ當ルトキ 雑工雜費(市土木局所管)

引込線工事ニ關スル件

(昭和三年一月十三日復興事業局長宛
復興局土木部長通牒復土發第三七號)

一 一地區集計整理工事ニ原因シタル引込管線ノ整理工事ハ本工事ト假工事タルヲ問ハス凡テ地區集計整理工事ノ附帶工事トシテ左記ニ依リ
處理スルコト

イ 私有管線(事業者所有ヲ除ク)ハ一地區集計工事精算ノ際累計シ本工事費ニ加算スルコト

ロ 事業者所有ノモノハ一地區集計ノ方法ニ依リ處理スルコト

二 一工事(一地區集計工事ニ非ラサルモノ)毎ニ整理ノ本枝管線工事及バラツク移轉工事ニ原因シタルモノハ其ノ都度其ノ附帶工事トシテ
處理スルコト

三 豫テ協議會ニ於テ協定シタル引込管線ニ關スル本工事ト假工事トノ區分ハ之ヲ廢止シA(既設引込管ノ撤去)B(假引込管ノ假設工事)ヲ
第一回トシC(Bニ於ケル假設管ノ撤去)及D(本管ニ取付工事)ヲ第二回工事トシ一、二ノ區分ニ依リ處理スルコト

四 未處理ノモノハ凡テ本方針ニ依リ取扱フコト

一地區集計工事ニ伴フ道路復舊工事費國市負擔ニ關スル件

(昭和三年三月二十七日東京市長宛復興局長官
照會土發第一〇二號)

(昭和三年四月二十日復興局長官宛東京市長
回答市復乙第二九二號)

(照 會)

標記工事ニ伴フ第一回道路復舊工事ニ付テハ各關係事業者ニ於テ之ヲ施行シ其ノ工事費ハ協定單價中ニ包含補償相成居候處第二回以後ノ復

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

地下埋設物並=路上工作物關係事務取扱一覽表

施行地區	取扱方法 占補 街用償 路種類	種別 種類	工事要求			占				用				引繼書作成				
			要 求	精 算	支 拂	出願許可				路面復舊								
						受 付	調 査	發 令	照 會	工 事 監 督	初 監 督	施 行	費 用 擔		復 後 監 督	施 行	費 用 擔	
國 施 行 地 區	幹線(橋梁)運河	工事區域	集計	國	國	國市	國	國	土	國	國土	事	國市	國	土	國	國	
			工事毎	國	國	國	國	國	土	國	國土	事	國	國	土	國	國	
			補償外				國	國	土	國	國土	事	事	國	土	事	國	
		地區	集計	國	國	國市	國	國	國	國	國	國	事	國市	國	國	國	國
			工事毎	國	國	國	國	國	國	國	國	國	事	國	國	國	國	國
			補償外				國	國	國	國	國	國	事	事	國	事	事	國
	補助線	地區	集計	國	國	國市	國	國	國	土	國土	國	事	國市	國	國	國	國
			工事毎	市	市	市	國	國	國	土	國土	國	事	市	國	事	市	國
			補償外				國	國	國	土	國土	國	事	事	國	事	事	國
		區劃整理線	集計	國	國	國市	國	國	國	國	國	國	事	國市	國	國	國	國
			工事毎	國	國	國	國	國	國	國	國	國	事	國	國	國	國	國
			補償外				國	國	國	國	國	國	事	事	國	事	事	國
市 施 行 地 區	幹線(橋梁)運河	工事區域	集計	市	市	國市	國	國	土	國	國土	事	國市	國	土	市	國	
			工事毎	國	國	國	國	國	土	國	國土	事	國	國	土	國	國	
			補償外				國	國	土	國	國土	事	事	國	土	事	國	
		地區	集計	市	市	國市	市	市	市	國	國市	市	事	國市	市	土	市	市
			工事毎	國	國	國	市	市	市	國	國市	市	事	國	市	土	國	市
			補償外				市	市	市	國	國市	市	事	事	市	土	事	市
	補助線	地區	集計	市	市	國市	市	市	市		市	市	事	國市	市	土	市	市
			工事毎	市	市	市	市	市	市		市	市	事	市	市	土	市	市
			補償外				市	市	市		市	市	事	事	市	土	事	市
		區劃整理線	集計	市	市	國市	市	市	市		市	市	事	國市	市	土	市	市
			工事毎	市	市	市	市	市	市		市	市	事	市	市	土	市	市
			補償外				市	市	市		市	市	事	事	市	土	事	市

舊工事費ニ付テハ豫テ及内議置候通り國市各區劃整理施行者ニ於テ其ノ地區内ニ於ケルモノヲ負擔スルコト、致度御意見及照會候也

附 錄 丙 地下埋設物其ノ他工作物整理

一 國ハ復興局ヲ意味ス
二 市ハ復興事業局ヲ意味ス

施行地區	種別	取扱方法	工事要求		
			要	精	
			求	算	
國 施 行 地 區	幹線(橋梁)運河	集計 工事毎 補償外	國	國	
			國	國	
			國	國	
	補助線	集計 工事毎 補償外	市	市	
			市	市	
			市	市	
	區劃整理線	集計 工事毎 補償外	國	國	
			國	國	
			國	國	
	市 施 行 地 區	幹線(橋梁)運河	集計 工事毎 補償外	市	市
				市	市
				市	市
補助線		集計 工事毎 補償外	市	市	
			市	市	
			市	市	
區劃整理線		集計 工事毎 補償外	市	市	
			市	市	
			市	市	

- 一 國ハ復興局ヲ意味ス
 - 二 市ハ復興事業局ヲ意味ス
 - 三 事ハ各事業者ヲ意味ス
 - 四 臨時占用及個人占用並ニ報償契約以外ノ會社ノ分ハ總テ市土木局ニテ取扱ヒ關係部分ニ關シ區劃整理施行者ニ合議スルコト
 - 五 土ハ東京市土木局ヲ意味ス
- (回 答)
- 本年三月二十七日附土發第一〇二號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件ハ貴見ノ通りニテ異存無之及回答候也

代執行ニ係ル建物装置ノ私有管線ノ處理方及其他ニ關スル件

(昭和三年一月十九日復興局長官宛東
京市長照會市復内第八五五四號
昭和三年四月二十一日東京市長宛復
興局長官回答土收第四一號ノ一)

(照 會)

標記ノ件ニ關シ第二出張所長ヨリ別紙寫ノ通り伺出有之候處右ハ左記ニ依リ處理シ支障無之義ト存シ候得共一應貴局ノ御意見承知致度候條
何分ノ御回示相成度候

記

- 一 行政執行法ニ依リ家屋ノ移轉命令ヲ強制スル場合ニ於テ建物装置ノ私有管線(瓦斯、水道、電燈裝置以下同シ)ノ所有者カ其ノ移轉ヲ承諾セサル場合ハ耕地整理法第二十七條ニ依リ處理スルコト
- 二 同一私有管線ニ對シ所有者二名以上アリテ其ノ何レカ眞ノ所有者ナルヤヲ確認スルコト能ハサルトキ又ハ私有管線ノ所有者カ之カ移轉ヲ承諾セサル場合ニ於テモ前項同様處理スルコト
- 三 地下埋設物其ノ他工作物整理實施手續第五項第一號ニ依ル第九號様式ノ申請書ニ家主又ハ家屋管理人ノ承諾ヲ求ルコトハ從來ト同様ナルモ萬一何等カノ事情ニ依リ右承諾ヲ求ムルコト不能ノ場合ハ其ノ儘工事ヲ施行スルコト
- 四 前項ノ場合ニ於テ家主又ハ家屋管理人ヨリ工事施行ニ關シ異議アリタルトキハ私有管線ノ架設位置從前ト異ル爲新ニ家屋ヲ毀損スル場合ニ限り私有管線ノ所有者ヨリノ申請ヲ取消耕地整理法第二十七條ニ依リ處理スルコト

(寫)

標記ノ件ニ關シ左記疑義アリ何分ノ御指令相仰度

左 記

一 代執行ノ場合ノ私有管線(瓦斯、水道、電燈裝置以下同シ)ノ所有者カ其ノ移設ヲ承諾セサル場合ハ耕地整理法第二十七條ニ據リ處理シ可然哉

二 私有管線ノ所有者二名以上アリテ其ノ何レニ屬スルヤ判然セサル場合ニ於テモ前同様處理シ可然哉

三 地下埋設物其他工作物整理實施手續第五項第一號ニ依ル第九號様式ノ申請書ニハ家主又ハ家屋管理人ノ承諾ノ捺印ヲ要セサルヤ

(同 答)

本年一月十八日付昭和二年市復内第八五五四號照會標記ノ件ハ左記ニ依リ御了知相成度

記

一 貴見ノ通

但豫メ通告スルコト

二、貴見ノ通

但本項前段ノ場合ハ双方ニ豫告シ後段ノ場合ハ第一項但書ニ同シ

三 家主又ハ家屋管理人ニ豫メ通告ノ上耕地整理法第二十七條ニ依リ處理スルコト

但豫メ家主又ハ家屋管理人竝私有管線所有者ニ通告スルコト

街路照明明用吊街燈整理費補償ニ關スル件

(照 會)

(昭和三年四月七日復興事業局長宛同第二)
(出張所長照會市復二發第二二〇七號)
(昭和三年四月二十三日出張所長宛復)
(興事業局長回答市復内第三〇六三號)

標記ノ件ニ關シテハ兼テ復興局東京第二出張所長ヨリ復興局ニ稟申中ノ處今同別紙三月八日附復士發第三八五號ノ通り決定相成候趣本市ニ於テモ右趣旨ニ依リ處理シ可然哉何分ノ御指示相成度

- 一 當局工事ニ直接支障トナリ應急整理ヲ必要トスルモノハ全額補償
- 二 當局工事施行ニ當リ交通其他ノ關係上止ムヲ得ス工事ニ先チ整理ヲ必要トスルモノニ就テハ相當補償可相成ニ付其都度事情ヲ具シ稟伺ノ
コト

三 橋梁工事ニ伴フモノハ地區内ニ準ス

追加改正（昭和四年六月十八日）

一 歩車道ノ區別アル街路

(一) 新車道内ニ入りタルモノハ全部

(二) 新歩道内ニアリテハ

(イ) 建築線寄ノモノ

A 歩道幅 三米以下 建築線ヨリ電柱外側マテ三尺ヲ越ユルモノ

B 歩道幅 三米ヲ越ユルモノ 建築線ヨリ電柱外側マテ四尺ヲ越ユルモノ

(ロ) 歩車道境界寄ノモノ

A 植樹帯ナキ場合 歩車道境界線ヨリ電柱外側マテ三尺ヲ越ユルモノ

B 植樹帯アル場合 歩車道境界線ヨリ電柱外側マテ四尺ヲ越ユルモノ

二、歩車道ノ區別ナキ場合

(イ) 幅員八米以下ノ街路ニアリテハ建築線ヨリ電柱外側マテ四尺ヲ越ユルモノ

(ロ) 幅員九米以上ノ街路ニアリテハ建築線ヨリ電柱外側マテ五尺ヲ越ユルモノ

但幅員十一米突乃至十六米突ノ街路ニアリテハ豫定歩車道境界線内ノモノハ之ヲ除ク

改正（昭和四年八月十二日）

一 歩車道ノ區別アル街路（ニ）ノ（ロ）「歩車道境界寄ノモノ」ヲ「境界下水寄ノモノ」ト改正

(ロ) 幅員九米以上ノ街路ニアリテハ建築線ヨリ電柱外側マテ五尺ヲ越ユルモノ
但幅員十一米突乃至十六米突ノ街路ニアリテハ豫定歩車道境界線内ノモノハ之ヲ除ク
改正(昭和四年八月十二日)

一 歩車道ノ區別アル街路(ニ)ノ(ロ)「歩車道境界寄ノモノ」ヲ「境界下水寄ノモノ」ト改正

各種埋設物竣功數量實測方法ニ關スル件

(昭和三年十一月二十二日復興事業局長宛復)
(興局土木部長通牒復土發第二四〇〇號)

- 一 埋設管路ノ竣功延長ハ之レヲ埋設セル道路ノ路面ニ沿ヒ實測ス但橋梁、伏越、其他障礙物等ノ爲曲管ヲ使用スルカ又ハ之ニ相當スル他ノ方法ヲ以テ管路ヲ屈曲布設セル爲ノ増延長ハ之レヲ工作物ニ付實施ノ上加算スルコト
- 二 人孔其ノ他別ニ工事單價ヲ設定サレアルモノノ有効長ハ前項竣功延長ヨリ控除スルコト
- 三 第一項ノ方法ハ電纜ニ付テモ適用スルモノナルモ變電所、開閉塔、變壓塔又ハ配電管内ニ立上レル電纜ニ付テハ其ノ終端迄ノ延長ヲ實測加算スルコト但電纜接續函ノ長サハ竣功延長ヨリ控除セサルコト

地區集計工事精算事務取扱方

(昭和三年十二月七日東京市復興事業局宛)
(復興局土木部通牒 復土發第一四〇一號)

- 第一 實施手續第三ノ八(圖面共三通)ニ依ル手續アリタルトキハ整理施行者ハ直ニ竣功檢査ノ上竣功調書(實施手續第一號様式其六記載例別紙ノ通り)ヲ作成ノ上別途實施手續第三ノ一〇ニ依ル内譯書(實施手續一號様式自其五記載例別紙ノ通り)ヲ事業者ニ通知スルコト
竣功調書ニハ假工事並附帶工事ノ出來高ヲ個々ニ掲上スルヲ原則トスルモ各々一括掲記トスルコトヲ得此場合假工事ニ付テハ其内譯ヲ證スル爲メ各工事要求書(圖面共)ヲ一括添付スルコト若シ要求數ト出來高ト異ナルトキハ其事由ヲ明記スルコト
- 第二 實施手續第三ノ一〇ニ依ル内譯書(精算内譯書)ニハ當初契約竣功數量對照表(様式並記載例別紙ノ通り)ヲ添付スルコト當初契約數量ト竣功數量ト異ナル場合例へハ施工ノ結果又ハ設計變更ニ依ルモノハ摘要欄ニ其旨ヲ明記シ設計變更ノ場合ハ其決議書(圖面添付)ヲ添付スルコト
- 第三 事業者ハ第一ノ通知ニ基キ實施手續第三ノ九(記載例別表ノ通り)ノ手續ヲ爲スコト
- 第四 實施手續第三ノ一〇ニ依ル附屬書類ハ第一及第二ノ關係圖書ヲ添付スルモノトス
- 第五 第一、第二、第三ノ關係圖書作成通數左記ノ通り

國市別	種別	竣功調書	精算内譯書	當初契約對照表	竣功數量	請求書
-----	----	------	-------	---------	------	-----

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

市施行地區ノ分				計	國施行地區ノ分				
同事業局用一通	副本又 ハ寫本 所部國 用及經 張理	正本 (市自身 拂手續 用)	正本 (國ノ出 張) (檢査院 用)	五 通	同(事業者用)	同事業局用一通	副本又 ハ寫本 (經理部 出張所 用)	正本(市長用)一通	正本(檢査院用)一通
同上一通	同上二通	同上一通	同上一通	六 通	同上一通	同上一通	同上二通	同上一通	同上一通
同上一通	同上二通	同上一通	同上一通	五 通	同上一通	同上一通	同上二通	同上一通	同上一通
			國ノ分ニ同シ	六 通					國負擔分 正一通(檢査院用) 副二通(經理部、出張所用) 市負擔分 正一通(市經理課用) 副二通(事業局及市出張所用) 横濱土木局

同(事業者用)

同上一通

附 録 丙 地下埋設物其他工作物整理

市國 施行第 地區一地區集計整理工事費精算内譯書 (其ノ一)

昭和 年 月 日調

三一〇

(復興局出張所) 印
 (東京市復興事業局出張所) 印
 (横濱市土木局) 印

關係 事業者

年度 單價適用

工 種	金 額	摘 要
既設工作物ト整理工作物ト一致セル部分		
過不足分 (一致セサル部分)		
累計スル分		
小 計		
附帶工事分 (假工事ヲ含ム)		
補償額 計		

市國 施行第 地區一地區集計整理工事費精算内譯書 (其ノ二)

國市ノ負擔區分

附帶工事分 (假工事ヲ含ム)					
補償額計					

市國 施行第 地區一地區集計整理工事費精算内譯書 (其ノ二)

國市ノ負擔區分

區分	潰地面積 (坪)	同比率 (%)	金額	摘要
街路費 (幹線)				
運河費				
土地整理費				
計 (國負擔分)				
街路費				
土地整理費				
小公園費				
計 (市負擔分)				
合計				

市國 施行第 地區一地區集計整理工事費精算内譯書 (其ノ三)

既設工作物ト整理工作物ト一致セル分

(註 本表新設費ハ埋殺工作物ノ數量ト一致セルモノ、ミヲ計上ス)

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

三一四

但シ昭和二年三月三十一日付契約ニ係ル横濱市施行第八地區内瓦斯工作物一地區集計整理工事費精算額復興局負擔金(竣功調書ニヨリテ算出シタル分擔額)ノ内前渡金 圓差引キタル殘額

當初契約金額	圓	内譯	圓	國負擔分
精算金額	圓	内譯	圓	市負擔分

右及請求候也

昭和 年 月 日

事業者

(横濱市長) 印

整理施行者

復興局長官

殿

國 市 施行第 地區東京市水道局關係工作物

一地區集計整理工事竣功調書

消 火 栓	連 結 部	水 道 鐵 管	工 作 物	形 狀	單 位	數			摘 要
						整 理 (新 設)	埋 殺	掘 上	
乙 地 下 式	〃	耗 間	寸 法	〃	〃	〃	〃	〃	〃
個	ヶ所	間							

阻 水 弁	耗	〃							
-------	---	---	--	--	--	--	--	--	--

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

整理施行者

復興局長官

殿

(東京市長)

三二〇

印

市施行第

地區一地區集計整理工事費精算内譯書(其ノ一)

昭和

年

月

日調

復興局出張所
東京市復興事業局

出張所

關係事業者

東京市

局 課

昭和

年度單價摘要

工 種	金 額	摘 要
既設工作物ト整理工作物ト一致セル部分		
過不足分(一致セサル部分)		
累計スル分		
小 計		
附帶工事分(假工事ヲ含ム)		
補償額計		

市施行第 地區一地區集計整理工事費精算内譯書(其ノ二)

國市ノ負擔區分

區

分

潰地面積(坪)

同比率(%)

金

額

摘

要

(改正) (昭和四年七月九日) 復土發第一七三九號

第一、第二、及第五項並添付圖表中第一表地區集計整理工事竣功調書ヲ別表ノ通改メ第七表整理工事當初契約竣功數量對照表ヲ廢止致候條御了知相成度

第一 實施手續第三ノ八(圖面共三通)ニ依ル手續アリタルトキハ整理施行者ハ直ニ竣功檢査ノ上竣功調書(附當初契約竣功對照表)(記載例別紙ノ通り)ヲ作成ノ上別途實施手續第三ノ九ニ依ル内譯書(實施手續一號様式自其一至其五記載例別紙ノ通り)ヲ事業局經由事業者ニ通知スルコト

竣功調書ニハ假工事並附帶工事ノ出來高ヲ個々ニ掲上スルヲ原則トスルモ各々一括掲記トスルコトヲ得此場合假工事ニ付テハ其内譯ヲ證スル爲メ各工事要求書(圖面共)ヲ一括添付スルコト若シ要求數ト出來高ト異ナルトキハ其事由(要求書ニ數量ヲ併記シ事由ヲ附加スルコト)ヲ明記スルコト

第二 前項竣功調書ノ數量カ當初契約數量ト異ナル場合例ヘハ施工ノ結果又ハ設計變更ニ依ルモノハ摘要欄ニ其旨ヲ明記シ設計變更ノ場合ハ其決議書(圖面添付)ヲ添付スルコト

第三 事業者ハ第一ノ通知ニ基キ實施手續第三ノ九(記載例別表ノ通り)ノ手續ヲ爲スコト

第四 實施手續第三ノ一〇ニ依ル附屬書類ハ第一及第二ノ關係圖書ヲ添付スルモノトス

第五 第一、第二、第三ノ關係圖書作成通數左記ノ通り但添付圖面ハ三通トス

國 施 行 分 行	國 市 種 別 別	竣 功 調 書		
		(附當初契約竣功數量對照表)	精 算 內 譯 書	請 求 書
正 本 (市長用) 一 通	正 本 (檢査院用) 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	國負擔分 正一通(檢査院用) 副二通(經理部、出張所用) 市負擔分 正一通(市經理課用) 副二通(事業局及出張所用) 橫濱市土木局
同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	

副本又(經理部及)二通

同上二通

同上二通

地 區 施 行 分 行	正本(市長用)一通	正本(檢査院用)一通	國 負 担 分 正 一 通 (檢 査 院 用) 副 二 通 (經 理 部) 出 張 所 用) 市 負 担 分 正 一 通 (市 經 理 課 用) 副 二 通 (事 業 局 及 出 張 所 用) (橫 濱 市 土 木 局)
	同上	同上	
	同上	同上	

計	地 區 施 行 分 行	同 (事 業 者 用) ○ 一 通	同 (市 事 業 局 用) ○ 一 通	副 本 又 ハ 寫 本 (出 張 所 用) 二 通 經 理 部 ノ 分 圖 面 添 (市 事 業 局 用) 一 通	同 (事 業 者 用) ○ 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 二 通	六 通	六 通	六 通										
												同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通
												同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通	同 上 一 通

國施行第一地區集計整理工事竣功調書
附當初契約竣功對照表

附錄丙 地下埋設物其他工作物整理

復興局出張所
東京市復興事業局出張所
橫濱市土木局

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理
關 係 事 業 者

工 作 物	寸形 法狀		位 尺	契 約 竣 功 量			摘 要					
	新	舊		新設	埋殺	掘上		累計分	新設	埋殺	掘上	累計分
ト ラ フ 管 路												設計變更ニ依ル
附 帶 工 事												別紙内譯書(圖面共)ノ通り
假 工 事												別紙工事要求書並添付圖面ノ 通何件

右實地検査候處相違無之候

昭和 年 月 日

何 々

検査員 官 氏 名 印

一 注意 竣功圖添付ノコト(事業者提出ノ竣功圖ヲ審査ノ上流用スルモ妨ケナシ)

一 地區集計整理工事並一工事毎整理工事中既設工作物現形ノモノノ移設ニ換へ新規ニ他
ノ工作物ヲ施行セル場合ノ取扱ノ件 (昭和四年二月八日東京市復興事業局長宛)
(復興局長官通牒土發第三〇號)

第一 一地區集計工事關係

事業者ノ都合ニ依リ既設工作物ト品質寸法ヲ異ニセル工作物(協定單價中同一工種ニ屬スルモノ)ヲ施設スル場合ニ於テ新規工作物カ既設

一 注意 竣功圖添付ノコト(事業者提出ノ竣功圖ヲ審査ノ上流用スルモ妨ケナシ)

一 地區集計整理工事竝一工事毎整理工事中既設工作物現形ノモノノ移設ニ換ヘ新規ニ他ノ工作物ヲ施行セル場合ノ取扱ノ件 (昭和四年二月八日東京市復興事業局長宛)
(復興局長官通牒土發第三〇號)

第一 一地區集計工事關係

事業者ノ都合ニ依リ既設工作物ト品質寸法ヲ異ニセル工作物(協定單價中同一工種ニ屬スルモノ)ヲ施設スル場合ニ於テ新規工作物カ既設工作物ヨリ優等ナル品質又ハ大ナル寸法ノ場合ハ凡テ契約ニ依ル品質寸法ノモノヲ施設セルモノトシテ補償金ヲ算定シ其ノ反對ニ劣等ナル品質又ハ小ナル寸法ノモノヲ施設セル場合ハ左記ニ依ルコト

記

一 既設工作物ト異ナル工作物ヲ新設セムトスル場合ニ於ケル設計變更ハ契約數量ヲ超過セサル範圍内ナルコト
二 掘上數量ト新設數量ト一致セル部分ニ對シテハ舊工作物撤去費ト新規工作物移設費中ヨリ同撤去費ヲ控除セル費額(再設費)トノ合計額ヲ補償ス

即チ舊工作物撤去費 + (新工作物移設費 - 同撤去費) = 補償額

三 埋殺數量ト新設數量カ一致セル部分ニ對シテハ新規工作物ノ新設費ノミヲ補償ス
四 前二項以外ノ新設、埋殺、撤去、數量ニ對シテハ實際新設埋殺又ハ撤去セル工作物ニ付夫々當該協定單價ヲ適用ス
五 前三項ニ該當ノモノノ内譯書ノ記載方ニ付テハ他ノモノト區別シ掲記ノコト
但シ過不足分ハ他ノ過不足(前記以外ノ分)ト合算シ補償審査内規第十七項但書ニ依リ其補償額ヲ算定ス

第二 一工事關係

一 工事施行上不得止新設工作物ト撤去工作物(協定單價表中ノ同一工種内ニ於ケルモノ)ト其ノ形狀寸法ヲ異ニスル場合ハ左記算定方法ニ依ルコト

掘上數量ト新設數量ト一致セル部分ニ對シテハ舊工作物撤去費ト新規工作物移設費中ヨリ同撤去費ヲ控除セル費額(再設費)ト計ノ合計額ヲ補償ス

即チ舊工作物撤去費 + (新工作物移設費 - 同撤去費) = 補償額

二 前記工作物ニシテ工種(協定單價表中)ヲ異ニスル場合ハ新規工作物ニ對シテハ新設費ヲ補償シ既設工作物ノ撤去費ハ補償セサルコト
但シ電纜ニ在リテハ特別高壓、高壓、低壓ノ區別ニ依リ工種ヲ異ニスルモノトシテ取扱ヒ其ノ條數及心線ノ太サニ依リ區別ヲナササルコト尙撤去物件ニシテ埋殺ノ餘儀ナキ場合ハ當局ノ承認ヲ受クルコト

消火栓移設費補償ニ關スル件

(昭和四年五月七日復興局土木部宛東京市水道局照會水發第二七三二號)
 (昭和四年六月十八日東京市長宛復興局長官回)
 (答土發第一三九號)

(照 會)

貴局出張所ヨリ御要求ニ係ル甲型消火栓ヲ撤去シテ改良乙型消火栓ヲ代設スル場合ニ於ケル補償額ハ從來甲型消火栓撤去費ニ普通乙型消火栓再設費ヲ加算シタルモノヲ以テ算定相成居候處改良乙型消火栓新設費ハ甲型消火栓新設費ヨリモ左記ノ通り寧ろ高價ニ有之候條前記ノ場合ニ於テハ甲型消火栓移設費ヲ以テ補償額算定相成様御詮議相成度候也

記

甲型消火栓新設費	改良乙型消火栓新設費	増
一八五・八二	二二八・八五	四一四・六三

(回 答)

本年五月七日付水發第二七三二號ヲ以テ貴市水道局長照會標記ノ件ハ甲型消火栓單價ヲ適用スルコト但シ一地區集計工事關係ハ當初ヨリ一工事關係ハ未支拂ノ分ヨリ適用スル義ト御了知相成度

地下埋設物其他工作物整理費協定單價ニ關スル疑義ノ件

(昭和五年四月九日復興事務局土木課長宛東京市區劃整理課長照會區外第六九號)
 (昭和五年五月一日東京市區劃整理課長宛復興事務局土木課長回答復土發第四三一號)

(照 會)

標記ノ件ニ關シ左記算出方ニ付キ疑義有之候條御指示相煩度及照會候也

(昭和五年四月九日復興事務局土木課長宛東京市區
劃整理課長照會區外第六九號
昭和五年五月一日東京市區劃整理課長宛復興事務
局土木課長回答復土發第四三一號)

(照會)

標記ノ件ニ關シ左記算出方ニ付キ疑義有之候條御指示相煩度及照會候也

記

- 一、大正十四年度並ニ同十五年度(單價表中A、Bノ區別ナキモノ)工事ニシテ道路復舊ヲ一方(新設又ハ撤去分)ニノミ含ム移設費單價ノ算出方ハ單價表中ノ移設費ヨリ移設分道路復舊費ヲ控除シ更ニ必要トスル分(新設又ハ撤去分)ノ道路復舊費ヲ加ヘ取扱支障ナキヤ
- 一、昭和二年度以降單價表中A、Bノ區別アルモノノ分ハ道路復舊ヲ必要トスル分(新設又ハ撤去分)ノA單價トB單價トノ差ヘ移設費B單價ヲ加ヘ取扱支障ナキヤ

(同答)

- 一、大正十四、十五年度契約又ハ施行ノ移設工事ニシテ新設又ハ撤去工事ノ何レカ一方カ道路復舊ヲ爲ササル場合ハ復舊ヲナササル工事ノ復舊費ヲ移設費單價中ヨリ控除スルコト(協定單價適用方法ニ依ル)
- 二、昭和二年度以降ノ分ニ付テモ前項同様

保管使用ヲ承認シタル給水装置中區劃整理地區内ニ屬スルモノノ移設方取扱ニ關スル

件 (昭和二年一月二十九日復興事務局宛東京
市役所通知水發第四六五一號ノ四)

保管使用ヲ承認シタル給水装置中區劃整理地區内ニ屬スルモノノ移設ニ付テハ特ニ別紙ノ書面ヲ徵シ保管名義ヲ以テ移設並移設ト同時ニ必要ナル改造増設方(移設ノ爲支分引用ヲ受クル手續ヲ含ム)ヲ承認シ尙右移設ヲ要スル場合保管者ニ於テ補足シタル部分ノ材料ノミヲ使用シ移設先ニ給水装置ノ新設方ヲ願ヒ出ツルモノハ特ニ之レヲ承認スルコトニ取扱方決定致候條御了知相成度候也

追テ本件ニ付テハ貴局各出張所ニモ通知致置候ニ付申添候

第一號(有形ノ儘移設ノ場合)

記

- 一 水栓所在地
- 一 種別番號
- 一 所有者
- 一 移設場所

附 錄 丙 地下埋設物其ノ他工作物整理

右給水装置所有者所在不明ノ爲拙者保管使用致居候處今般區劃整理ニ伴ヒ前記ノ通り移設ノ上引續キ使用致度候ニ付特ニ御承認ノ上工事施行相成度(移設ノ爲材料ニ殘餘ヲ生シタル場合ハ拙者責任ヲ以テ保管ス)後日所有者判明ノ場合ハ直ニ保管ヲ辭退シ右施設ハ其ノ儘所有者ニ引渡スヘキハ勿論之カ爲所有者ヨリ苦情等申出候場合ハ一切自分ニ於テ解決シ御市ニ御迷惑相懸申間敷爲後日茲ニ一札差入候也

年 月 日

區 町 丁目 番地

所有者何某保管者 氏 名 ㊦

東京市役所御中

第二號(移設ト同時ニ改造増設ニ要スル場合)

記

- 一 水栓所在地
- 一 種別番號
- 一 所有者
- 一 移設場所

右給水装置所有者所在不明ノ爲拙者保管使用致居候處今般區劃整理ニ伴ヒ前記ノ通移設ノ上引續キ使用致度候ニ付特ニ御承認ノ上移設ト同時ニ改造増設工事施行相成度(移設ノ爲材料ニ殘餘ヲ生シタル場合ハ拙者責任ヲ以テ保管ス)後日所有者判明ノ場合ハ直ニ保管ヲ辭退シ右施設ハ其ノ儘所有者ニ引渡スヘキハ勿論之カ爲所有者ヨリ苦情等申出候場合ハ一切自分ニ於テ解決シ御市ニ御迷惑相懸申間敷爲後日茲ニ一札差入候也

年 月 日

區 町 丁目 番地

所有者何某 保管者 氏 名 ㊦

東京市役所御中

「バラック」移轉ニ伴フ應急給水ノ爲敷設スル假給水管工事費ニ關スル件

東京市役所御中

「バラック」移轉ニ伴フ應急給水ノ爲敷設スル假給水管工事費ニ關スル件

(大正十五年十一月二十六日復興局長官宛東京市
長照會水發第四二三〇號
昭和二年二月十四日東京市長宛復興局土木部長)
回答復土發第二〇五號

(照 會)

區劃整理ニ依ルバラック移轉ニ伴フ私有給水栓ノ移設工事中鐵管ノ移設ナキ場所ニ於テ應急給水ノ爲不取敢假給水管ノ敷設ヲ要シタル場合
ハ後日鐵管ノ敷設ト共ニ私有給水管ノ取替ヲ爲シ移設工事ノ完了ト同時ニ該假設給水管ヲ撤去スルコトト相成從ツテ其ノ完了ヲ俟ツテ工
費ノ精算ヲ遂クルニ於テハ此間相當日時ヲ要シ經理上支障不尠候ニ付右工事費計算方左記ニ依リ處理致度候條至急御詮議相成度候也

記

- 一 假工事竣功ノ場合ハ假工事ニ對スル精算ヲ遂ケ其ノ工費ヲ申受クルコト
- 二 前項假給水管撤去ノ場合假工事使用材料ニ對シ一割ノ損料並撤去工事費ヲ申受クルコト

(回 答)

大正十五年十一月二十六日水發第四二三〇號ヲ以テ標記ノ件御照會ノ處右ハ曩ニ貴市水道局ト協定ニ係ル材料價格並勞力單價其ノ他ニ關ス
ルモノニヨリ處理相成候ニ於テハ異存無之但シ假給水管ノ工事費ニ付テハ左記ノ通取扱致度

記

- 第一 假敷設工事竣功ノ上給水開始ノ場合ハ左記工事費ヲ請求スルコト
 - 一 敷設勞力費
 - 二 敷設ニ要スル消耗品費
- 第二 前項ニ依リ敷設シタル假工事ヲ當局ノ通知ニ依リ處分シタル場合ハ左記工事費ヲ請求スルコト
 - (イ) 假工事ヲ撤去スル場合
 - 一 撤去勞力費
 - 二 撤去ニ要スル消耗品費

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

三 假工事使用材料費ノ一割

(ロ) 假工事カ其ノ儘本工事トナル場合

一 本工事材料費

(ハ) 假工事ノ一部分ヲ殘存シ他ノ一部分ヲ撤去スル場合

一 撤去ノ部分ニ對シテハ(イ)ニ依ルコト

二 本工事トナル部分ニ對シテハ(ロ)ニ依ルコト

第三 設計監督其ノ他ノ事務費ハ前各項ノ區分ニ依リ其ノ都度請求スルコト

保管使用ヲ承認シタル給水装置撤去ニ關スル件

(昭和三年一月二十日第一、第二、第四出)
張所長宛局長通牒市復内第九二七二號

標記ノ件ニ關シ第三出張所長ヨリ甲號ノ通り照會有之乙號ノ通り回答致候條御承知相成度候
(甲 號)

(昭和二年十二月二十八日復興事業局長宛同)
第三出張所長照會市復三發第五八五七號

標記ノ件ニ關シ左記ノ通り疑義ヲ生シ候間何分ノ御回示相成度候也

記

一 保管使用ヲ承認シタル給水装置中區劃整理地區内ニ屬スルモノニシテ區劃整理ノ爲移轉ヲ必要トスル場合ノ取扱ニ關シテハ昭和二年一月二十九日附水發第四六一號ノ四ニ依リ保管者ノ申請ニ依リ移轉シ得ルモ保管者ノ都合ニ依リ之ヲ撤去セムトスル場合ニ保管者ノ補足シタル部分ノ撤去ヲ爲シ得ルヤ

二 前項ヲ爲シ得ルトシタル場合補足部分ニ對スル再設費ヲ現金ニテ補償シ支障ナキヤ

三 保管使用ヲ承認シタル水栓ヲ保管者他人ニ使用セシメ居ル場合ニ保管者自己ノ補足工作物ヲ撤去セムトスルトキハ水道使用條例第六號様式ニ準シ使用者同意ナル旨ヲ申請書ニ記入セシムルコトヲ要スルヤ

(乙 號)

二十九日附水發第四六一號ノ四ニ依リ保管者ノ申請ニ依リ移轉シ得ルモ保管者ノ都合ニ依リ之ヲ撤去セムトスル場合ニ保管者ノ補足シタル部分ノ撤去ヲ爲シ得ルヤ

二 前項ヲ爲シ得ルトシタル場合補足部分ニ對スル再設費ヲ現金ニテ補償シ支障ナキヤ

三 保管使用ヲ承認シアル水栓ヲ保管者他人ニ使用セシメ居ル場合ニ保管者自己ノ補足工作物ヲ撤去セムトスルトキハ水道使用條例第六號様式ニ準シ使用者同意ナル旨ヲ申請書ニ記入セシムルコトヲ要スルヤ

(乙 號)

(昭和三年一月二十日復興事業局第三出張所長宛局長回答市復内第九二七二號)

記

一 「第一項」

貴見ノ通り

一 「第二項」

貴見ノ通り再設費ヲ現金ニテ補償スルコトヲ得

一 「第三項」

保管者自己ノ補足シタル工作物ヲ撤去セムトスル場合ハ水道條例第六條様式ニ準シ使用者ノ同意ヲ得ルコト但シ移轉後ニ於テ水道使用者ニ給水上支障ヲ來ササルトキハ此ノ限りニアラス

水道工作物一地區集計整理設計並實施方ニ關スル件

(昭和三年二月十三日東京市水道局長宛復興事業局長照會市復乙第三二四九號
昭和三年三月二十日東京市復興事業局長宛東京市水道局長回答水發第一四四六號)

(照 會)

標記ノ件ニ關シテハ貴局ト復興局土木部トノ間ニ御協議濟ノ處當局ニ於テモ左記ノ通處理致度候ニ付テハ何分ノ御意見至急承知致度

追テ第四項本文ニ該當スヘキモノニシテ既ニ當局ヨリ要求シタルモノ有之候場合ニ於テモ本件ノ趣旨ニ依リ處理致度

記

一 鐵管既設道路ニシテ廢道トナル場合ハ從來ノ通り補償審査內規第一章第三項ニ依リ配給上該管線路ニ代ル鐵管ヲ敷設スルコト

二 鐵管敷設ナキ道路ニシテ廢道トナリ新公道ニ代用管ヲ敷設スル場合ハ舊廢公道及幅員一間以上ノ舊廢私道延長ノ限度ニ於テ補償審査內規第一章第二項ノ代用管トシ鐵管口徑四分ノ三吋ニ相當スル配給管ノ新設工事費ノ全額ヲ補償スルコト

但シ新公道(第一項ニ依リ鐵管ヲ敷設セル街路ヲ除ク)ノ其延長カ右限度ヲ超過スル時ハ該超過分ノ配給管(引込管ニアラス)ハ水道局ノ負擔トシ超過セサルトキハ其補償限度ヲ其延長ニ止ム

三 第二項代用(配給)管ノ工事ニ代ヘ鐵管ヲ敷設スルカ爲ニ假工事ヲ必要トスル場合ハ水道局ノ負擔トス但シ區劃整理工事ノ都合ニ依リ

附

錄

丙 地下埋設物其他工作物整理

- 配給管敷設不可能ノ場合ハ各移轉バラツク給水ニ要スル假工事ハ整理施行者ノ負擔トス
- 四 新私道ニシテ通抜幅員一間以上ノモノニ敷設ヲ要スル配給管ハ假工事ト併セテ水道局ノ負擔トス但シ區劃整理工事ノ都合ニ依リ配給管敷設不可能ノ場合ハ各移轉バラツク給水ニ要スル假工事ハ整理施行者ノ負擔トス
- 五 在來街路公私道並ニ新私道ニシテ通抜ナラサル一間以上ノモノ及一間未滿ノ私道分ハ整理施行者ノ負擔トシ處理スルモノトス

(同 答)

本年二月十三日付市復乙第三二四九號ヲ以テ御照會ニ係ル標記ノ件ハ御來示ノ通ニテ支障無之候條御了知相成度候也

道テ第四項新私道ニ對スル工事ニ關シテハ復興局土木部ト協定シタルト同様工事施行前關係地主ヨリ左記事項ノ承諾書ヲ徴シ得ル場合ニ限リ實施スルコトニ致度候

- 一 水道配給管ニ關スル諸工事ニ對シテハ異議ヲ申出サルコト
- 二 配給管敷設用地ノ使用ハ無償トス
- 三 配給管敷設ヲ通路以外ノ用ニ供スルトキハ事前ニ水道局ニ協議スルコト
- 四 將來配給管敷設用地ノ所有權ヲ移轉スル場合ハ前各項ノ履行ヲ條件トスルコト

代用管處理方ノ件

(昭和三年三月十二日復興局土木部長宛東京市水道局長照會水發第一二六九號)
(昭和三年五月二十一日東京市水道局長宛復興局土木部長回答復土發第八八五號)

(照 會)

水道工作物一地區集計工事契約ニ係ル代用管ノ敷設實施ニ關シテハ一地區内全部又ハ二、三分割シタル包括的ノ要求書ニ依リ處理スル方相互ノ便宜ト被存候條爾今左記事項ニ依リ御取扱相成候様御詮議相成度候也

左 記

- 一 水道工作物一地區集計工事契約協定ノ上ハ該地區中代用管ノ協定延長ニ基キ貴局關係出張所ト當局ニ於テ實施スヘキ路線ヲ協議決定シタル上ハ可成包括シテ要求セラレ度
- 二 前項實施路線協定前ニ在リテハ昭和二年九月二十八日復土發第一七一四號照會ノ代用管敷設ニ關スル協定趣旨ニ依リ新公道及新私道

(幅員一間以上通抜ノモノ)以外ノモノハ一工事抜トシテ要求セラレ度

三 地區集計應急整理工事ニシテ實施可能ノ見込ヲ有スル分モ可成包括シテ要求セラレ度

水道工作物一地區集計工事契約ニ係ル代用管ノ敷設實施ニ關シテハ一地區内全部又ハ二、三分割シタル包括的ノ要求書ニ依リ處理スル方相互ノ便宜ト被存候條爾今左記事項ニ依リ御取扱相成候様御詮議相成度候也

左記

- 一 水道工作物一地區集計工事契約協定ノ上ハ該地區中代用管ノ協定延長ニ基キ貴局關係出張所ト當局ニ於テ實施スヘキ路線ヲ協議決定シタル上ハ可成包括シテ要求セラレ度
- 二 前項實施路線協定前ニ在リテハ昭和二年九月二十八日復土發第一七一四號照會ノ代用管敷設ニ關スル協定趣旨ニ依リ新公道及新私道

(幅員一間以上通抜ノモノ)以外ノモノハ一工事抜トシテ要求セラレ度

- 三 地區集計應急整理工事ニシテ實施可能ノ見込ヲ有スル分モ可成包括シテ要求セラレ度

以上

(同 答)

本年三月十二日付水發第一二六九號照會標記ノ件ハ左記ニ依リ御了知相成度

記

- 一 關係當局出張所ヨリ貴局ニ打合ノ上可成的包括要求スルコト
- 二 補償審査内規第三章第十七項ニ依リ地區集計工事トシテ處理スルコト
- 三 第一項ト同斷

區劃整理ニ件フ給水工事取扱方ニ關スル件 (昭和四年四月二十二日判 決市復發第一〇六二號)

- 一 地區集計工事ニ依ル鐵管(本管)再設置ニ於テ其ノ移設以前(移設先タル道路敷ニ障碍物存置等ノ爲)移轉家屋ニ應急給水ノ必要上既設鐵管ヨリ各戸ニ對シ假設的ニ引込ミタル給水設備ハ「家屋移轉ニ件フ給水移設工事」ノ附帶工事トシテ處理スルコト(假工事ニ使用セラル材料ハ本工事ニ再用セシム)但給水管代用設備トシテ連合管ヲ敷設セル場合ハ之ニ對シ材料損料並勞力費ヲ水道局(一地區集計工事ノ附帶工事トシテ)ニ補償スルコト
- 二 代用管協定(昭和二年九月二十八日)前應急給水ノ必要上水道局ニ於テ給水管代用設備トシテ假線工事ヲ爲セル場合ハ前項同様材料損料及勞力費ヲ一地區集計工事ノ附帶工事トシテ補償スルコト而シテ代用管協定後ニ於テ施行セル假線工事費ハ凡テ水道局ノ負擔トス猶代用管ノ工事要求ハ契約ニ依ル全延長タルコト

下水工事實施分擔ノ件 (大正十三年七月五日東京市長宛 復興局長官照會土發第一九三號)

復興事業施行地域内排水設備ノ實施ニ就テハ貴市執行ノ下水道改良工事ト當局ニ於テ執行スヘキ街路工事ニ件フ排水設備トハ其施行區分ヲ貴市及當局ニ於テ左記ノ通り分擔スルコトニ致度此段及照會候也

附

錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

三四一

- 一 下水道改良事業ノ計畫ナキ路線ノ部分(幹線下水渠ノミノ計畫アル部分ヲモ含ム)此ノ場合ハ其ノ必要トナル排水施設ハ之ヲ當局ニ於テ執行スル街路工事ニ附帶セシムル事
- 二 下水道改良事業ノ計畫アル路線ノ部分
 - (イ) 下水道改良事業カ街路工事ヨリ先ニ竣功スル場合此ノ場合原則トシテ境界下水地先下水竝之ニ要スル雨水枳及其ノ取付管工事ハ之ヲ當局ニ於テ執行スル街路工事ニ附帶セシメ其他ハ市ノ下水トシテ行フ
 - (ロ) 下水改良事業カ街路工事ヨリ後ニ竣功スル場合此ノ場合原則トシテ境界下水地先下水竝之ニ要スル雨水枍及之ニ伴フ一時的設備工事ハ之ヲ當局ニ於テ執行スル街路工事ニ附帶セシメ其他ハ市ノ下水工事トシテ之ヲ行フ
- 三 前各項ニ依ルコトヲ得サル事情發生ノ場合ハ協議ノ上相當決定スルコト
- 四 前各項ノ結果下水道改良事業費減額ヲ來シタルトキハ之ニ對スル補助モ亦相當減額スヘキコト

區劃整理ニ伴フ下水工作物處理方針 (大正十五年六月十四日決定)

- 一 下水工作物ノ整理ハ事業者ナル東京市下水課ニ補償費ヲ拂ヒ施工セシムルヲ原則トス
- 二 下水課ニ對シテノ整理要求ハ宅地造成者又ハ街路築造者ノ要求ニヨリ地下埋設係之ヲ行フ
- 三 前項整理ノ要求ハ特ニ設計ヲ要スルモノニアリテハ二ヶ月以上ノ餘裕ヲ以テスルヲ要ス
- 四 下水課ハ該要求ニ對シ著手竣工ノ届ヲ出スモノトス竣工届ハ圖面ヲ添付スルヲ要ス
- 五 地下埋設係ハ著手竣工届ヲ受理シ立會又ハ竣功検査ヲナシ補償費支拂ノ基礎トナルヘキ記録ヲ作製ス
- 六 バラツク移轉ニ直接支障トナル現存下水工作物ノ一時取外シハ宅地造成ノ手ニテ行フモノトス
- 七 宅地造成係ニ於テ現存工作物ノ一時取外シヲ行ハムトスルトキハ地下埋設係ヲ通シテ下水課員ノ立會ヲ求ムルコトヲ要ス
- 八 前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ地下埋設係ハ支障工作物ノ現況ヲ下水課員立會ノ上記録シ補償費ヲ支拂フ場合ノ參考トス
- 九 一時取外セル工作物ハ直ニ下水課ニ引渡スモノトス
- 一〇 次ノ場合ニハ宅地造成者及街路築造者ハ地下埋設係ニ通知スルヲ要ス地下埋設係ハ管理者ニ夫ヲ通知ス

(イ) 公有ニ屬スル在來下水開渠ヲ處分セムトスルトキ
假排水用ノ下水枍ヲ既設下水管ニ取付ケムトスルトキ

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

三四四

第一條 土地ノ所有者使用者又ハ占有者ハ左ノ區分ニ依リ下水道法第三條ノ施設ヲナシ及之ヲ管理スルノ義務ヲ負フ但シ本則第二條ノ場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラス

一 建物アル土地ニアリテハ之カ築造及修繕ハ其ノ建物ノ所有者

二 建物ナキ土地ニアリテハ之カ築造及修繕ハ其ノ所有者

三 建物ノ有無ニ不拘之カ掃除及新設ハ土地占有者

第二條 市ハ下水道法第三條ノ施設ニシテ公道ニ屬スル部分ヲ築造シ及之ヲ管理スルノ義務ヲ負フ市ハ土地ノ狀況ニ依リ下水道法第三條ノ施設ニシテ公道以外ニ屬スル部分ヲ築造シ之ヲ管理スルコトヲ得

四 東京市下水道條例抜(大正十四年十二月二十一日東京市條令第七號)

第一條 本市ハ法例ニ基クモノ、外本條例ノ定ムル處ニ依リ下水道ノ施設及管理ヲナス

本條例ニ於テハ下水道法第一條ニ依ル下水道ニシテ本市ニ於テ敷設スルモノヲ公設下水道ト稱シ下水道義務者ニ於テ敷設スルモノヲ私設下水道ト稱ス

瓦斯工作物一地區集計整理實施方ニ關スル件

(昭和三年二月十三日東京瓦斯株式會社長宛)
復興事業局長照會市復乙第三二四九號

標記ノ件ニ關シテハ貴社ト復興局土木部トノ間ニ御協議濟ノ處市長施行地區ニ於テモ左記ノ通處理致度候ニ付テハ何分ノ御意見至急承知致度
追テ第二項及第三項ニ該當スヘキモノニシテ既ニ當局ヨリ要求シタルモノ有之候場合ニ於テモ本件ノ趣旨ニ依リ處理致度

記

- 一 鐵管既設道路ニシテ廢道トナル場合ハ從來ノ通補償審査内規第一章第三項ニ依リ配給上該管線路ニ代ル鐵管ヲ敷設スルコト
 - 二 前項ニ依リ鐵管ヲ敷設セラレサル公道ニ配給管ヲ敷設スル場合ハ東京瓦斯株式會社ノ負擔トスルコト
 - 三 通抜ノ道路ニシテ全長ヲ通シ幅員一間以上ノ私道ニ敷設ノ必要アルモノハ凡テ東京瓦斯株式會社ノ費用ヲ以テ敷設スルコト
 - 四 通抜ノ道路ニシテ幅員一間未滿ノ私道及行詰リノ私道分ハ整理施行者ノ負擔トシ處理スルモノトス
- (異存ナキ旨口頭回答)

地下埋設物其他工作物ノ移轉ニ關スル件

(大正十四年八月二十日東京市長宛復興局土木部)
部長通牒復土發第一六五九號

- 一 鐵管既設道路ニシテ廢道トナル場合ハ從來ノ通補償審査内規第一章第三項ニ依リ配給上該管線路ニ代ル鐵管ヲ敷設スルコト
 - 二 前項ニ依リ鐵管ヲ敷設セラレサル公道ニ配給管ヲ敷設スル場合ハ東京瓦斯株式會社ノ負擔トスルコト
 - 三 通抜ノ道路ニシテ全長ヲ通シ幅員一間以上ノ私道ニ敷設ノ必要アルモノハ凡テ東京瓦斯株式會社ノ費用ヲ以テ敷設スルコト
 - 四 通抜ノ道路ニシテ幅員一間未滿ノ私道及行詰リノ私道分ハ整理施行者ノ負擔トシ處理スルモノトス
- (異存ナキ旨口頭回答)

地下埋設物其ノ他工作物ノ移轉ニ關スル件

(大正十四年八月二十日東京市長宛復興局土木部長通牒復土發第一六五九號)

從來當部ニ於テ取扱居候遞信省其ノ他ノ官廳所管工作物ノ措置方ニ關シテハ本年五月二十九日附復土發第一〇一八號ヲ以テ及御照會置候處右ノ内警視廳、遞信省、近衛師團所管ノモノニ限リ來ル九月一日以降當局所轄各出張所長ニ於テ直接移轉要求等手續ヲ爲スコトニ相成候條爾今關係書類ハ一切出張所宛御提出相成度

復興事業ニ伴フ電信電話關係處理手續

(大正十四年十二月七日東京市區劃整理局長宛復興局土木部長通牒復土發第二四二一ノ號ノ一)

- 第一 左ノ電信、電話ノ移轉工事ハ復興局ノ工事トシ遞信省ニ委託シテ之ヲ施行スルコト但シ其ノ手續ニ關シテハ大正十四年二月復土發第二〇二號及同三月復土發第四八二號通牒ニ依リ
 - 一 遞信省所管電信電話線路
 - 二 加入電話機(遞信省ニ於テ設備及維持ヲナス甲種及乙種増設ヲ含ム)
 - 三 自働電話機
 - 四 臨時市内特設電話規則ニ依リ交換機ヨリ電話取扱局ニ至ル線路
 - 五 市内専用電話規則ニ定ムル電話機
 - 六 同報電信地下管路、氣送管路
 - 七 軍用官廳用其ノ他ノ電信電話ニシテ遞信省ニ於テ保守委託ヲ受ケ居ルモノ
- 第二 土地區劃整理地區内ニ於ケル左ノ電信、電話ノ移轉工事ハ復興局ノ工事トシ所管官廳ニ委託シテ之ヲ施行スルコト但シ前項第七號ヲ除ク
 - 一 官廳用電信電話規程ニ依ルモノ(警視廳、鐵道省、文部省其ノ他ノ官廳施設ノモノ)ニ付テハ其ノ所管官廳ニ工事ヲ委託スルコト
 - 二 軍用電信法ニ依ルモノ(第一師團、近衛師團、憲兵隊等ニ於テ施設セルモノ)ニ付テハ其ノ工事ヲ近衛師團經理部ニ委託スルコト
 - 第三 土地區劃整理地區内ニ於ケル左ノ電信、電話、移轉工事ハ設備者ヲシテ施行セシメ其ノ補償ヲナスコト
 - 一 電話規則ニ依リ加入者ニ於テ設備及維持ヲナス甲種及乙種増設

附 錄 丙 地下埋設物其ノ他工作物整理

- 二 私設電話規則ニ依リ公署會社等（電氣局、東京電燈株式會社其ノ他）ニ於テ事業專用ニ供スル爲施設セル電信電話
- 第四 土地區劃整理地區内ニ於ケル構内電話（電話規則ニ依ラサル個人施設ノ電話機ニシテ遞信省電話線ニ接續シ得サルモノ）ニ對シテハ呼鈴表示器等ト同様ニ一般建物ニ準シ取扱フコト
- 第五 土地區劃整理地區内ニ於ケル臨時市内特設電話規則ニ依ル施設ニシテ第一項第四號ヲ除クモノ、移轉工事ハ復興局ノ工事トシ請負其ノ他ノ方法ニ依リ出張所ニ於テ直接之ヲ施行スルコト
- 第六（大正十五年一月二十二日 追加）
接續工事ハ遞信局工務課ニ於テ之ヲ行ヒ設備工事竣功届ノ提出ニ依リ右接續工事ニ著手可相成協定ニ付工事竣功届ハ工事竣功ト同時ニ提出セシメ之ニ復興局關係ト記入シ責任者捺印ノ上本人ヲシテ遞信省工務課へ直接提出セシムルコト

土地區劃整理ニ伴フ同報電信受信機移轉ニ關スル件

同報電信移轉料ニ關スル件

（大正十五年二月五日復興局長官宛東京遞信局）
（長照會規信第一六〇二號）
（大正十五年一月二十五日復興局長官宛遞信省）
（電務局長照會電業第二二八號）
（大正十五年五月十二日遞信省電務局長、東京遞信局長宛復興局長官回答復土發第三六八號）

（照 會）

東京市街路復興並土地區劃整理ニ伴フ同報電信受信機等ノ移轉ニ關シテハ大體左記手續ニ依ルコト、致度此段及御協議候
記

- 一 貴局ヨリ御提出ノ移轉申請書ハ別紙様式ノ通トシ電話機設置場所等ノ變更ニ現用ノモノヲ流用差支ナキコト
 - 二 同報電信ノ同一邸宅外移轉ニハ相當時日ヲ要スルニ付右申請ハ移轉前可及的速ニ御取運アリタキコト
 - 三 新設置場所ト取扱電信局間ノ距離ニ就テハ曩ニ電務局ヨリ回答ノ通遠距離ニ涉ルヲ許ササルニ付右制限ヲ超ユル者ニ對シテハ別ニ適宜ノ場所ヲ選定スルカ又ハ一時受信機ヲ撤去スル様豫メ御懇示アリタキコト
 - 四 前記申請書類ハ凡テ取扱電信局（日本橋區兜町東京中央電信局兜町分室）ヲ經由御提出ノコト
- （様 式）

- 一 貴局ヨリ御提出ノ移轉申請書ハ別紙様式ノ通トシ電話機設置場所等ノ變更ニ現用ノモノヲ流用差支ナキコト
 - 二 同報電信ノ同一邸宅外移轉ニハ相當時日ヲ要スルニ付右申請ハ移轉前可及的速ニ御取運アリタキコト
 - 三 新設置場所ト取扱電信局間ノ距離ニ就テハ曩ニ電務局ヨリ回答ノ通遠距離ニ涉ルヲ許ササルニ付右制限ヲ超ユル者ニ對シテハ別ニ適宜ノ場所ヲ選定スルカ又ハ一時受信機ヲ撤去スル様豫メ御懇示アリタキコト
 - 四 前記申請書類ハ凡テ取扱電信局(日本橋區兜町東京中央電信局兜町分室)ヲ經由御提出ノコト
- (様式)

甲號書式

土地區劃整理ニ因ル同報電信受信機設置場所變更申請書

土地區劃整理ニ因リ左記ノ通受信機設置場所變更ヲ要シ候ニ就テハ之カ料金ハ貴局ニ於テ御負擔ノ上其變更申請手續等ハ貴局ニ於テ御履行相成度然ル上ハ右ニ對シテハ後日一切異議申ス間敷此段及申請候也

大正 年 月 日

住所 區 町 番地

電話名義人職業

復興局 御 中

記

- 一、同報電信番號 局 番
- 二、現在設置場所 區 町 番地
- 三、新設置場所 第 地區 群換地第 號
- 四、移轉豫定年月日 大正 年 月 日
- 五、取外ヲ要スル機械種類及箇數
- 六、取外ヲ要スル豫定年月日 大正 年 月 日

備考

- 一 此ノ申請書ハ各相當欄ニ御記入捺印ノ上復興局係員へ御差出下サイ
- 一 此ノ申請書ヲ御差出ニナレハ設置場所變更機械一時取外ハ復興局ヲ直接東京遞信局へ手續ヲナシ費用モ直接支拂ヒマスカラ手數カ省ケマス
- 一 家屋移轉後直チニ受信機ヲ利用ナサル爲ニハ出來ル丈ケ早ク此ノ申請書ヲ御差出下サイ若シ此ノ申請書ノ御差出カ遅レルト家屋移轉後モ暫ク利用カ出來ヌカモ知レマセン
- 一 設置場所變更一時取外等請求ノ區別ニ依リ不要ノ部分ハ抹消シテ下サイ

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

乙號書式

土地區劃整理ニ因ル同報電信受信機設置場所變更請求書

同報電信番號

番

現在受信機設置場所

區

町

番地

右電話機ヲ土地區劃整理ニ伴ヒ左記ノ通移轉ヲ要シ候ニ付工事費ハ當局ニ於テ負擔可致候條工事施行相成度名義人連署ノ上及請求候也

大正 年 月 日

復興局第 出張所

住 所

名義人

東京遞信局長

殿

記

一、新電話機設置場所(區劃整理ノ地區)

二、移轉豫定年月日 大正 年 月 日

三、移轉ニ先チ一時取外ヲ要スル豫定年月日 大正 年 月 日

但シ家屋所有者ハ

ニ有之候

前記ノ場所ニ同報電信受信機設置ノ趣承諾ス

住 所

家屋所有者

備考

一 乙號書式ハ機械設置場所變更請求ニ限リ使用スルコト

一 名義人使用ノ印章ハ東京中央電信局ヘ届出アルモノト同一ノモノヲ使用スルコト

一 同一ノ邸宅構内ニ於ケル移轉ノ場合ハ左記欄外ヘ構内移轉ト記入スルコト

一 機械移轉ニ先チ一時取外ヲ要スルモノハ左記中一時取外ヲ要スル豫定年月日欄ニ豫定月日ヲ相當記入スルコト

一 他人所有ノ家屋ニ設置セムトスル場合ハ家屋所有者ノ承諾印ヲ要ス

前記ノ場所ニ同報電信受信機設置ノ趣承諾ス

住 所

家屋所有者

備考

- 一 乙號書式ハ機械設置場所變更請求ニ限り使用スルコト
- 一 名義人使用ノ印章ハ東京中央電信局ヘ届出アルモノト同一ノモノヲ使用スルコト
- 一 同一ノ邸宅構内ニ於ケル移轉ノ場合ハ左記欄外ヘ構内移轉ト記入スルコト
- 一 機械移轉ニ先チ一時取外ヲ要スルモノハ左記中一時取外ヲ要スル豫定年月日欄ニ豫定月日ヲ相當記入スルコト

- 一 他人所有ノ家屋ニ設置セムトスル場合ハ家屋所有者ノ承諾印ヲ要ス

丙號書式

土地區劃整理ニ因ル機械一時取外請求書

同報電信番號

番

現在受信機械設置場所

區 町

番地

土地區劃整理ニ伴ヒ右電話機左記ノ通機械一時取外ヲ要シ候ニ付工事費ハ當局ニ於テ負擔可致候條工事施行相成度名義人連署ノ上及請求候也

大正 年 月 日

復興局第

出張所

住 所

名義人

東京遞信局長

殿

記

一、取外ヲ要スル年月日 大正 年 月 日

備考

- 一 丙號書式ハ機械一時取外ニ限り使用スルコト
- 一 名義人使用ノ印章ハ電話局ヘ届出アルモノト同一ノモノヲ使用スルコト

(照 會)

同報電信移轉料ニ關スル件

東京市街路復興並ニ土地區劃整理ニ伴フ同報電信機等ノ移轉ニ關シテハ左記ノ通當省大臣ニ於テ承認相成候條之ニ關スル詳細ノ手續ハ東京

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

遞信局ト豫メ御協定相成度

記

- 一 同報電信規則ニ依ル同報電信受信機等ノ設備場所變更ハ貴局ノ工事トスル關係上同報電信規則第十一條ニ依ル移轉料ハ加入者ヨリ徴收セサルコト
- 二 在來同報電信受信機ハ本機ノ性質、機器ノ調整及ヒ維持等ノ關係上同報電信取扱電信官署ヨリ線路延丁程凡ソ十町以内ノ場所ニ限リ其ノ設置ヲ認メ來リタルヲ以テ右範圍外ニ之ヲ設置セムトスルモノニ付テハ之カ變更ヲ認メサルコト
- 三 前號ノ範圍内ニ於ケル受信機設置場所ノ變更セル以上其ノ移轉地ハ換地豫定地域ノ内外ヲ問ハサルコト
- 四 貴局ノ工事トシテ設置場所ノ變更ヲ爲スモノハ其ノ工事著手前豫メ貴局ト加入者連署ノ同報電信受信機移轉申請書ヲ貴局ヨリ東京遞信局ヘ提出セラレタキコト但シ其ノ申請書式ハ東京遞信局ト協定アリタキコト

(同 答)

標記ノ件ニ關シ(本年一月二十五日電業第二二二八號)ヲ以テ御來示ノ件異存無之候但シ制限距離内ニ電信受信機設置ノ件ニ關シテハ可成御來示ノ通制限内ニ換地ヲ指定候様各關係部課ニ通知可致置尙本件ハ差當リ制限距離外ニ出ツルモノ無之見込ナルモ萬一多少制限外ニ出ツルモノ有之候様ノ場合ハ更ニ當局土木部ヨリ御協議可及候條其ノ節ハ工事實施方ニ關シ特ニ御配慮相煩度

括弧内遞信局ヘハ(本年二月五日規信第一六〇二號)トスルコト

土地區劃整理ニ伴フ遞信省電話規則並市内專用電話規則ニ依ル電話機及其ノ附屬物品處理方法

(大正十五年六月二十九日東京市區劃整理局長宛)
(土木部長建築部長通牒復土發第九四八號ノ二)
(大正十五年七月十三日各出張所長宛區劃整理局長依牒區乙第五八二號)

標記ノ件ニ關シテハ客年九月十日復土發第一八三四號ヲ以テ通牒相成候通右電話機及其ノ附屬物品ノ移轉工事ハ換地ヘ一回移轉セシムルヲ本則トスルモ專ラ電話ニ依リ取引ヲ行フ營業例ヘハ廻米問屋及各種仲立業者等ニシテ營業ノ性質上假居住地ニ於テモ電話機ヲ移轉スレハ營業ヲ繼續シ得ル見込アルモノニ對シテハ休業補償金ノ交付ニ代ヘ又ハ之ヲ減額シテ特ニ假移轉工事ヲモ當局ノ工事トシテ依託施行(特別加入區域ノモノハ五月二十五日付復土發第七三〇號通牒ニ依リ同一地區及市内電話加入區域内移轉ニ限ル)相成可然候條御了知相成度

追テ右假移轉ハ其ノ工事費カ休業補償金額(又ハ減額スル額)ヲ超エサル場合ニ限ル義ニ有之尙特別都市計畫法第六條ニ依ル補償金算定調

書ニハ假居住地ニ於テ電話ヲ繼續使用スル見込ヲ以テ休業補償金ヲ査定シタル旨ヲ明記相成度

電話機及其ノ附屬物品ノ移轉工事ハ當局ノ工事トシテ之ヲ遞信省ニ委託シテ行フコト

標記ノ件ニ關シテハ客年九月十日復土發第一八三四號ヲ以テ通牒相成候通右電話機及其ノ附屬物品ノ移轉工事ハ換地ヘ一回移轉セシムルヲ本則トスルモ專ラ電話ニ依リ取引ヲ行フ營業例ヘハ廻米問屋及各種仲立業者等ニシテ營業ノ性質上假居住地ニ於テモ電話機ヲ移轉スレハ營業ヲ繼續シ得ル見込アルモノニ對シテハ休業補償金ノ交付ニ代ヘ又ハ之ヲ減額シテ特ニ假移轉工事ヲモ當局ノ工事トシテ依託施行(特別加入區域ノモノハ五月二十五日付復土發第七三〇號通牒ニ依リ同一地區及市内電話加入區域内移轉ニ限ル)相成可然候條御了知相成度
追テ右假移轉ハ其ノ工事費カ休業補償金額(又ハ減額スル額)ヲ超エサル場合ニ限ル義ニ有之尙特別都市計畫法第六條ニ依ル補償金算定調

(土木部長宛發音長通牒復土發第九四八號ノ二)
大正十五年七月十三日各出張所長宛區劃整理局)
長依牒區乙第五八二號

書ニハ假居住地ニ於テ電話ヲ繼續使用スル見込ヲ以テ休業補償金ヲ査定シタル旨ヲ明記相成度

- 一 電話機及其ノ附屬物品ノ移轉工事ハ當局ノ工事トシテ之ヲ遞信省ニ委託シテ行フコト
- 二 前項ノ工事ハ換地ヘ一回移轉セシムルヲ本則トス
換地ニ非サルモ市内電話加入區域及特別加入區域内ノ移轉ハ一回ニ限り右ニ准シ取扱フコト、但シ之等ノ區域外ニ出ル者ニ對シテハ「バラック」移轉ノ工法別ニ依ル工事費ノ範圍内ノ補償ヲ以テ工事ニ代フルコトヲ得
- 三 第一項ノ移轉工事ハ「バラック」移轉ノ實際工法ニ基キ取扱フコト

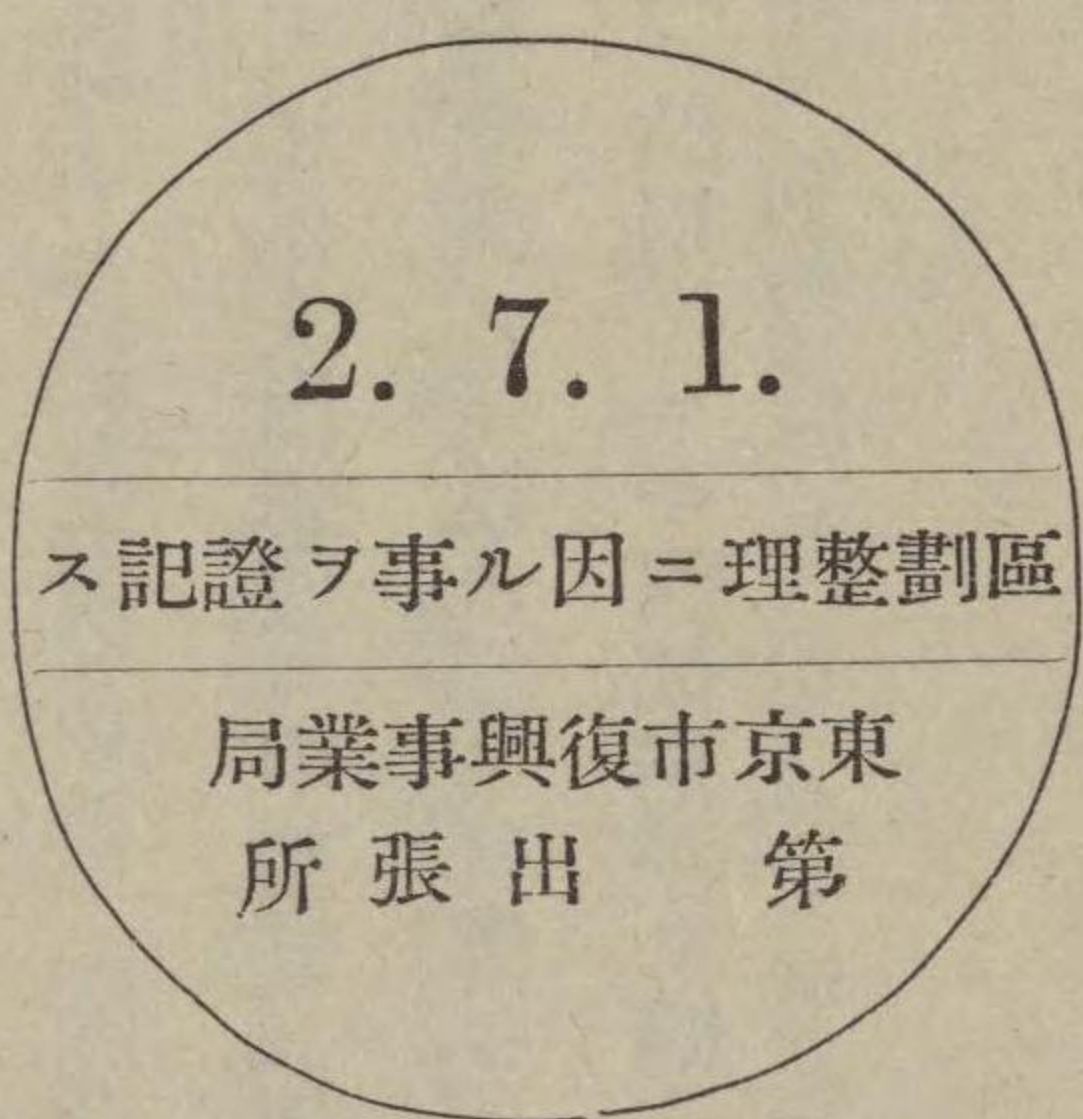
(昭和二年七月十一日各出張所長宛復興事業局)
長通牒市復乙第一三五六號

標記ノ件ニ關シテハ大正十五年七月十三日附區乙第五八二號ヲ以テ及通知置候處之カ費用負擔方ニ關シ別紙ノ通り復興局土木部長ヨリ通知有之候ニ付爾今左記各號ニ依リ御處理相成度此段及通牒候也

記

- 一 本市長施行地區内ノモノト雖最初ノ一回移轉工事ハ總テ大正十四年八月二十八日附區發第二七五八號通牒ノ趣旨ニ依リ復興局工事トシテ同局ニ於テ施行スルモノナルモ第二回ノ移轉工事ニシテ本市ニ於テ移轉費用ヲ負擔スルモノニ在リテハ其ノ移轉工事ノ施行ヲ加入者ヲシテ中央電話局ニ申請セシムルモノトシ其ノ申請書ハ所轄出張所ニ提出セシムルコト
- 二 中央電話局ニ納付スヘキ工事費(遞信省令電話規則ニ依ル移轉料)ハ現金補償ノ手續ニ依ルコト但シ支出科目ハ一般私有管線ノ整理科目ト同一ナルコト
- 三 第一號ニ依リ加入者ヨリ出張所ニ申請書ヲ提出シタルトキハ之ニ證明印(第一號様式)ヲ押捺シ遲滞ナク中央電話局ニ廻送スルコト
- 四 第二號ニ依リ現金補償ノ手續ヲ爲スニ際シテハ該補償金受領ニ必要ナル委任狀(第二號様式)ヲ徴シ加入者ニ代リ區役所ヨリ之カ受領ヲ爲シ前號申請書ニ貼用スヘキ郵便切手ヲ購入ノ上貼付スルコト

第一號様式



第二號樣式

貳錢收入

印紙貼用

委 任 狀

拙者儀何某ヲ代理人トシ左ノ權限ヲ委任ス

年 月 日

住 所

氏

名 印

記

一 何區何町何番地所在ノ電話(丸ノ内何番等)ヲ何區何町何番地ニ移轉スル爲東京市ヨリ交付セラルヘキ移轉料金 圓也ヲ何區役所
ニ請求シ且其ノ受領ヲ爲スコト

復興事業ニ伴ヒ整理ヲ要スル遞信省所管電信電話關係工作物整理工事ノ範圍ニ關スル件

一 何區何町何番地所在ノ電話（丸ノ内何番等）ヲ何區何町何番地ニ移轉スル爲東京市ヨリ交付セラルヘキ移轉料金
ニ請求シ且其ノ受領ヲ爲スコト 圓也ヲ何區役所

復興事業ニ伴ヒ整理ヲ要スル遞信省所管電信電話關係工作物整理工事ノ範圍ニ關スル件

（大正十五年十一月二十六日遞信次官宛復興局）
（長官照會土發第一七五號）
（大正十五年十二月十七日復興局長官宛遞信次）
（官回答話第二二八一號）

（照會）

東京及横濱ニ於ケル復興事業ニ伴ヒ整理ヲ要スル貴省所管電信電話關係工作物整理ニ關シテハ豫テノ御打合ニ依リ貴省ニ委託施行ノコトト相成居候處該整理工事ノ範圍其ノ他ニ付テハ別紙ニ依リ取扱フコト致候條何分ノ御意見至急承知致度
東京及横濱ニ於ケル復興事業ニ伴フ遞信省所管電信電話線路ノ移設其他ノ整理工事ハ左記（特殊ノ工作物ヲ除ク）各項ノ一ニ該當ノモノニシテ遞信省及復興局ト協議ノ結果整理ノ必要ヲ認メタルモノヲ復興局工事トシテ施行スルモノトス但シ既設工作物ノ改良ニ屬スルモノハ復興事業費ニテ支辨ノ限リニ非ス

記

- 第一 土地區劃整理ニ伴フ電信電話ノ引込線ノ移設其他ノ整理工事
- 第二 廢道内各種電線路（専用橋並氣送管路ヲ含ム以下同斷）ノ移設其他ノ整理工事
- 第三 電柱其他ノ路上工作物ニシテ新「バラック」出入口ニ對シ甚タシク支障ヲ來セルモノノ移設工事
- 第四 街路、橋梁、運河工事等ニ支障スル各種電線路移設其他ノ整理工事
- 第五 盛土又ハ切取工事ノ爲左ノ各號ノ一ニ該當スル整理工事
 - 一 地中電線路ノ露出又ハ防護ヲ要スルニ至リタル場合
 - 二 電柱其他ニシテ放置シ難キニ至リタル場合
 - 三 架空電線路ニシテ路面ヨリ甚タシク高サヲ減少シタル場合
 - 四 路面高ノ變更ニ伴ヒ人孔類ノ整理ヲ必要トスル場合
 - 第六 路上工作物（電柱其他）ニシテ新街路ノ歩車道境界線ヨリ工作物外側迄四尺以上（歩車道區別ナキ街路ニ在リテハ工作物ノ外側迄全幅員ノ五分ノ一以上）中心ニ出タルモノノ整理工事前項ニ該當セサルモ著シク交通ニ支障シ又ハ電線路ヲ著シク不規則ナラシムルカ或ハ他ノ工作物ノ關係上整理ヲ必要トスルニ至リタル場合ノ移設其他ノ整理工事

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

第七 地中電線路ニシテ長區間ニ涉リ側溝若ハ植樹又ハ植樹地帯内ニ入レル爲整理ヲ必要トスルモノノ移設其他ノ整理工事但シ他ノ工作物ノ關係上整理ヲ必要トスル場合ハ區間ヲ制限セサルコト

(同 答)

御來照ノ標記ノ件了承致候條及回答候

バラック移轉ニ伴フ電話機ノ移轉工事補償金算定ノ件 (昭和二年二月十六日復興局各出張所長宛)
(復興局土木部長通牒 復土發第二二五號)

バラック移轉ニ伴フ電話機ニシテ大正十五年五月二十五日復土發第七三〇號ニ依リ其ノ移轉工事ヲ當局ニ於テ施行スルモノノ外ハ是レカ補償金算定方ニ付テハ電話規則ニ依ル移轉料三十圓ヲ交附シ又ハ工事費ヲ交附スル等區々ニ涉リ居候處右ハ大正十四年九月十日復土發第一八三五號通牒土地區劃整理ニ伴フ遞信省電話規則並市內專用電話規則ニ依ル電話機及其ノ附屬物品處理方法第二ノ二但書ニ依リバラック移轉ノ工法別ニ依ル工事費ノ範圍内ニ於テ算定補償可相成義ト御了知相成度依命通牒候也

電話機及同附屬物品ニシテ營業ノ性質上假移轉工事施行ノ場合ニ於ケル費用負擔方ニ關スル件 (昭和二年五月二十六日復興事業局長宛土木部)
(長通牒復土發第八六〇號)

標記ノ件ニ關シ甲號ノ通り東京第一出張所長ヨリ照會有之乙號ノ通り回答致置候ニ付御通知候也

(甲 號) (昭和二年一月二十五日土木部長宛復興局東京)

(第一出張所長復一發第四四號)

土地區劃整理ニ伴フ首題工作物ノ整理ニ關シテハ大正十四年九月十日復土發第一八三五號通牒ニ基キ換地ヘ一回限り移轉セシムルヲ本則トシテ處理致居候處更ニ右取扱ニ關シ客年六月二十九日復土發第九四八號ヲ以テ電話所有者ニシテ或特殊ノ營業ヲ營ムモノニ對シテハ休業補償金ノ交付ニ代ヘ又ハ之ヲ減額シテ特ニ假移轉工事ヲモ當局ノ工事トシテ委託施行スルモ差支無之旨御通牒有之市施行地區ニ對シテモ之ニ依リ處理スル時ハ市ニ對シ無條件ニテ復興事業費ノ一部ヲ交付スルコトニ相成様被存候條之ニ對シ如何處理ス可キヤ何分ノ義折返御回答相煩度右及照會候

(乙 號) (昭和二年五月二十六日第一出張所長宛復興局土)

(本部長 復土發第八六〇號)

本年一月十五日復一發第四四號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ御照會ノ處右假移轉工事ハ大正十五年六月復土發第九四八號通牒ニ依ル或ル特種ノ營

業ヲナスモノニ對シ休業補償金ニ代ヘ又ハ之ヲ減額シテ特ニ施行スルモノナルヲ以テ該工事費ハ建物其ノ他ノ工作物移轉費用負擔區分ニ依ルヘキモノト存候隨ツテ市負擔區域内ニ於ケル前記假移轉工事ノ費用ハ市ニ於テ負擔シ其ノ他ハ國ニ於テ負擔スル義ト御了知相成度

トシテ處理致居候處更ニ右取扱ニ關シ客年六月二十九日復土發第九四八號ヲ以テ電話所有者ニシテ或特殊ノ營業ヲ營ムモノニ對シテハ休業補償金ノ交付ニ代ヘ又ハ之ヲ減額シテ特ニ假移轉工事ヲモ當局ノ工事トシテ委託施行スルモ差支無之旨御通牒有之市施行地區ニ對シテモ之ニ依リ處理スル時ハ市ニ對シ無條件ニテ復興事業費ノ一部ヲ交付スルコトニ相成様被存候條之ニ對シ如何處理ス可キヤ何分ノ義折返御回答相煩度右及照會候

(乙) 號) (昭和二年五月二十六日第一出張所長宛復興局土)

(本部長 復土發第八六〇號)

本年一月十五日復一發第四四號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ御照會ノ處右假移轉工事ハ大正十五年六月復土發第九四八號通牒ニ依ル或ル特種ノ營

業ヲナスモノニ對シ休業補償金ニ代ヘ又ハ之ヲ減額シテ特ニ施行スルモノナルヲ以テ該工事費ハ建物其ノ他ノ工作物移轉費用負擔區分ニ依ルヘキモノト存候隨ツテ市負擔區域内ニ於ケル前記假移轉工事ノ費用ハ市ニ於テ負擔シ其ノ他ハ國ニ於テ負擔スル義ト御了知相成度

◎道路占用關係

道路占用並工事施行ニ關スル協定事項中ノ注意ト心得

(大正十五年二月十日土木局長判決關)
係事業部へ通知道發第二九二四號)

第一章 占用手續ニ關スル件

第一條 道路ノ占用並ニ工事施行ハ如何ナル場合ト雖モ許可又ハ承認ノ監督原議ニ基クモノニアラサレハ之ヲ認容セサルコト但シ突發事故ノ爲工事ノ急施ヲ要スル場合ハ假ニ之ヲ認容シ其ノ旨道路課(管理掛)ニ即報スルコト

第二條 工事著手届ハ監督原議ノ送達ヲ受ケタルモノニ限り之ヲ受理シ一通ハ道路課(管理掛)ニ直送スルコト(協定事項第一章第四條)

第三條 工事ノ竣功立會検査ハ必ス竣功届ヲ以テ之ヲ執行スルコト但シ部分検査ノ必要ヲ認メタルモノハ此ノ限ニ在ラス(協定事項第一章第四條ノ二)

四條ノ二)

第四條 監督原議書ハ工事ノ竣功立會検査後十日以内ニ必ス送還スルコト

第二章 占用位置ニ關スル件

第五條 各種埋設物ノ設計ト實施ニ注意シ平面上ノ位置ノ正確ニ對シテハ特ニ嚴密ナル監督ヲ行フコト(協定事項第二章第八條)

第六條 既設工作物ノ障礙ニ因リ設計位置ニ變更ノ必要ヲ生シタルトキハ左ノ範圍ニ限り出張所長之ヲ措置(圖面訂正)シ範圍ヲ超ユルモノハ道路課(管理掛)ニ其ノ手續ヲ爲サシムルコト(協定事項第二章第八條)

(イ) 既設工作物ヲ迂回スル爲管線ノ延長十間以内ノ平面位置ノ修正

(ロ) 既設工作物ノ上部又ハ下部ヲ通過スル爲土被ノ厚三尺以上ヲ存スル場合ニ限り縦斷位置ノ修正但シ道路ノ交叉點ニ在リテ將來他ノ施設物橫斷通過ニ支障ヲ來ス如キ大管渠ニ對シテハ檀ニ設計土被ヲ減少スルコトヲ得ス

第三章 工事施行上一般ニ關スル件

第七條 工事箇所ニ制札及工事標示板ノ樹立ナキモノハ無斷占用トシテ其ノ工事ヲ中止セシムルコト(協定事項第三章第十四條)

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

第八條 交通危險豫防ノ圍柵、點燈其ノ他ノ安全設備ハ最モ嚴格ニ勵行セシムルコト(協定事項第三章第十五條)

第九條 工事ノ工期ハ出來得ヘキ限り短縮ノ方針ヲ採リ就中路面改良工事ニ關スル工期ハ協定期ヲ勵行セシムルコト(協定事項第三章第九條)

第十條 長距離ニ亘ル工事ハ許可承認ノ條件ニ特別ノ指示ナキ限り規定ノ作業區長ヲ超過セシメサルコト(協定事項第三章第十條)

第十一條 工事材料ノ集積、數量及位置ニ關シテハ協定事項(第三章第二十一條第二十二條)ヲ勵行セシメ若シ作業區外ニ集積ヲ要スルトキハ別ニ占用手續ヲ爲サシムルコト

第四章 掘鑿工事施行方法ニ關スル件

第十二條 道路橫斷スル工事ハ道路ノ兩側ニ於ケル工事並ニ併行セル敷道路ニ關スル工事ハ工事ノ順序ヲ適宜鹽梅シ交通上支障ヲ來ササル様施行セシムルコト(協定事項第四章第二十六條其ノ他)

第十三條 民家殊ニ商店ノ地先工事ニハ必ス出入往來ニ支障ナキ程度ノ箇所ニ棧橋ヲ架設セシムルコト(協定事項第四章第二十七條)

第五章 跡埋工事施行方法ニ關スル件

第十四條 埋戻ニ於ケル木梢ノ使用及逐層搗固ハ最モ周到ナル監督ヲ要シ就中埋戻土砂ニ對シテハ腐蝕スヘキ有機物混入ノ有無ヲ點檢シ違算ナキヲ期スルコト(協定事項第五章第三十三條第三十四條第三十七條)

第十五條 掘坑内ニ位置スル他ノ工作物又ハ比隣ノ地上地下工作物ノ保護ニ關シ當該工事施行者ヨリ他ノ工作物管理者ニ交渉シ其ノ立會ヲ求メタルヤ否ヤニ付必要ナル監督ヲ爲スコト(協定事項第三章第十九條)

第六章 路面補修復舊並ニ同費用負擔ニ關スル件

第十六條 復舊補修ノ費用ハ特別ノ指示アルモノノ外占用ノ許可又ハ承認ノ有無工事ノ大小、種類ヲ問ハス實際道路ヲ掘鑿シタル場合ハ必ス之ヲ徵收スルコト但シ無斷占用者ニ對シテハ掘鑿願ヲ提出セシメ之ニ依リ徵收スルモノトス(協定事項第六章第四十條)

第十七條 通種自費工事ノ事業者(有料無料占用ヲ問ハス)ニ對シ電燈瓦斯等同様復舊後ノ補修費ヲ徵收スヘキニ依リ掘鑿面積ヲ測定シ監督原議ヲ添ヘ提出ノコト(大正十四年八月十二日道發第二三號通牒)

第七章 橋梁添架ニ關スル件

第十八條 橋梁添架工事ニ關シテハ特別ノ指示アル場合ノ外其ノ附屬物ノ區域以外ニ於ケル工事ニ對シテハ所管出張所ニ於テ處理スルコト

第十六條 復舊補修ノ費用ハ特別ノ指示アルモノノ外占用ノ許可又ハ承認ノ有無工事ノ大小、種類ヲ問ハス實際道路ヲ掘鑿シタル場合ハ必ス之ヲ徵收スルコト但シ無斷占用者ニ對シテハ掘鑿願ヲ提出セシメ之ニ依リ徵收スルモノトス（協定事項第六章第四十條）

第十七條 通種自費工事ノ事業者（有料無料占用ヲ問ハス）ニ對シ電燈瓦斯等ト同様復舊後ノ補修費ヲ徵收スヘキニ依リ掘鑿面積ヲ測定シ監督原議ヲ添ヘ提出ノコト（大正十四年八月十二日道發第二三號通牒）

第七章 橋梁添架ニ關スル件

第十八條 橋梁添架工事ニ關シテハ特別ノ指示アル場合ノ外其ノ附屬物ノ區域以外ニ於ケル工事ニ對シテハ所管出張所ニ於テ處理スルコト

（大正十四年十月十四日道發第二〇號通牒）

第八章 無斷占用者又ハ工事施行者ノ義務違反ニ關スル件

第十九條 第三章第四條ニ於ケル場合ト必要ニ應シ最寄警察官吏ニ同行ヲ請ヒ協議スルコト

第九章 工用材料處分ニ關スル件

第二十條 占用ノ許可承認ヲ得タル工用材料ノ置場ニハ占用者名、範圍及期間ヲ標示セシムルコト（協定事項第三章第十一條）

第二十一條 前條ノ標示ナキ物件ニシテ隨意處分ノ必要アルモノハ種類、數量、放置日數其ノ他物件ノ處分ニ必要ナル事項ヲ記シ道路課長ニ報告シ指示ヲ受ケルコト

第十章 發生事故處分方法ニ關スル件

第二十二條 降雨雪ニ際シテハ特ニ左ノ各號ニ關スル注意ヲ以テ工事現場ヲ巡視シ看過シ難キ箇所ヲ發見シタルトキハ速ニ事業者ニ對シ必要ナル措置ヲ要求スルコト

(イ) 工事ノ爲ノ排水ヲ阻碍シ路面ヲ泥濘ナラシメ又ハ道路ノ維持ニ大ナル不利ヲ及ホスモノナキヤ

(ロ) 掘坑内ニ於ケル溜水排除ノ時機ヲ失シ地盤軟化若ハ弛解ノ結果道路ノ維持又ハ比隣工作物ニ被害ヲ波及セシムルモノナキヤ

(ハ) 跡埋工事不完全ノ爲一般交通就中車馬ノ通行ニ危害ヲ及ホス箇所ナキヤ

(ニ) 積雪ノ爲掘坑又ハ路面復舊未完成部其ノ他土砂又ハ材料置場等ノ掩蔽セラレタル箇所ニ對シ圍柵、繩張等安全設備ニ遺漏ナキヤ

第二十三條 道路占用工事ニ起因シ發生シタル事故ニ對シテハ直ニ臨檢ヲ行ヒ先ツ知り得タル實況ヲ電話又ハ口頭ヲ以テ道路課（修繕掛長）ニ即報シ更ニ調査ヲ要スル事故ニ對シテハ可成速ニ同課長ニ調報スルコト

道路占用竝ニ工事施行ニ關スル協定事項

（大正十五年五月四日市長判決關係官署及事業者へ通牒 道發第三九〇號）

本協定事項ハ東京市土木局主催ノ協議會ニ於テ左ノ關係者間ニ協議決定セルモノナリ

警視廳 遞信省通信局 東京遞信局 臨時電信電話建設局 東京市土木局 東京市電氣局 東京市水道局 東京市下水課 東京地下鐵道株式會社 東京電燈株式會社 東京瓦斯株式會社 東京電力株式會社

附 錄 丙 地下埋設物其ノ他工作物整理

目 次

第一章 占用手續ニ關スル件

第二章 占用位置ニ關スル件

第三章 工事施行上一般ニ關スル件

第四章 掘鑿工事施行方法ニ關スル件

第五章 跡埋工事施行方法ニ關スル件

第六章 路面補修復舊並同費用負擔ニ關スル件

第七章 橋梁添架ニ關スル件

道路占用並ニ工事施行ニ關スル協定事項

第一章 占用手續ニ關スル件

第一條 地上地下工作物ノ爲道路占用ニ關スル申請、照會、通知書ニハ工事仕様書平面圖及縱斷圖又ハ構造圖ヲ添付シ該圖書ニハ左記要件ヲ具備スヘキモノトス

一 仕様書ニ記載スヘキ事項

工作物ノ種類 (地下管線路ニ在リテハ其ノ口徑及支線ヲ區分ス)

工作物ノ構造 (單純ナルモノハ之ヲ略スルコトヲ得)

占用位置 (何區何町何番地先又ハ自何區何町何番地至何町何番地) 及其ノ延長 (延長ハ管路線路ニ限ル)

掘鑿幅員

工事著手及竣功豫定期日

二 平面圖 (埋設物ハ縮尺六百分ノ一以上其ノ他ノ工作物ハ適宜トス)

(イ) 地下管線路ハ測溝ノ宅地側若ハ街渠ノ歩道側ヨリ又側溝街渠ナキ箇所ハ附近ノ固定構造物ヨリ管線ノ中心迄ノ枝距ヲ三十間毎ニ記入

シ尙既設工作物ト交叉スル箇所管線路ノ屈曲及接續口徑ノ異ナル箇所等ハ特ニ明細ニシ道路ノ辻角又ハ屈曲部ニ相當スル箇所ハ地名地番ヲ付記ス

占用位置 (何區何町何番地先又ハ
自何區何町何番地至何町何番地) 及其ノ延長 (延長ハ管路
線路ニ限ル)

掘鑿幅員

工事著手及竣功豫定期日

二 平面圖 (埋設物ハ縮尺六百分ノ一以上
其ノ他ノ工作物ハ適宜トス)

(イ) 地下管線路ハ測溝ノ宅地側若ハ街渠ノ歩道側ヨリ又側溝街渠ナキ箇所ハ附近ノ固定構造物ヨリ管線ノ中心迄ノ枝距ヲ三十間毎ニ記入

シ尙既設工作物ト交叉スル箇所管線路ノ屈曲及接續口徑ノ異ナル箇所等ハ特ニ明細ニシ道路ノ辻角又ハ屈曲部ニ相當スル箇所ハ地名地
番ヲ附記ス

(ロ) 地下管線以外ノ工作物ハ前號ニ準シ其ノ位置竝ニ隣接スル既設工作物ノ關係ヲ明示ス

鋪裝道路ノ掘鑿ヲ要スル箇所ハ符號又ハ註記ヲ以テ容易ニ識別シ得ル如クス

(ニ)(ハ) 工作物ノ位置ニシテ規定又ハ協定ノ要求ニ合シ得サルモノハ其ノ理由ヲ圖上ニ註記ス

三 縱斷面圖 (主トシテ埋設物ノ爲ニ要スルモノニシ
テ縮尺ハ横六百分ノ一縱百分ノ一トス)

(イ) 起點ヨリ終點ニ至ル管線路等ノ延長及路面高、計畫高、上脊高ヲ本市ノ水準基標ニ依リ計算シ特ニ土被リ厚ヲ記入シ尙既設工作物ト
交叉スル箇所アルトキハ之ヲ明示ス

(ロ) 埋設物ノ土被リ規定ノ厚ニ達セサル箇所アルトキハ其ノ理由及必要ナル防護處置ヲ註記ス

四 構造圖 (主トシテ地上工作物及埋設物附
屬工作物ノ爲ニ要スルモノトス)

適當ナル縮尺ト圖式ニ依リ其ノ構造ヲ明示シ特ニ占用上所要寸法ヲ記入ス
但シ建柱類等其ノ構造單純且慣用ノモノニ在リテハ本圖ヲ記セス又豫メ構造様式ヲ定メ土木局ノ同意ヲ得タルモノハ仕様書ニ其ノ旨ヲ記
入シ之ヲ省略スルコトヲ得

第二條 前條書類ノ所要部數ハ左ノ如ク定ム

一 占用地域一行政區内 (皇城外廓地ハ一區) ニ在ルモノハ正副二通 (副ハ仕様書及圖面ノミ
ト看做ス以下同シ)

二 占用地域ニ行政區以上ニ跨ルモノハ前項ノ部數ニ其ノ增加區數ニ應スル副書類ヲ增加ス

三 鋪裝道路ノ掘鑿ヲ要スルモノハ第一項第二項ノ部數ニ副書一通ヲ增加ス

第三條 道路下ニ於ケル管線ノ口徑三吋未滿ニシテ道路縱方向ノ延長五間以上ニ亘ラサル各戸引込線ノ新設、改設、撤去ニハ第一條ノ手續
ヲ省略シ工事著手届 (通知) ノ手續ニノミ由ルモノトス該届 (通知) 書ニハ工作物ノ種類、管線ノ口徑、占用位置、延長、掘鑿幅、深及工
事施行期日ヲ記入シ鋪裝道路ニ在リテハ關係位置ノ略圖ヲ添付ス (大正十五年七月二
十七日一部改正)

鋪裝道路ニ在リテハ本條ノ手續以外其ノ掘鑿ニ關シ土木局道路課ノ承認ヲ受クルヲ要ス

第四條 工事ノ著手、竣功及工事中一部ノ設計變更ニ關シテハ左記ノ手續ヲ爲スモノトス

一 工事著手届(通知)ハ豫メ占用手續ヲ了セルモノハ實施三日前途ニ道路課區出張所(皇城外廓地ハ道
路課廻町出張所)宛ニ通ヲ(内一通ハ道路課區出張
所ヨリ道路課ニ回送ス)
提出シ第三條ニ依ル小引込線ノモノハ同様一通ヲ提出ス

但シ鋪裝道路ニ在リテハ所在地ノ如何ニ拘ラス總テ土木局道路課鋪裝掛鍛冶橋臨時詰所ニ於テ届(通知)ヲ受理ス

二 工事竣功セハ市區道路掛員ノ立會檢査ヲ受ケタル後道路課區出張所(鍛冶橋臨時詰所)宛工事竣功届(通知)一通ヲ提出ス

三 工事中既設工作物ノ障碍其ノ他ノ事情ニ依リ當初ノ設計ニ變更ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ都度口頭ヲ以テ市區出張所道路掛員ニ通知
スルト共ニ變更部分ヲ明示セル略圖ヲ添へ土木局ニ豫報ス

四 工事ニ起因シテ他ノ既設工作物(小引込線ヲ除ク)局部ノ小移轉ヲ行ハムトスルトキハ左ノ手續ヲ爲スモノトス

(イ) 要求者關係工作物移轉要求事項(成ル可略圖)ヲ添付ス
ヲ土木局道路課へ(報告)通知ス

(ロ) 被要求者ハ先ツ工事實施期日及移轉概況ヲ土木局(道路課)ニ豫報シ竣功後ハ新舊位置ヲ比較セル簡明ナル出來形圖面ヲ提出ス

第五條 工事ノ出來形ハ當初ノ設計ト異動ヲ生シタルトキハ道路課區出張所宛竣功届(通知)書ニ其ノ旨ヲ記入シ爾後一ヶ月以内ニ第一條ニ
準シ平面圖、縱斷面圖又ハ構造圖ヲ調製シ土木局(道路課)ニ提出スルモノトス

第六條 地下工作物測量ノ爲ニスル試驗掘及故障修理ノ爲ニスル道路ノ小掘鑿ニ關シテハ第三章第四號ニ於ケル小引込線ノモノニ準據シ掘鑿
届(通知)又ハ鋪裝道路掘鑿承認方照會ノ手續ヲ爲スモノトス但シ故障突發ノ場合ニ限り事後手續ニ依ルコトヲ得

第七條 軌道修繕工事ニシテ其ノ作業ノ爲軌道敷外ノ道路ヲ使用スルモノハ第四條ニ依リ工事著手及竣功通知(着手通知書ハ)
モノトス二日以内ニ竣功スヘキ工事ハ之ヲ要セス
二通ヲ要ス)ノ手續ヲ爲ス

第二章 占用位置ニ關スル件

第八條 道路工作物ノ位置選定ニ關シテハ大正九年七月内務省訓令第十一號道路占用ノ許可又ハ承認ニ關スル件、同年四月遞信省
所管工作物ニ關スル協議及大正八年遞信省令電氣工作物規程ニ依ルノ外左ノ事項ヲ協定ス

一 新設又ハ改築道路下ニ於ケル管線路ノ位置ハ大正十四年五月復興局調製ノ「地下埋設物配置標準圖例」ニ依リ既設道路ニ於ケル工作物

ノ占用幅員ハ同標準圖例ヲ准用ス

二 歩道下ニ於ケル各種支線ノ土破リ厚ハ最小限二尺迄之ヲ減少スルヲ得但シ歩車道境界ノ設備ナキ道路ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 軌道修繕工事ニシテ其ノ作業ノ爲軌道敷外ノ道路ヲ使用スルモノハ第四條ニ依リ工事著手及竣功通知(着手通知書)ノ手續ヲ爲スモノトス二日以内ニ竣功スヘキ工事ハ之ヲ要セス

第二章 占用位置ニ關スル件

第八條 道路工作物ノ位置選定ニ關シテハ大正九年七月內務省訓令第十一號道路占用ノ許可又ハ承認ニ關スル件、同年四月遞土第一號遞信省所管工作物ニ關スル協議及大正八年遞信省令電氣工作物規程ニ依ルノ外左ノ事項ヲ協定ス

一 新設又ハ改築道路下ニ於ケル管線路ノ位置ハ大正十四年五月復興局調製ノ「地下埋設物配置標準圖例」ニ依リ既設道路ニ於ケル工作物

ノ占用幅員ハ同標準圖例ヲ準用ス

- 二 歩道下ニ於ケル各種支線ノ土被リ厚ハ最小限二尺迄之ヲ減少スルヲ得但シ歩車道境界ノ設備ナキ道路ハ此ノ限ニ在ラス
- 三 建柱類ハ路端ノ縁石又ハ歩道ノ車道側縁石ニ接著シテ建設スルモノトス但シ路端ニ縁石ナキ場合ハ其ノ路端ヨリ柱ノ中心迄ノ距離ヲ一尺以内トス

第三章 工事施行上一般ニ關スル件

第九條 道路ニ關スル工事ハ其ノ大小ヲ問ハス交通上ノ障礙ヲ小極度ニ制限セサルヘカラス之カ爲必要ナル計畫、施設ヲ行フハ勿論特ニ現場監督ノ勵行ヲ期スルモノトス

第十條 長距離ニ亘ル工事ノ一作業區ノ延長(掘坑長土砂材料器具機械置場及跡埋後路面復舊未完成部ヲ含ミタル全延長ヲ謂フ)ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス(本條以下第十三條迄大正十四年十月十六日改正追加)

埋設管路工事ハ百五十間

埋設電線工事(ダクト式ヲ除ク)ハ四百間

車道工事ハ二百間

(ハ)(ロ)(イ) 數作業區間ニ於テ同時ニ工事ヲ行フ時ハ其ノ作業區間ニ充分ノ間隔ヲ存シ其ノ間隔三十間以内ナルトキハ隣接作業區ヲ合シ一作業區ノ延長ヲ超ユルヘカラス

第十一條 埋設物工事ノ掘坑長ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス

管路工事ハ五十間

(ロ)(イ) 管路修繕及水道、瓦斯支管ノ切替工事ハ百五十間但シ點々掘鑿ヲ爲ス場合ニ在リテハ作業區ノ兩端ニ於ケル掘坑間ノ長サヲ掘坑長ト看做ス

(ハ) 電線路工事(ダクト式ヲ除ク)ハ二百間

第十二條 埋設物工事ノ掘坑長及軌道工事ノ作業區ハ力メテ之カ短縮ヲ圖リ必要ナル箇所ニハ横斷交通路ヲ設クヘシ
作業區ニ於ケル土砂材料等ノ集積及整理ニ關シテハ道路課出張所ト打合セノ上之ヲ決スヘシ但シ作業區外ニ集積ヲ要シ又ハ工事著手豫定作

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

業區外ニ集積ヲ要シ又ハ工事着手豫定作業區ニ集積ヲ要スルトキハ其ノ占用手續ヲ履行スヘシ

第十三條 本章ノ作業區又ハ掘坑長ニ依リ難キ特殊工事ニ對シテハ著手前道路課管理掛ノ承認ヲ受クヘシ

第十四條 工事箇所(延長工事ノ其ノ兩端)ニハ通行ニ關スル制札ノ外所定ノ工事標示板(大正十五年十二月様式協定)ヲ樹立スルモノトス

第十五條 工事ノ爲交通者ニ危険ヲ及ホス虞アル箇所ニハ圍柵其ノ他ノ安全設備ヲ施シ且夜間ハ注意燈ヲ點スルモノトス

第十六條 工事中土砂又ハ材料ノ類ヲ以テ水道消火栓附近ヲ閉塞シ又ハ下水ノ疎通路面ノ排水ヲ妨害スヘカラス

第十七條 交通頻繁ナル道路ニ在リテハ晝夜兼行其ノ他作業力ノ増加ニ依リ成ルヘク短期間工事ノ竣功ヲ努メ已ムヲ得サル場合ハ夜間交通減

少シタル時ニ於テノミ作業ヲ施行スルモノトス

第十八條 道路ノ鋪裝、改築、電車軌道敷設等大ナル道路工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工作物ノ移設工事ハ成ルヘク繰合セ其ノ要求ニ應シ施行スルモノトス

行スルモノトス

第十九條 埋設物工事ニ於テ其ノ位置他ノ工作物ニ接近又ハ交叉スルトキハ前日迄ニ關係工作物管理者ニ通知シテ其ノ立會ヲ求ムルモノトス

第二十條 道路ノ同一區域ニ於テ同時若クハ相前後シテ行フヲ要スル埋設物工事ノ施行方法ニ關シテハ「地下埋設物協同工事ニ關スル協定」

ニ依ルモノトス

第二十一條 工事材料ハ所定作業區ノ作業ニ所屬スルモノニ限り小工事ニ在リテハ三日以内大工事ニ在リテハ七日以内ニ使用スヘキ數量ヲ超過シテ集積スルコトヲ得ス若シ其ノ限度ヲ超ヘ集積ヲ要スルトキハ豫メ道路管理者ノ承認ヲ受クヘシ「本條以下第二十四條迄大正十四年十

二月八日改正及追加」

集積シタル材料ノ散亂ヲ防ク爲適當ナル可搬式根圍ヲ設クヘシ

第二十二條 前項ノ集積位置ハ左ノ各號ニ準據シ選定スルモノトス

一 歩道ヲ有スル道路ニ在リテハ當該側歩道ノ車道側ニテ歩道幅ノ三分ノ一以内ト之ニ接スル車道ノ歩道側ニテ街渠上幅四尺以内但シ街渠

上ニハ完全ナル渡板ヲ架設シ尙所々ニ街渠掃除口ヲ存置スルコトヲ要ス

工事ノ必要ニヨリ前號ニ準シ對側歩道ノ車道側及之ニ接スル車道ノ歩道側ニ材料ヲ集積セムトスルトキハ豫メ道路管理者ノ承認ヲ受クヘシ

二 歩車道ノ區分ナキ幅員六間以上ノ道路ニ在リテハ片側ノ路端ヨリ四尺以内若ハ掘坑ノ側方堆土ノ限界線内

ニ

上ニハ完全ナル渡板ヲ架設シ尙所々ニ街渠掃除口ヲ存置スルコトヲ要ス
工事ノ必要ニヨリ前號ニ準シ對側歩道ノ車道側及之ニ接スル車道ノ歩道側ニ材料ヲ集積セムトスルトキハ豫メ道路管理者ノ承認ヲ受クヘ
シ
二 歩車道ノ區分ナキ幅員六間以上ノ道路ニ在リテハ片側ノ路端ヨリ四尺以内若ハ掘坑ノ側方堆土ノ限界線内

三 幅員六間未滿幅員三間以上ノ道路ニ在リテハ掘坑ノ關係上消防自動車ノ通行ヲ妨ケサル個所
四 幅員三間未滿ノ道路ニ在リテハ掘坑又ハ掘上土ナキ箇所

第二十三條 工所用材料ハ交通及排水關係以外ニ於テ街路ノ美觀ヲ害セサル様常ニ其ノ整頓ニ注意シ一小部品ト雖モ亂雜ニ放置スルコトヲ得
ス

第二十四條 特ニ占用ノ許可承認ヲ得タル工所用材料ノ置場ニハ占用期間及占用者名ヲ標示スヘシ占用者名ノ標準ナキモノハ道路管理者ニ於
テ隨意處分スルコトアルモ異議ヲ申立ルコトヲ得ス但シ此ノ場合ニ於ケル費用ハ事業者ノ負擔トス

第四章 掘鑿工事施行方法ニ關スル件

第二十五條 幅員大ナル掘坑ノ掘上土妙ハ掘坑區域外ニ持出シ掘坑ノ側方ニ堆積スヘカラス幅員小ナル掘坑ニ在リテハ交通關係之ヲ許ストキ
ハ兩側若ハ片側ニ於テ掘坑肩ヨリ通計六尺ヲ限度トシ側方堆土ヲ行フコトヲ得(本條大正十四年十二月八日改正及追加)

二日以上ニ亘リ掘上土ヲ堆積スルトキハ其ノ散亂ヲ防ク爲適當ナ可搬式根圍ヲ設クヘシ

第二十六條 道路ヲ横斷シテ掘鑿スルトキ片側ノ工事ヲ完成シタル後他側ノ掘鑿ニ移ルヲ要ス若シ二部ニ分チ難キ場合ハ交通上支障ナキ完全
ナル設備ヲ爲スカ又ハ夜間交通杜絶シタル際其ノ工事ヲ施行スルモノトス

第二十七條 人家ノ軒先ニ接近シテ延長掘鑿ヲ行フトキハ完全ナル棧橋ヲ架設シ一般交通及居住者ノ出入ニ支障ナカラシムルモノトス

第二十八條 工事中湧水或ハ溜水アルトキハ假樋ヲ設ケ附近ノ溝渠ニ流下セシメ路面ニ溢水セシムヘカラス

第二十九條 鋪裝セル道路ノ掘鑿ハ先ツ路面ノ砂利ヲ取去リ次ニ衣土三寸以上ヲ採掘シ割栗道、大玉石道ニ在リテハ其ノ石材ヲ取纏メ何レモ
下層土ト混合セサル様區分シ交通上支障ナキ位置ニ積置クモノトス

第三十條 鋪裝道路ノ掘鑿ハ故障突發ノ場合ノ外土木局道路課臨時鍛冶橋詰所員ノ立會ヲ求メ打合セ後ニ非サレハ工事ニ著手スルヲ得ス

第三十一條 鋪裝道路ノ掘鑿ハ裝種ニ依リ其ノ方法ヲ異ニスルモ常ニ左記各項ヲ遵守スヘキモノトス

一 鋪裝路面ハ歩道車道ノ別ナク叮嚀ニ取毀テ殊ニ鋪木鋪石混凝土板等ヲ損傷セサル如ク注意シ其ノ發生材料ハ指定ノ場所ニ運搬整頓ス

二 掘鑿方法ハ溝掘トシ(建柱類ノ爲ニハ壺掘トス)全體ヲ切開キ決シテ鋪裝面又ハ其ノ基礎ヲ殘存シ側掘又ハ隧道掘ヲナスヘカラス

三 鋪裝面及基礎混凝土ノ取毀テハ作業ニ支障ナキ最小限度ノ幅員ニ一方ヨリ混凝土破碎機又ハ鑿類ヲ以テ小部分宛取毀テ若シ周圍ニ損傷
ヲ生シタルトキハ其ノ部分ハ全部取毀テヲ要ス

四 坑深、地質等ニ應シ適當ナル土留工ヲ施シ殊ニ作業間排水ニ注意シ周圍基礎下ノ弛ミヲ豫防スルヲ要ス

第三十二條 道路ノ掘鑿ニ由リ生スル残土ハ左ノ各號ニ依リ處分スルモノトス(本條大正十四年十二月八日改正)

- 一 埋戻シニ必要以外ノ掘上土ハ掘鑿作業ノ當初ニ於テ先ツ之ヲ他ニ搬出シ作業區域内ニ集積スヘカラス
- 二 残土ハ道路管理者ノ指定場所ニ搬出シ其ノ指定ナキ場合ハ事業者ニ於テ自由處分ヲ行フモノトス

第五章 跡埋工事施行方法ニ關スル件

第三十三條 鋪裝セサル道路ニ在リテハ掘坑内ニ溜水アルトキハ之ヲ排除シ下層土ヨリ順次埋戻ヲ爲シ各層厚約五寸毎ニ木蛸ヲ以テ確實ニ逐層搗固ヲ爲シ最後ニ衣土厚三寸ヲ覆ヒ掘坑幅ノ如何ニ依リ搗固又ハ輾壓ヲ行ヒタル後砂利厚二寸ヲ敷均シ更ニ搗固又ハ輾壓ヲ加ヘ在來路面ト高低ナカラシメ工事直後ニ於テ雨雪ニ會スルモ歩行車行及路面ノ排水ニ支障ナキ様強固且平滑ナル路面ヲ完成スルモノトス但シ割栗石大玉石等ノ基層ヲ有スル道路ニ在リテハ其ノ施行ニ關シ道路課出張所係員ノ指揮ヲ受クルモノトス(本條以下第三十五條迄大正十四年十二月八日改正及追加)

第三十四條 埋戻ノ爲ニスル逐層搗固作業ハ左ノ要領ニ從ヒ最モ確實ニ施行スルモノトス

- (イ) 木蛸ハ同時埋戻一面坪ニ對シ一個ノ比率ヲ以テ必要數ヲ準備シ其ノ全蛸數ニ應シ搗固專業ノ作業手ヲ配置シ之ニ責任アル指揮者ヲ附ス
- (ロ) 搗固前ニハ確實ニ地均シヲ爲シ各層共入念ニ搗固ヲ行フモノトス其ノ程度ハ兩手掛ニテ中徑約二分ノ一寸鐵棒ノ類ヲ以テ穿通セシムルトキ深サ五寸以上ニ達セサルコトヲ要ス

第三十五條 泥質地其ノ他湧水甚シキ箇所ノ跡埋ニ於テ下層部ノ搗固困難ナルトキハ上層少クモ三尺ハ濕潤ナラサル良土ヲ用ヒ逐層搗固ヲ確實ニ行フカ又ハ割栗大玉石等ノ基層ヲ設クル等路面沈下ノ防止ニ關シ充分注意スルコトヲ要ス

第三十六條 跡埋ノ際ハ附近路面ノ残土搔取リヲ完全ニシ泥濘ノ禍根ヲ殘ササルヲ要ス尙若シ泥濘ヲ來スカ如キ箇所ニ對シテハ適宜砂利敷ヲ爲スモノトス

第三十七條 埋戻シ土砂中ニハ木片、塵芥其ノ他腐蝕スヘキ有機物ヲ混入スヘカラス土留工材ハ埋戻ノ際之ヲ撤去スルモノトス若シ土壤ノ弛ミ又ハ崩潰ノ虞アル部分ハ埋殺シトス但シ此ノ場合ハ路面下四尺以上ノ深サニ於テ切斷スヘシ(大正十五年七月二十七日一部改正)

第三十八條 鋪裝道路ノ跡埋工事ハ第三十三條ト同一ノ方法ニ依リ比隣鋪裝下ノ地盤ニ弛ミヲ生セシメサル様厚サ三寸毎ニ逐層搗固ヲ特ニ入念ニ施行シ路面下三寸ニ達セシメ其ノ上層ニ八分目以下ノ篩砂利厚三寸ヲ敷均シ砂目潰シヲ路面形ニ倣ヒ搗固メ一時交通ニ支障ナカラシム

第三十七條 埋戻シ土砂中ニハ木片、塵芥其ノ他腐蝕スヘキ有機物ヲ混入スヘカラス土留工材ハ埋戻ノ際之ヲ撤去スルモノトス若シ土壤ノ弛ミ又ハ崩潰ノ虞アル部分ハ埋殺シトス但シ此ノ場合ハ路面下四尺以上ノ深サニ於テ切斷スヘシ(大正十五年七月二十七日一部改正)

第三十八條 鋪裝道路ノ跡埋工事ハ第三十三條ト同一ノ方法ニ依リ比隣鋪裝下ノ地盤ニ弛ミヲ生セシメサル様厚サ三寸毎ニ逐層搗固ヲ特ニ入念ニ施行シ路面下三寸ニ達セシメ其ノ上層ニ八分目以下ノ篩砂利厚三寸ヲ敷均シ砂目潰シヲ路面形ニ倣ヒ搗固メ一時交通ニ支障ナカラシム

ルモノトス(大正十五年七月二十七日一部改正)

第三十九條 木柱類ノ撤去ハ篩裝セサル道路及鋪裝歩道ニ在リテハ柱材全部ノ撤去ヲ要スルモ鋪裝車道ニ在リテハ掘鑿部分ヲ局限スル爲柱材ノ腐蝕シアラサルモノニ限り特ニ左ノ處分ヲ行フコトヲ得

- 一 基礎混凝土ヲ有スルモノニ在リテハ鋪裝基礎上面下一寸以上ノ深サニ於テ切斷ス
- 二 基礎混凝土ヲ有セサルモノニアリテハ鋪裝基礎下面ヨリ下部ニ於テ切斷ス

第六章 路面、補修、復舊並ニ同費用負擔ニ關スル件

第四十條 跡埋工事實施後ニ於ケル路面ノ補修及鋪裝ノ復舊ハ左記區分ニ依リ工作物起業者ヨリ其ノ費用ヲ提供シ道路管理者ニ於テ施行スルモノトス

- 一 鋪裝セサル道路ニ在リテハ掘鑿面積(土木局及道路課區出張所ノ査定ニ依ル)ニ對シ厚サ四寸ノ砂利敷ニ要スル材料並作業費
- 二 鋪裝道路ニ在リテハ鋪裝復舊工費(工費ニハ測量設計工事費監督費ヲ含ミ總テ土木局ノ査定ニ依ル)

第四十一條 鋪裝セサル道路ノ補修ハ道路課區出張所(彈正橋出張所)ノ分擔ニ屬シ其ノ施行方法ハ跡埋工事竣功後相當時日ヲ要シ每層厚一寸乃至二寸ノ砂利敷ヲ二回又ハ三回ニ行ヒ六十日以内ニ完了スルモノトス

第四十二條 鋪裝ノ復舊工事ハ土木局道路課主管ニ屬シ其ノ方法ハ裝種ニ應スル路面鋪裝仕様書ニ準シ直營又ハ請負工事ニ依リ實施スルモノトス

第四十三條 工事施行中又ハ施行後ニ於テ事業者ハ本協定ニ依ル義務履行不十分ナルトキハ道路管理者ハ事業者ニ對シ一應催告ヲ發シ事業者尙其ノ履行ヲ怠ルトキハ道路管理者ニ於テ必要ノ處置ヲ爲シ其ノ實費ヲ事業者ヨリ徴收スルモノトス(本條大正十四年十二月八日追加)

第七章 橋梁添架ニ關スル件

第四十四條 橋梁添架ニ關スル書類ハ第一章第一條ニ依ルノ外添架物ヲ支持スル構造物ノ強度ニ關スル計算書並ニ添架裝置ヲ明示セル構造圖ヲ添付スルモノトス但シ土木局(橋梁課)ニ於テ必要ナシト認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 添架ノ位置並工作物ノ耐力算定ニ關シテハ大正九年七月內務省訓令第十一號第九條ノ第二、第七、第八、第九號ニ依ルモノトス

第四十六條 橋梁添架ノ施行ニ關シテハ設計前豫メ土木局橋梁課ニ打合セヲ爲スモノトス

第四十七條 添架物ニハ工作物管理者名ヲ見易キ箇所ニ記入スルモノトス

第四十八條 橋梁ノ改築、修繕等ノ爲添架工作物ノ移轉若ハ撤去ヲ必要トスルトキハ之ニ關スル費用ハ添架工作物管理者ニ於テ負擔スルモノトス

路上工作物配置標準ニ關スル件

(大正十五年六月八日復興局土木部長通牒
同年八月六日出張所長へ通知區乙第四九二號)

豫テ御協議相逐ケ候標記ノ件別紙ノ通り決定ノ上貴市長へ通知濟ニ付了知相成度爲念及通知候也

(圖面省略)

路上工作物配置標準

第一條 東京都市計畫事業施行地域内ニ於テ新設又ハ移設ヲ要スル路上工作物ノ占用位置ハ本標準ニ據ルモノトス

第二條 路上工作物ヲ左ノ二種ニ分ツ

第一種工作物 巡查派出所、巡查見張詰所、材料置場、撒水井戸、撒水用ポンプ、共同便所、機具納庫(消防又ハ消毒用)

第二種工作物 電柱、變壓塔、開閉塔、配電函、自動電話、ポスト、街燈柱、轉轍手柄、消火栓柱

第三條 第一種工作物ハ廣場橋臺地又ハ河岸地等道路有效幅員外ニ設置スルモノトス但シ巡查見張詰所ハ歩道内車道側ニ設置スルコトヲ得

第四條 第二種工作物中直徑(角柱ノトキハ最大邊ノ長サ)〇・八米以内ノモノニアリテハ歩道内車道側一米以内(歩車道境界アルトキ)又ハ

路端一米以内(歩車道境界ナキ)ニ設置スルモノトス

第五條 前條ノ形狀ヨリ大ナル第二種工作物ハ第三條ニ準シ設置スルモノトス但シ自動電話ニ限り前條ニ準シ設置セシムルモノトス

第六條 道路ノ曲角ニ於テハ一般ニ路上工作物ノ設置ヲ避クヘシ但シ移動式巡查見張詰所ニ限り隅切アル道路ノ曲角歩車道境界線A—B間ニ

設置スルコトヲ得

(圖 略)

第七條 第二條ニ記載セサル工作物ニシテ路上占用ノ必用ヲ認ムヘキモノアルトキハ箇所毎ニ適宜之ヲ決定スルモノトス

土地區劃整理地區内ニ於ケル道路ノ供用竝占用事務取扱手續

(大正十五年七月十六日區發第一九〇八號市長判決
昭和三年三月十三日市復發第三八四號市長判決改正)

(大正十五年七月十六日區發第一九〇八號市長判決
昭和三年三月十三日市復發第三八四號市長判決改正)

第一條 市長ニ於テ執行スル土地區劃整理地區内ノ道路ノ供用竝占用ニ關スル事務ハ本手續ニ依リ處理スヘシ

第二條 市道ノ路線ノ認定變更及廢止ハ左記各號ニ依リ處理スヘシ

- 一 復興事業局ハ土地區劃整理ノ換地位置決定シタルトキハ其ノ圖面ヲ土木局ニ送付スヘシ
- 二 復興事業局ハ建物其ノ他ノ工作物所有者ニ對シ其ノ移轉ヲ命シ又ハ其ノ移轉契約ヲ締結シタルトキハ各移轉群毎ニ取纏メ其ノ旨土木局ニ通知スヘシ

三 復興事業局ハ前號移轉群ノ工事著手期日確定シタルトキハ其ノ旨土木局ニ通知スヘシ

四 土木局ハ第一號ノ圖面ノ送付ヲ受ケタルトキハ復興事業局ニ合議シ市道ノ路線ノ認定又ハ變更ノ手續ヲ爲スヘシ

五 土木局ハ第一號乃至第三號ノ圖面ノ送付及移轉ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ實狀ニ應ジ路線廢止ノ手續ヲ爲スヘシ

六 復興事業局ハ土地區劃整理ノ確定測量ヲ終リタルトキハ其ノ圖面ヲ土木局ニ送付シ土木局ハ之ニ依リ道路ノ區域決定ノ手續ヲ爲スヘシ

七 土木局ハ補助線街路竝ニ區劃整理街路ノ工事ノ進捗ニ應ジ適當ナル區域毎ニ供用開始ノ手續ヲ爲スヘシ但シ其ノ期日ノ決定ニ付テハ復興事業局ニ合議スヘシ

在來認定道路ノ供用廢止ハ第五號ノ規定ニ依リ路線廢止ノ手續ト同時ニ之ヲ爲スヘシ

第三條 復興事業局ハ左記各號ニ依リ道路(新設及改築道路數ヲ含ム)占用ニ關スル事務ヲ處理スヘシ

一 復興事業局ハ占用事務ヲ處理スヘキ土地區劃整理地區竝ニ其ノ始期及終期ヲ定メ之ヲ土木局及關係事業者ニ通知スヘシ

二 前號關係事業者ト稱スルハ整理地區内ニ於テ占用工作物ノ新設撤去又ハ移設等ヲ爲ス遞信省、警視廳、東京市電氣局、同水道局、同土木局下水課、東京電燈株式會社、東京瓦斯株式會社及東京電力株式會社ヲ謂フ

三 事業者ニハ豫メ整理地區毎ニ第一様式ノ願書又ハ第二様式ノ照會書ヲ提出セシメ道路占用竝ニ工事施行ノ許可又ハ承認ヲ受ケシムヘシ
事業者ヨリ提出スル願書又ハ照會書ハ復興事業局所管出張所ヲ經由セシムヘシ

四 道路占用竝ニ工事施行ノ願又ハ照會ニ對シテハ第三様式ノ許可書又ハ第四様式ノ承認書ヲ復興事業局所管出張所ヲ經由シテ送達スヘシ

五 事業者ニ送達スル許可書又ハ承認書ニハ占用地域圖ヲ添付スヘシ

許可又ハ承認シタル占用地域内ニ復興局ノ地域又ハ土木局ノ指定道路若ハ橋梁在ルトキハ之ヲ除キ處理スルモノトス但シ地下埋設物ノ整

理上接續又ハ横過ノ爲必要ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 事業者ニ送達スル許可書又ハ承認書ヲ發送シタルトキハ直ニ關係書類ヲ所管出張所ニ送付シ同時ニ許可又ハ承認ニ關スル地域圖ヲ添ヘ其ノ旨關係官公署ニ通知スヘシ

七 出張所ニ於テ前號關係書類ノ送付ヲ受ケタルトキハ事業者ニ對シ第五號様式ノ願書又ハ第六號様式ノ照會書ニ占用圖ヲ添ヘ占用位置ノ承認ヲ受ケシメ尙工事施行上ノ指示ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ一地區ヲ集計一括シテ其ノ手續ヲ爲サシムル事ヲ得

幹線街路及運河敷ニ關シテハ第七號又ハ第八號様式ノ書類ニ各關係部分ノ圖面ヲ添ヘ復興局所管出張所ニ提出セシムヘシ

占用圖ハ占用工作物ノ種類構造ノ大小員數ト共ニ枝互(新路端ヨリ)土被ヲ縮尺六百分ノ一平面圖ニ記入セシメ工事ノ種別ヲ色別スルトキハ新設、撤去、埋殺スル工作物ヲ朱書、墨書、黃書ニテ表示シ在來ノ儘ニテ記入ヲ要スルモノハ白書(白紙ニハ青書ニテ)記入セシムヘシ

八 出張所ニ於テ占用位置ヲ承認スルニ當リ其ノ位置カ他ノ工作物ニ重大ノ關係ヲ有シ若ハ異例ニ屬スルモノナルトキハ本局ニ申出テ其ノ指揮ヲ受クヘシ

鋪裝道路ノ掘鑿及橋臺地道路廣場ニ於ケル第一種、第二種路上工作物ノ設置ニ關シテハ土木局ニ協議シ處理スヘシ

九 占用位置ノ承認ハ道路法其ノ他諸規定及街路内工作物配置標準並ニ復興局出張所ノ意見ヲ參酌シ第九號又ハ第十號様式ノ承認書ヲ交付スヘシ

一地區ヲ集計一括シテ其ノ手續ヲ爲シタルモノニ在リテモ分割シテ承認ヲ爲スコトヲ得

十 事業者工事ヲ著手セムトスルトキハ工事著手三日前ニ著手届ニ通ヲ所管出張所ニ提出セシメ且ツ工事著手ノトキハ工事掛員ノ立會ヲ受ケシムヘシ著手届一通ハ復興事業局出張所ヨリ土木局道路課出張所ニ送付スヘシ

十一 工事ノ施行ニ當リ復興局ノ工事地域又ハ橋梁ニ關係スル事項アルトキハ復興事業局出張所ニ於テ復興局又ハ土木局ノ關係出張所ニ協議シ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ

十二 工事竣功セルトキハ其ノ都度第十一號様式ノ竣功届ニ出來形圖ヲ添ヘ竣功検査ヲ受ケシムヘシ但シ承認位置ト同一ノ出來形ナルトキハ其ノ旨ヲ附記シ圖面ヲ省略スルコトヲ得

假工事ニ在リテハ新設及撤去工事別ニ右ノ取扱ヲ爲スヘシ

埋殺ニ付テハ其ノ使用ヲ廢シタルトキヲ以テ竣功ト看做ス

十二 工事竣功セルトキ、其ノ者度第十一號様式ノ竣功届ニ出來形圖ヲ添ヘ竣功検査ヲ受ケシムヘシ但シ承認位置ト同一ノ出來形ナルトキハ其ノ旨ヲ附記シ圖面ヲ省略スルコトヲ得

假工事ニ在リテハ新設及撤去工事別ニ右ノ取扱ヲ爲スヘシ
埋殺ニ付テハ其ノ使用ヲ廢シタルトキヲ以テ竣功ト看做ス

十三 出張所ニ於テ跡埋工事ノ竣功検査ヲ了リタルトキハ路線毎ニ其ノ占用位置ヲ明示セル平面圖、横斷面圖並調書ヲ第六號ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル書類ト共ニ本局ニ之ヲ送付スヘシ但シ事宜ニ依リ地區名ヲ明ニシテ分割送付ヲ爲スコトヲ得

第四條 前條第二號ノ事業者以外ノ者ノ道路占用ハ土木局ニ於テ復興事業局ニ協議ノ上處理スヘシ

第五條 道路占用工事施行箇所ニ對スル道路補修工事費ハ左記各號ニ依リ處理スヘシ

一 道路補修工事費中區劃整理ノ施行ニ因ルモノハ復興事業局ノ負擔トシ區劃整理ノ施行ニ因ラサルモノハ道路占用者ノ負擔トス

二 區劃整理ノ施行ニ因ルモノノ工事箇所ニ對スル道路補修工事ハ復興事業局ヨリ土木局ニ委囑シテ之ヲ施行スヘシ

委囑ヲ要スヘキ補修所要箇所ハ復興事業局出張所ヲシテ第十二號様式ノ報告書ヲ復興事業局ニ提出セシメ同局ハ第十三號様式ノ委囑書ヲ

土木局ニ送付スヘシ

三 前號ノ補修工事費ハ別ニ定ムル單價ニ依リ土木局ニ於テ之ヲ精算シ復興事業局所管ノ豫算ヨリ振替支出スヘシ

土木局ヨリ復興事業局ニ送付スル補修工事費ノ振替通知書ニハ竣功調書ヲ添付スヘシ

四 區劃整理ノ施行ニ因ラサルモノノ工事箇所ハ掘鑿工事著手ト同時ニ補修ヲ要スヘキ箇所ヲ復興事業局出張所ヨリ土木局道路課區出張所ニ通知スヘシ

通知ヲ爲シタル工事箇所ノ跡埋工事完了シタルトキハ復興事業局出張所ハ速ニ第十四號様式ニ依リ土木局道路課區出張所ニ通知スヘシ

五 道路下ニ於ケル管線ノ口径三吋未滿ニシテ道路縱方向五間以上ニ亘ラサル各戸引込管線工事ノ補修ニ關スルモノハ第二號及第四號ニ依ラス竣功届ニ左ノ區分ヲ記載ノ上復興事業局出張所ヨリ區劃整理ノ施行ニ因ルモノニアリテハ復興事業局ニ區劃整理ノ施行ニ因ラサルモノニアリテハ之ヲ土木局道路課區出張所ニ廻送スヘシ

「區劃整理ノ施行ニ因ルモノ」

「區劃整理ノ施行ニ因ラサルモノ」

六 補修工事費算出上ノ單價ニ付テハ毎年度ノ初ニ於テ當該年度ニ適用スヘキモノヲ土木局ヨリ復興事業局ニ協議シ之ヲ定ムヘシ

第六條 復興事業局ハ整理地區内ニ於テ處理シタル工作物ニ付各線毎ニ其ノ占用位置ヲ明示セル平面圖、横斷面圖並調書ヲ作成シ成ルヘク第

二條第七號ノ規定ニ依リ道路ノ供用ヲ開始スル以前ニ之ヲ土木局ニ送付スヘシ

第七條 復興事業局出張所ハ道路占用事務ヲ處理スル爲道路専用臺帳ヲ作成スヘシ

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

(第十五號乃至第十九號樣式)

第一號樣式

道路占用並工事施行願

東京市長施行ニ係ル土地區劃整理第何地區内ニ於テ道路ノ占用並ニ工事施行致度候間御許可相成度候也

年 月 日

東京市何區何町何番地

何々會社

社長 何々 印

東京市長宛

第二號樣式

年 月 日

何官公署代表者名

東京市長宛

道路占用並工事施行ノ件照會

東京市長施行ニ係ル土地區劃整理第何地區内ニ於テ道路ノ占用並ニ工事施行致度候條御承認相成度候也

第三號樣式(許可ニ付スル條項ハ場合ニ依リ取捨スルコトアルモノトス)

何々第何號

東京市何區何町何番地

何々會社

昭和何年何月何日第何號願第何地區道路占用並工事施行ノ件許可候也

但シ左記事項ヲ遵守又ハ了知セラルヘシ

年 月 日

昭和何年何月何日第何號願第何地區道路占用並工事施行ノ件許可候也
但シ左記事項ヲ遵守又ハ了知セラルヘシ

何々會社

年 月 日

市 長 名

記

第一條 工事ハ大正何年何月何日附何號指令ニ付シタル許可條項及大正十二年道發第三九〇號通牒道路占用並工事施行ニ關スル協定事項及復興事業局員ノ指示ニ從フコト

第二條 工事施行ノ區域ハ許可書添付圖面黃色内トス圖中赤色ハ復興局關係ノ工事地域トス

第三條 工事施行セムトスルトキハ占用圖ヲ添へ復興事業局第何出張所長ノ占用位置ノ承認ヲ受クルコト占用圖ハ工作物ノ種類構造ノ大小員數ト共ニ枝巨(新路端ヨリ)土被ヲ縮尺六百分之一平面圖ニ記入ノコト又工事ノ種別ヲ色別スルトキハ新設、撤去、埋殺スル工作物ヲ朱書、黑書、黃書ニテ表ハシ在來ノ儘ニテ記入ヲ要スモノハ白書(白紙ニハ青書)ニテ記入ノコト

第四條 工事施行區域内ニ於ケル幹線街路及運河敷ニ對シテハ復興事業局第何出張所へ占用位置承認ノ手續ヲ爲シタル旨ノ書面ニ圖表ヲ添へ復興局所管出張所へ届出ヲ爲スコト
但シ橋梁ニ對シテハ別ニ占用ノ手續ヲ爲スコト

第五條 工事ニ著手セムトスルトキハ三日前ニ復興事業局第何出張所へ着手届ニ通ヲ提出シ且工事著手ノトキハ同出張所員ノ立會ヲ受クルコト

第六條 工事竣功シタルトキハ速ニ竣功届ニ出來形圖ヲ添へ檢査ヲ受クルコト但シ占用位置承認當初ノ設計ニ異動ナキモノハ圖面ヲ省略スルコト

第七條 道路ノ掘鑿工事ヨリ發生スル殘土ハ復興事業局第何出張所長ノ指示スル所ニ依リ處分スルコト

第八條 占有ノ延長及占用料金ハ復興事業局第何出張所長ノ承認シタル占用位置ニ依リ決定スルモノトス
前項ノ決定ハ工事竣功ノ後之ヲ確定ノ上通知ス

第九條 占用地域内ノ在來道路ノ占用位置ノ承認ヲ得テ新設シタル工作物カ道路ノ新設擴張又ハ廢道ノ爲移設若ハ撤去ノ必要ヲ生シタルトキハ區劃整理施行者ノ指定スル所ニ從ヒ許可ヲ得タル者ノ費用ヲ以テ之ヲ施行スルコト

第四號様式

年 月 日

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

三七一

年 月 日

東京市何區何町何番地

何々會社

社長 何

某印

第六號樣式

東京市復興事業局第何出張所長宛

年 月 日

何官公署代表者名

東京市復興事業局第何出張所長宛

市長執行第何地區内工作物占用並廢止位置承認方ノ件照會

昭和何年何月何日附何々第何號市長承認ニ係ル第何地區内工作物左表並圖面ノ通(新設、撤去、埋殺)致度候間占用位置御承認相成度候也

占用場所	種類	延長	區間記號	著功手	豫定期日	摘	要

第七號樣式

東京市長執行第何地區内工作物占用並廢止位置承認願中貴所關係部分ニ對スル圖面送付ノ件

昭和何年何月何日附何々第何號東京市長許可ニ係ル第何地區内道路占用並工事施行ノ件ハ東京市復興事業局第何出張所長へ何年何月何日附ヲ以テ工作物位置承認ノ手續致候ニ付テハ左表貴所關係部分ノ圖面別紙ノ通送付候也

工種名稱	種類	形狀	寸法	單位	員數	摘	要

年 月 日

東京市何區何町何番地

何々會社

社長 何

某印

復興局第何出張所長宛

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

昭和何年何月何日附何々第何號願第何地區內工作物中何番地先(區間記號)何々占用位置ノ件左記ノ通承認候也

年 月 日

記

東京市復興事業局第何出張所長

		工事箇所	種類	延長	區間記號	竣功手豫定年月日	摘要

第十號樣式

年 月 日

東京市復興事業局第何出張所長

何官公署代表者名宛

第何地區內工作物何々占用位置承認ノ件

昭和何年何月何日附何々第何號願第何地區內工作物中何番地先(區間記號)何々占用位置ノ件左記ノ通承認候ニ付御了知相成度候也

		工事箇所	種類	延長	區間記號	竣功手豫定年月日	摘要

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

附 錄 丙 地下埋設物其他工作物整理

第十一號樣式

年 月 日

東京市何區何町何番地

何々會社

社長 何

某印

(又ハ何官公署代表者名)

東京市復興事業局第何出張所長宛

第何地區整理工事竣功屆

一 占用許可(承認)年月日 昭和何年何月何日

一 占用位置(承認)年月日 昭和何年何月何日

一 竣功年月日 昭和何年何月何日

內 譯

工事箇所名稱種類	形狀寸法單位	掘上埋設新		
		員	數	規

工事箇所名稱種類	形狀寸法	單位	員數	
			掘上	埋設新規

第十二號様式

年 月 日

復興事業局長宛

復興事業局第何出張所長

要委囑道路補修所要箇所報告ノ件

昭和何年何月何日附何々第何號ヲ以テ道路占用許可(承認)相成候何區何町何番地何某施行何々工事左記通竣功候條補修工事委囑ヲ要スルモノニ候條及報告候

記

地區名	占用位置承認 年月日番號	工事箇所	竣功年月日	延長	幅員	面積

記載例

- 一 本文昭和何年何月何日附何々第何號ハ市長指令ノ年月日番號ヲ記入スルコト
- 二 何區何町何番地何某トアルハ許可又ハ承認ヲ受ケタル者ノ住所氏名ヲ又何々工事トアルハ工事ノ種類ヲ記入スルコト
- 三 地區名稱ニハ許可又ハ承認ヲ受ケタル地區名ヲ記入スルコト
- 四 占用位置承認年月日番號欄ニハ出張所長承認ノ年月日番號ヲ記入スルコト
- 五 工事箇所欄ニハ占用位置ノ承認ヲ爲シタル工事箇所ヲ記入スルコト
- 六 竣功年月日延長幅員面積欄ニハ工事監督表ニ記載シタルモノヲ記入スルコト

第十三號様式

年 月 日

土木局長宛

復興事業局長

道路補修工事委囑ノ件

昭和何年何月何日附何々第何號ヲ以テ道路占用許可(承認)相成候何區何町何番地何某施行何々工事左記ノ通竣功候條補修工事委囑候也

附 邊 丙 地下埋設物其他工作物整理

記

地區名	占用位置承認年月日番號	工事箇所	竣功年月日	延長	幅員	面積

第十四號樣式

年 月 日

土木局長宛

復興事業局第何出張所長

道路補修所要箇所通知ノ件

昭和何年何月何日附何々第何號ヲ以テ道路占用許可(承認)相成候何區何町何番地何某施行何々工事左記ノ通竣功致シ補修工事ヲ要スルモノニ候條及通知候也

記

地區名	占用位置承認年月日番號	工事箇所	竣功年月日	延長	幅員	面積

記載例

第十二號樣式ニ同シ

第十五號樣式 占用名細簿

第十六號樣式 工事監督表

第十七號樣式 占用位置承認平面圖

第十八號樣式 占用位置調書

第十九號樣式 占用位置橫斷圖

街路内構造物配置標準ニ關スル件

(大正十五年十一月二十五日
各出張所長宛通牒區發第五二九八號)

街路内占用工作物配置ニ關シテハ特別ノ事由ナキ限り別冊街路内構造物配置標準圖ニ準據シ御處理相成度及通知候也

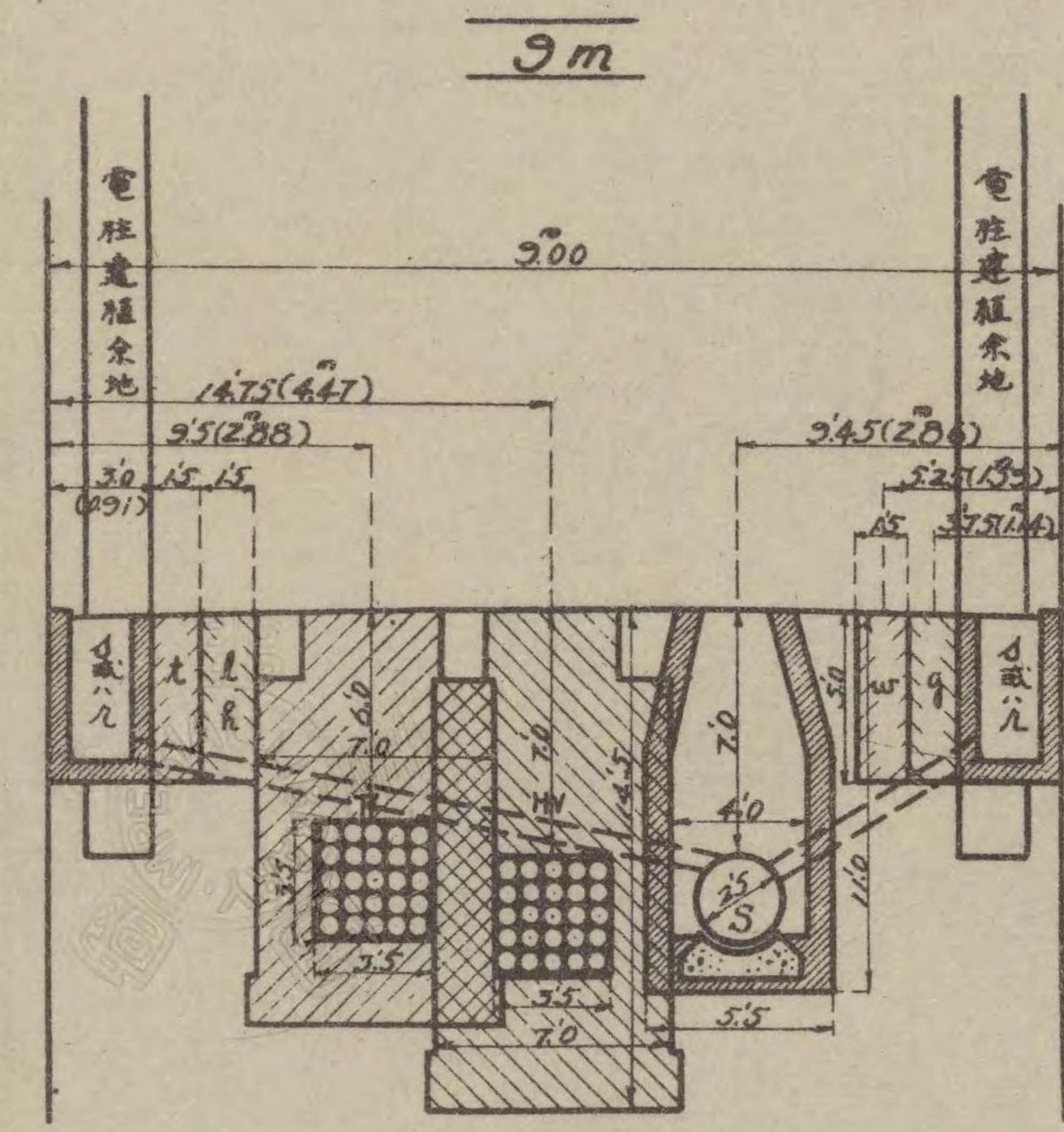
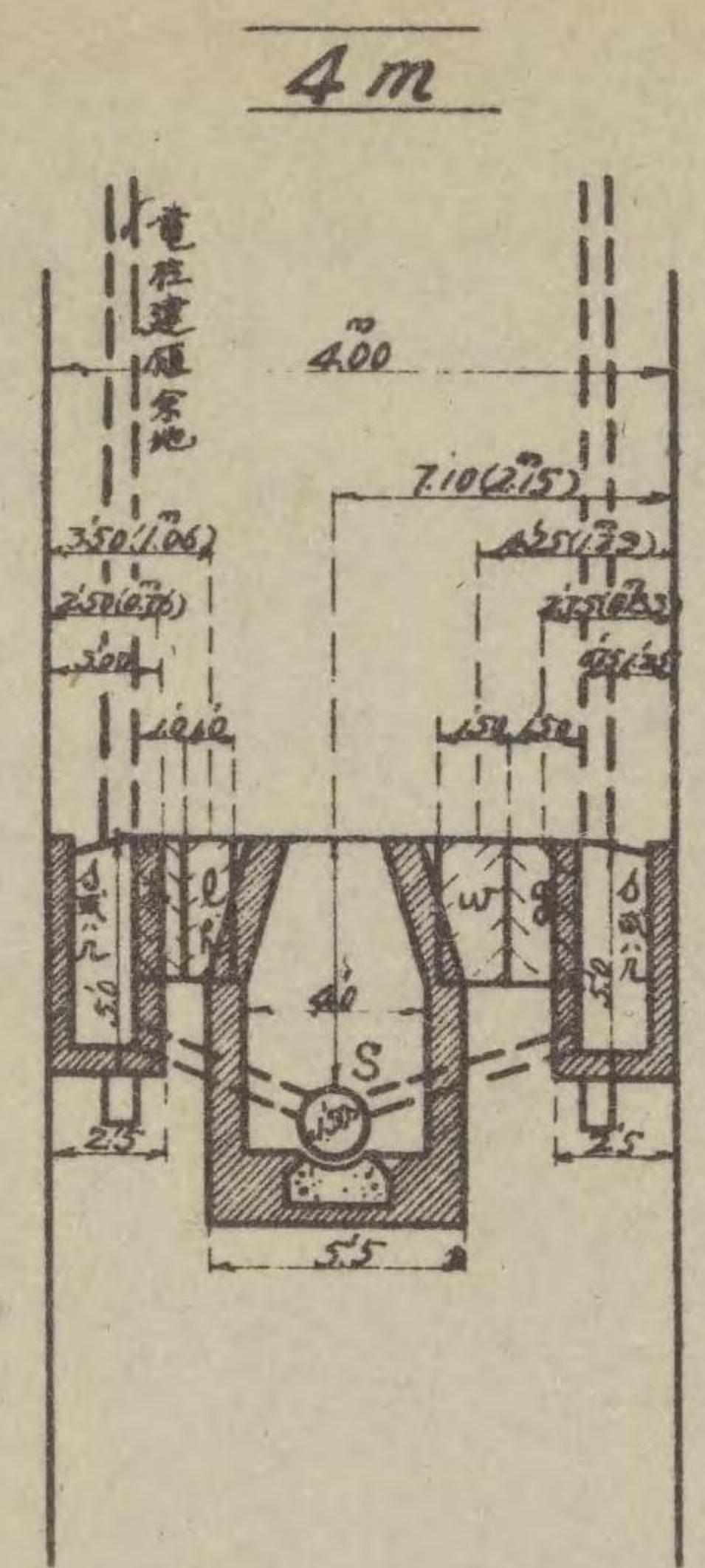
- 第十六號様式 工事監督表
- 第十七號様式 占用位置承認平面圖
- 第十八號様式 占用位置調書
- 第十九號様式 占用位置横斷圖

街路内構造物配置標準ニ關スル件 (大正十五年十一月二十五日)
 (各出張所長宛宛通牒區發第五二九八號)
 街路内占用工作物配置ニ關シテハ特別ノ事由ナキ限リ別冊街路内構造物配置標準圖ニ準據シ御處理相成度及通知候也

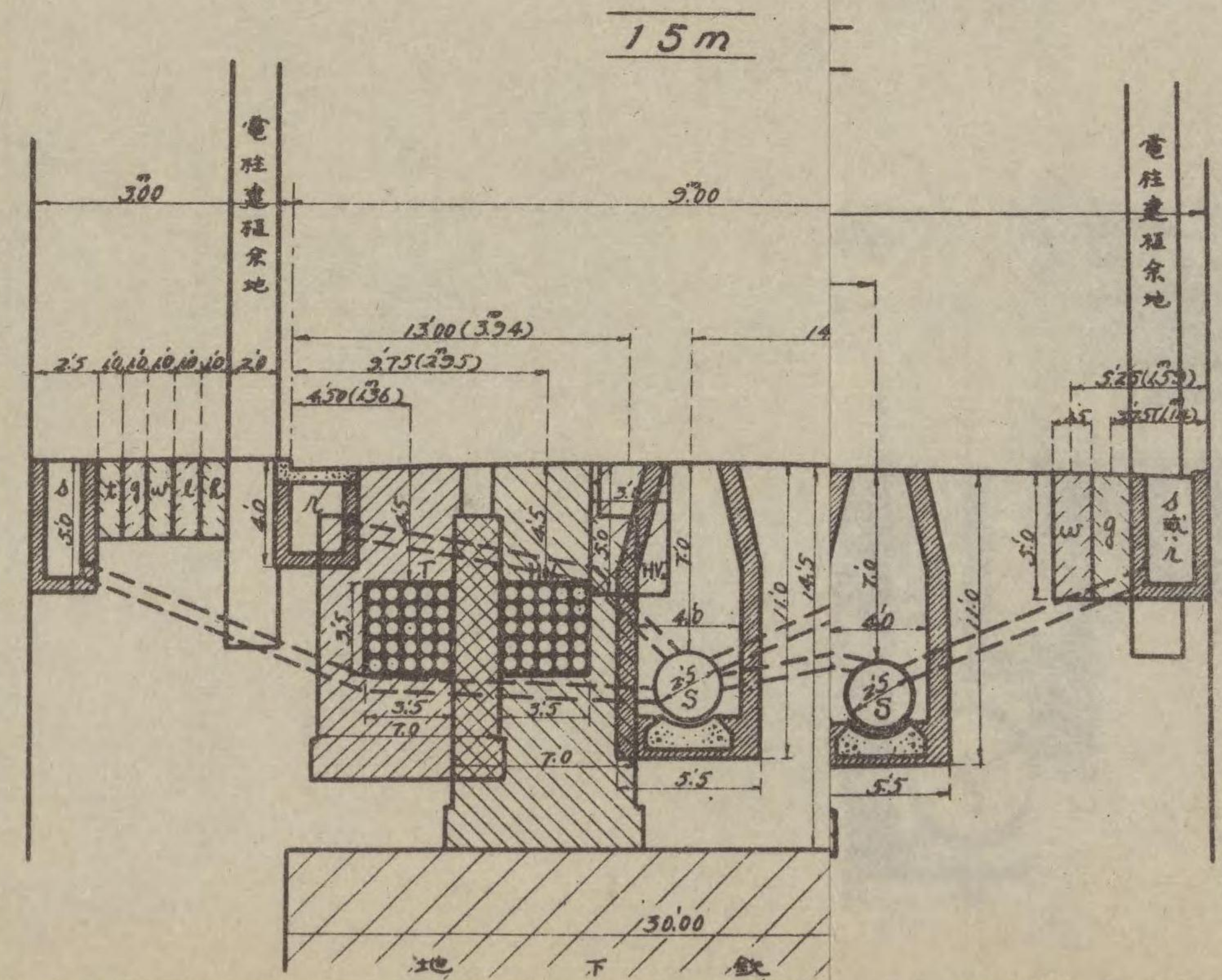
街路内構造物配置標準圖 其ノ一

街路内構造物配置標準

- 一 東京市内街路ニ於ケル工作物配置ハ特別ノ事由ナキ限
- ニ 電柱ハ成ルベク路幅内ニ建植セラルシテ直接又ハ共同引込塔ニシテ
- 三 電柱ノ路幅内ニ建植スル場合ハ有知路幅十尺以上ヲ存セシムルコト
- 四 根前線ノ路幅其他ノ關係ニ依リ必要アリシト認めル時ハ此ノ限リヲラズ
- 五 S人孔及ハ感ハルノ箇所ニ於テハ七尺以上ノ適宜迂曲スルモノトス



凡		埋設物種類		摘要	
高壓電線	HV	電信電話線	T	本線	支線
電線	凡	電線	凡	普通	五股五列



下水取付管ガW.G.L.ニ支障ヲ来ラス時ハ適宜之等ヲ上下スルコト

- 第十五號樣式 占用名細簿
- 第十六號樣式 工事監督表
- 第十七號樣式 占用位置承認平面圖
- 第十八號樣式 占用位置調查
- 第十九號樣式 占用位置橫斷圖

街路内構造物配置標準ニ關スル件 (大正十五年十一月二十五日)
 (各出張所長宛通牒區發第五二九八號)
 街路内占用工作物配置ニ關シテハ特別ノ事由ナキ限リ別冊街路内構造物配置標準圖ニ準據シ御處理相成度及通知候也

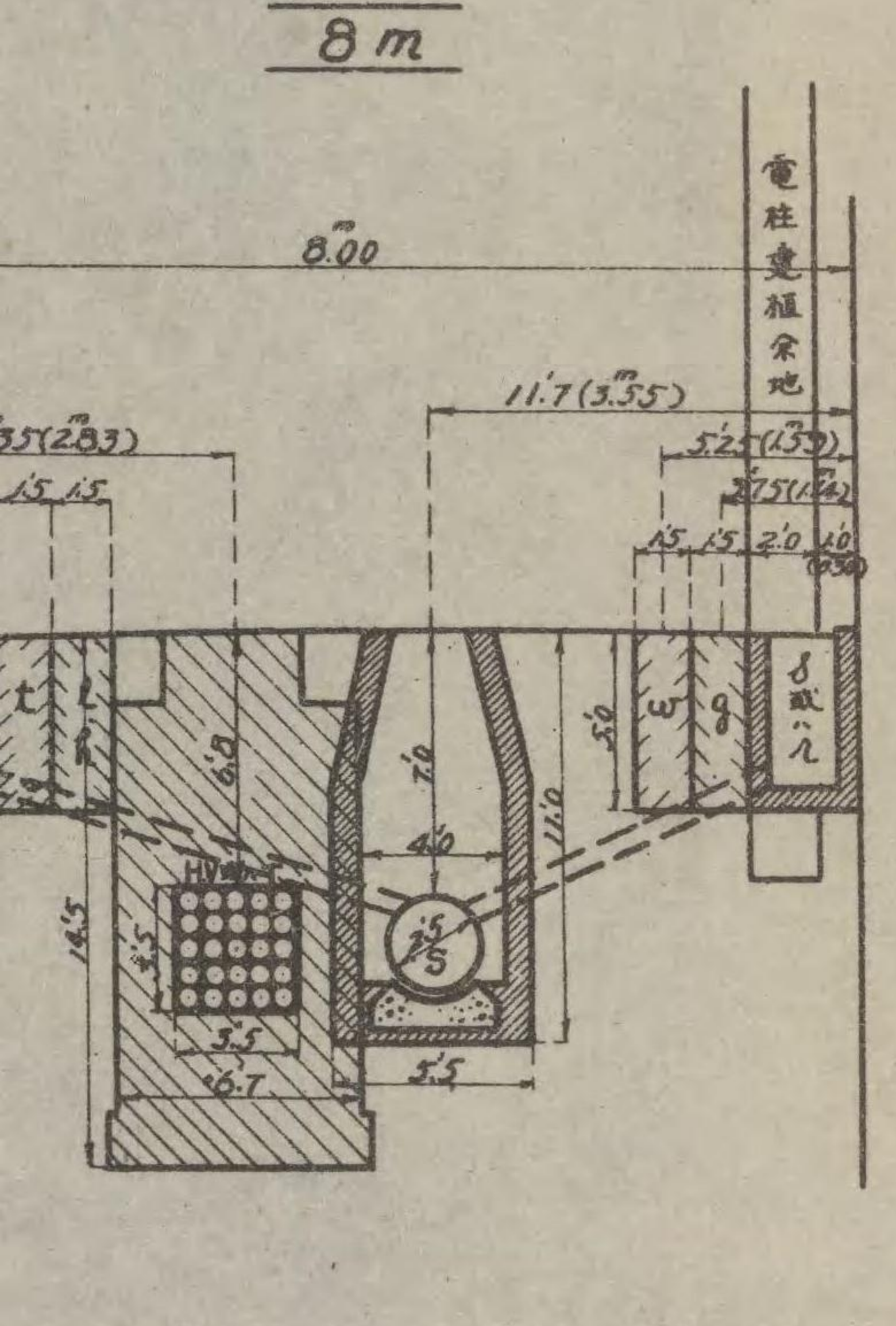
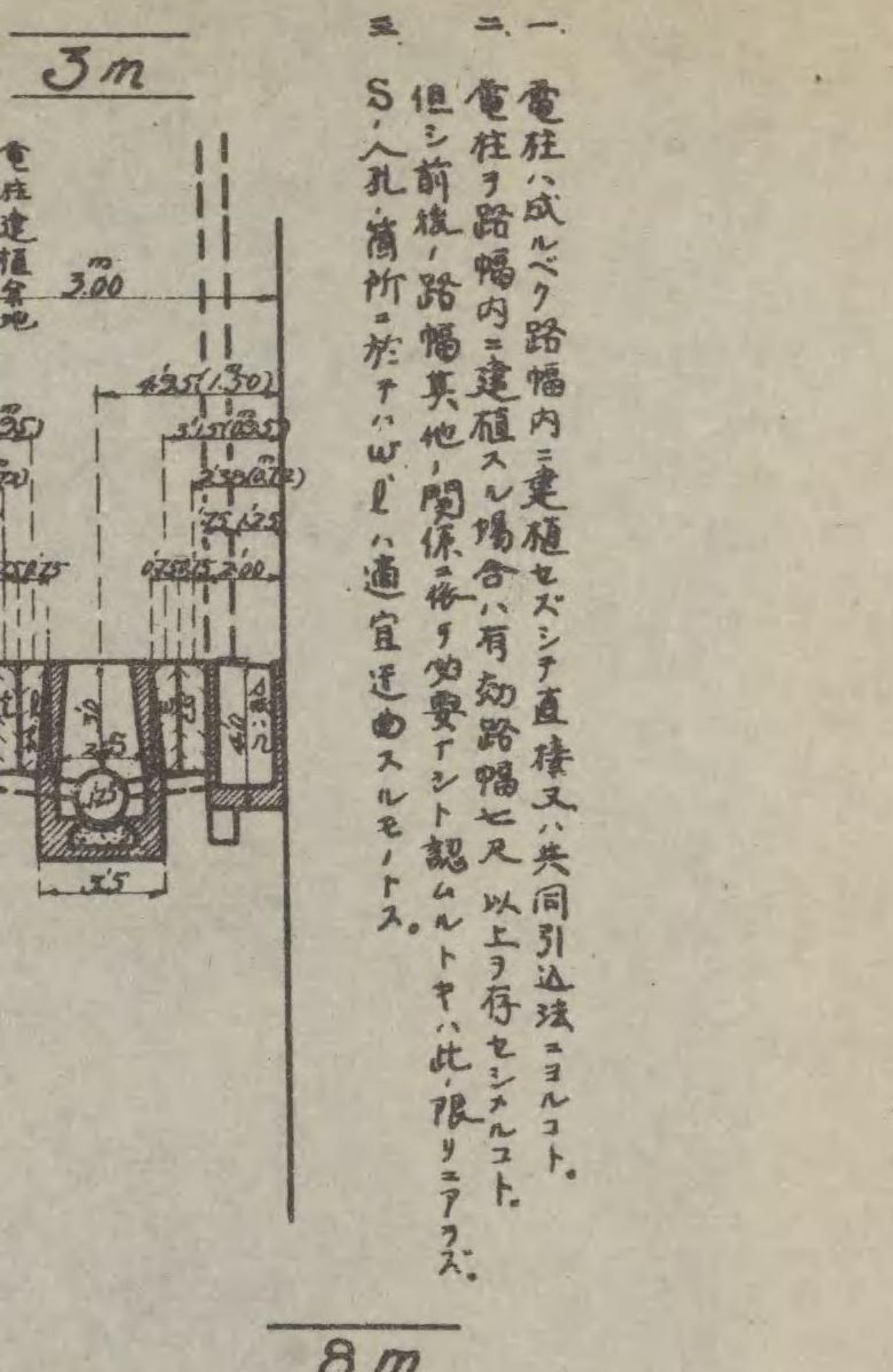
街路内構造物配置標準圖 其ノ一

街路内構造物配置標準

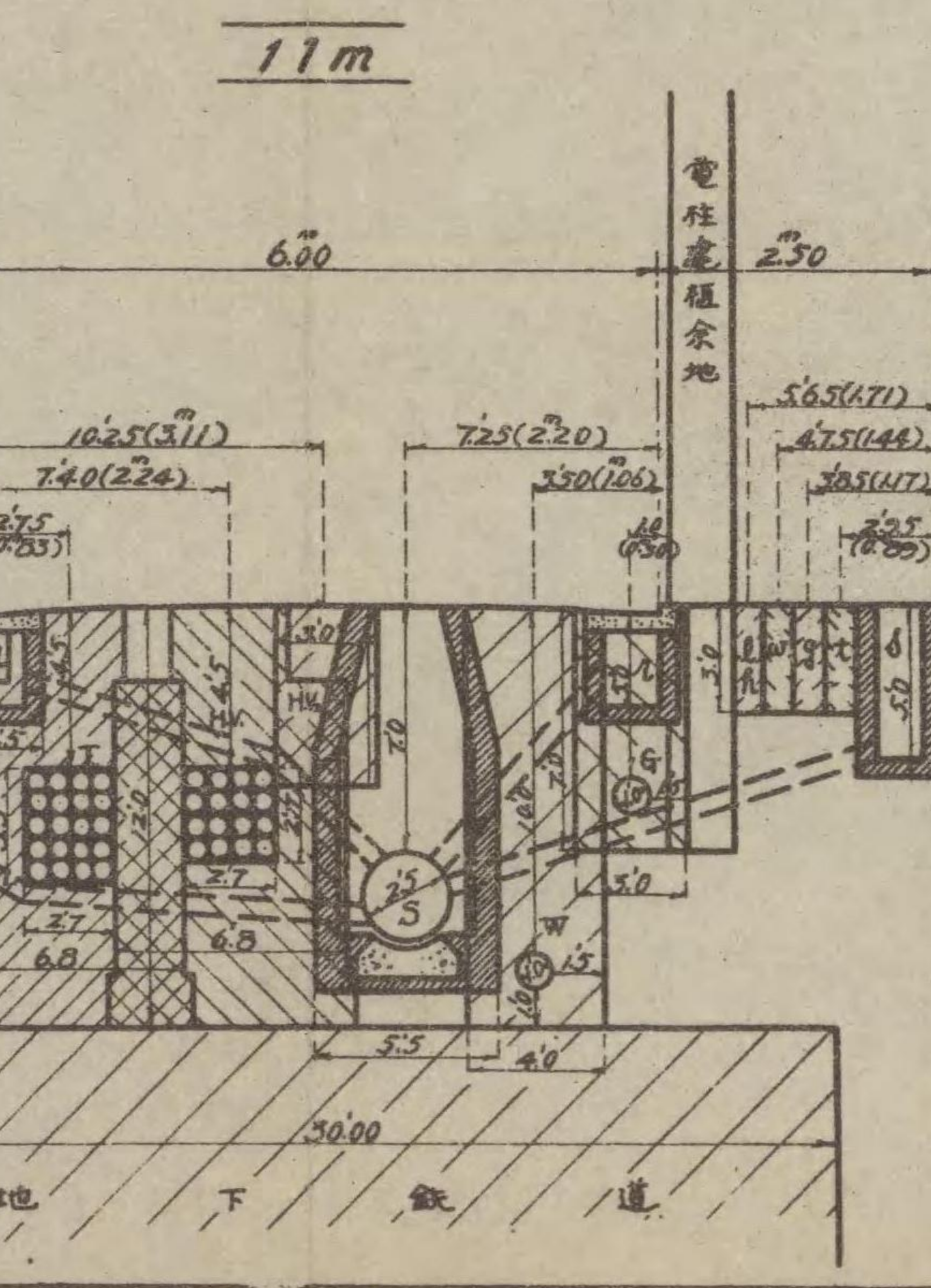
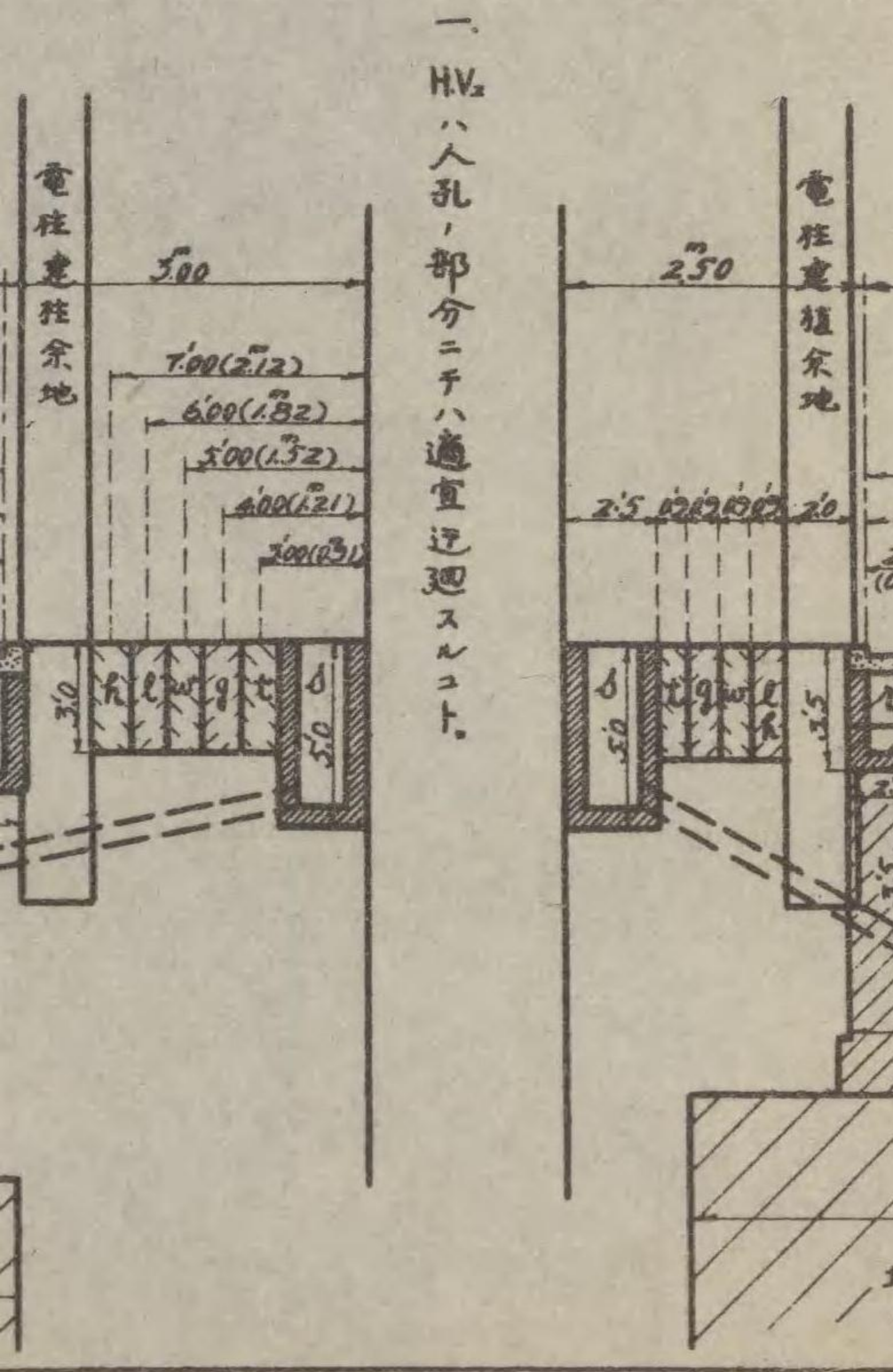
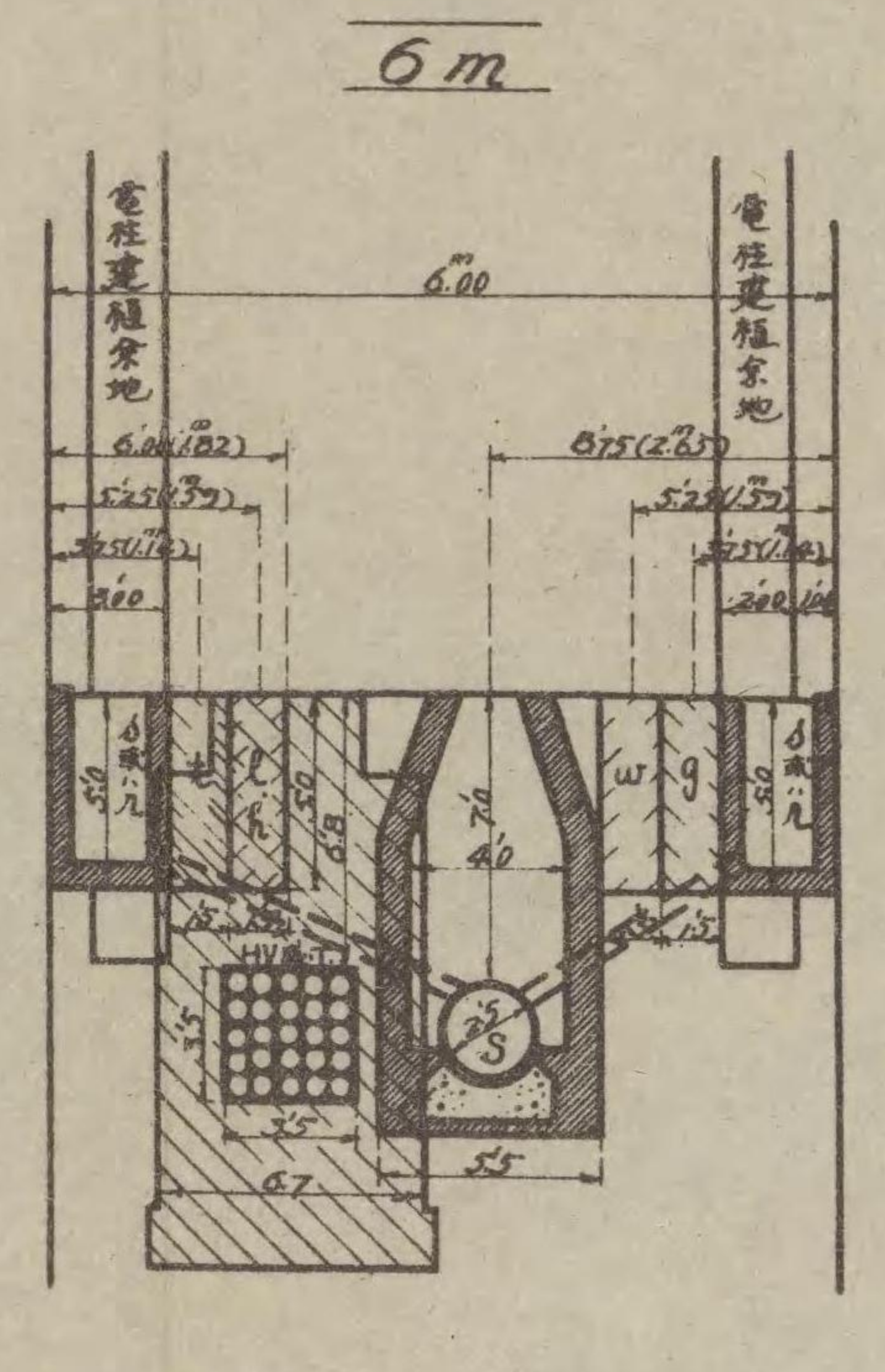
- 一 東京市内街路ニ於ケル工作物配置ハ特別ノ事由ナキ限リ本標準圖ニ依ル。
- 二 因例ハ通常北面又ハ東面シテ現地ニ適用スルモノトス。
- 三 本圖ハ新設街路ニ適用スルモノニシテ既設及改築街路ニ於テハ新設及改築街路ヲ本圖例ニ準據シテ整理シ將來成ル可ク總テ街路ニ於テ統一ヲ期セントスルモノトス。
- 四 各因例ニ於ケル各種管渠ハ各路幅ニ應ジ埋設セラレベキ標準徑ヲ採リタルモノナルヲ以テ實施ノ適用ニ當リテハ各街路ニ就キテ實際埋設セラレベキ管渠徑ヲ定メ歩車道兩側ヨリ因例配置順序ニ依リテ丈々所要ノ路幅ヲ占有セシムルモノトス。
- 五 埋設物ニ線以上交叉スル場合ハ下水管以外ニ在リテハ通常交叉点ニ於ケル埋設物軸線ノ比高ニ依リ上下ノ差ハ差當リ歩車道ヲ區分セザル場合ニ於テモ本標準圖依ル地下鉄道路ノ位置ハ他ノ工作物ニ支障ナキ限リ又ハ地下鉄道路ニ於テ支障工作物ヲ處理シ得ル場合ハ其頂面ヲ地表下五尺十八米以上ノ街路トノ横斷箇所ニ於テハ七尺迄高ムルコトヲ得。

例	凡
埋設物種類	本線支線
電信電話線	T
高壓電線	HV
電燈低壓線	W
氣送管	A
水道管	S
下水管	G
瓦斯管	g
	橋
	要
	HVハ普通五級五列
	徑四吋普通二級四列
	ハハ兩水科

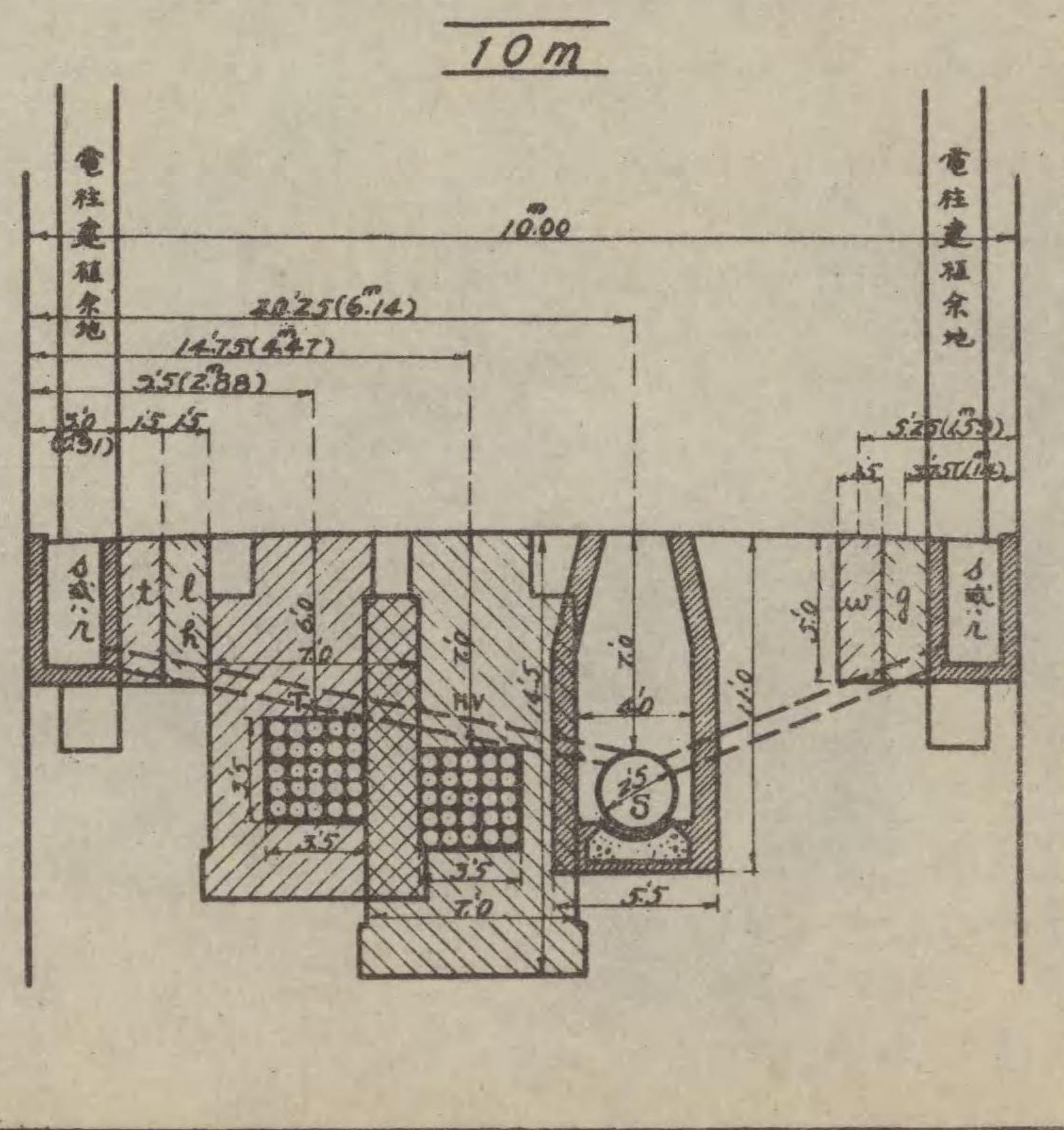
一 HV或ハTノ部分ニハハS管上卸ヲ迂曲スルモノトス
 二 下水取付管カワGノLニ支障ヲ來ス時ハ適宜之等ヲ上下スルコト



一 下水取付管カワGノLニ支障ヲ來ス時ハ適宜之等ヲ上下スルコト



一 HVハ八人孔ノ部分ニハ適宜迂曲スルコト



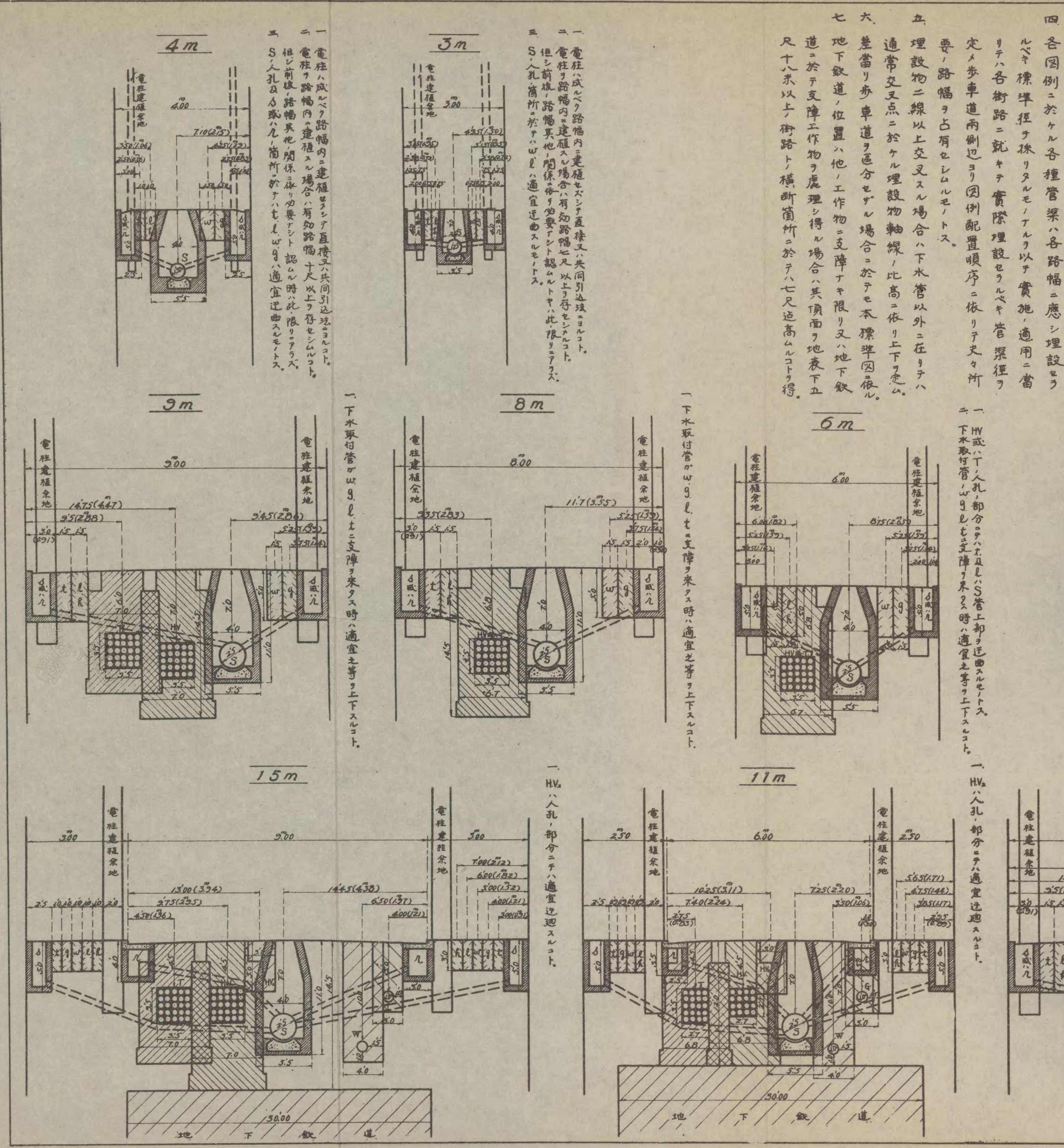
一 下水取付管カワGノLニ支障ヲ來ス時ハ適宜之等ヲ上下スルコト

四 各図例ニ於ケル各種管渠ハ各路幅ニ應ジ埋設セラルベキ標準徑ヲ示サレタルモノナリテ以テ實地ノ適用ニ當リテハ各街路ニ就キテ實際埋設セラルベキ管渠深徑ヲ定メ歩車道兩側ヨリ例配置順序ニ依リテ定メテ所要ノ路幅ヲ占有セシムルモノトス。

五 埋設物ニ線以上交叉スル場合ハ下水管以外ニ在リテハ通常交叉点ニ於ケル埋設物軸線ノ比高ニ依リ上下ノ差ハ差當リ歩車道ヲ区分セザル場合ニ於テモ本標準圖ニ依ル地下鉄道ノ位置ハ他ノ工作物ニ支障ナキ限リ又ハ地下鉄道ニ於テ支障工作物ヲ處理シ得ル場合ハ其頂面ヲ地表下五尺十米以上ノ街路トノ横断面竹ニ於テハ七尺迄高ムルコトヲ得。

一 電柱ハ成ルベク路幅内ニ建植セシメテ直接又ハ共同引込線ニシテ電柱ヲ路幅内ニ建植スル場合ハ有知路幅十尺以上ヲ存セシムルコト。
 二 但シ前線ノ路幅其他ノ關係ニ依リテ必要ナルトキハ此限リヲテス。
 三 S人孔箇所ニ於テハWノ八適宜迂曲スルモノトス。

一 電柱ハ成ルベク路幅内ニ建植セシメテ直接又ハ共同引込線ニシテ電柱ヲ路幅内ニ建植スル場合ハ有知路幅十尺以上ヲ存セシムルコト。
 二 但シ前線ノ路幅其他ノ關係ニ依リテ必要ナルトキハ此限リヲテス。
 三 S人孔箇所ニ於テハWノ八適宜迂曲スルモノトス。



一 HV或ハT人孔ノ部分ニテハHノ管上初ヲ迂曲スルモノトス。
 二 下水取付管ハWノGノ支障ヲ来ス時ハ適宜之等ヲ上下スルコト。

一 下水取付管ハWノGノ支障ヲ来ス時ハ適宜之等ヲ上下スルコト。

一 下水取付管ハWノGノ支障ヲ来ス時ハ適宜之等ヲ上下スルコト。

一 HV人孔ノ部分ニテハ適宜迂曲スルコト。

一 HV人孔ノ部分ニテハ適宜迂曲スルコト。

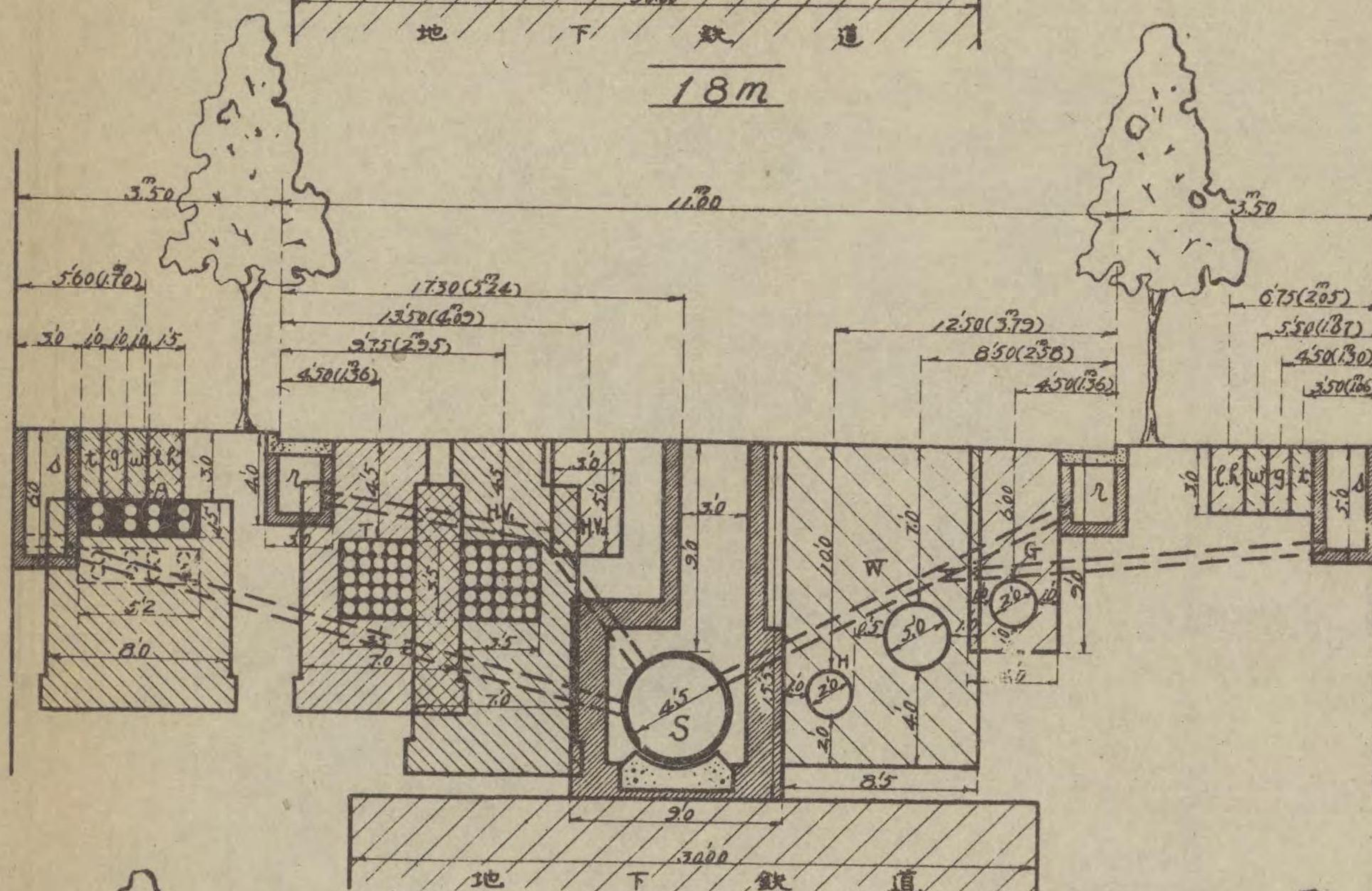
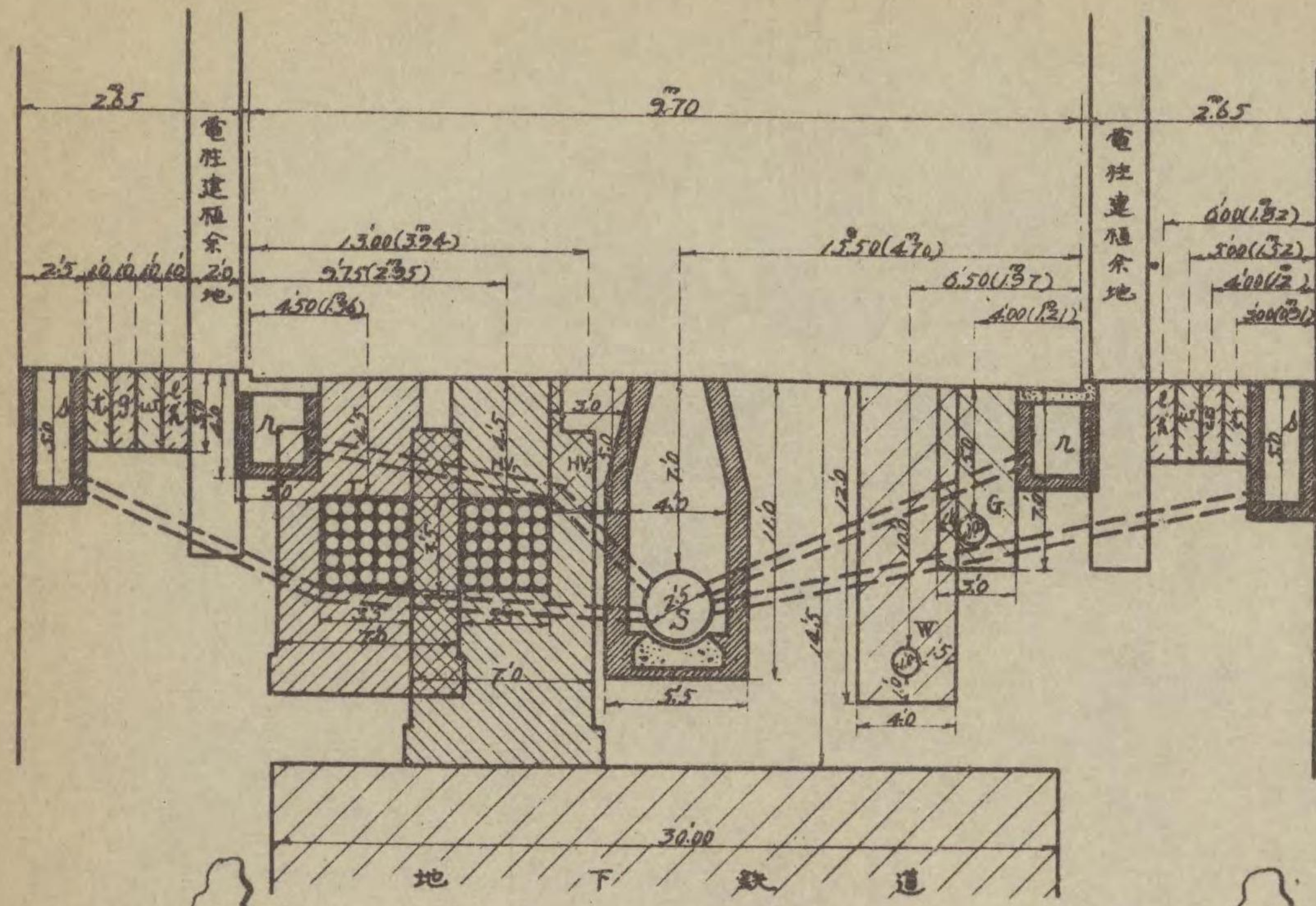
街路内構造物配置標準圖 其ノ二

一 本配置圖ハ補助線街路中文通量多キ特定箇所ニ適用スルモノトス。
 二 HVハ人孔ノ部分ニテハ適宜迂迴スルモノトス。

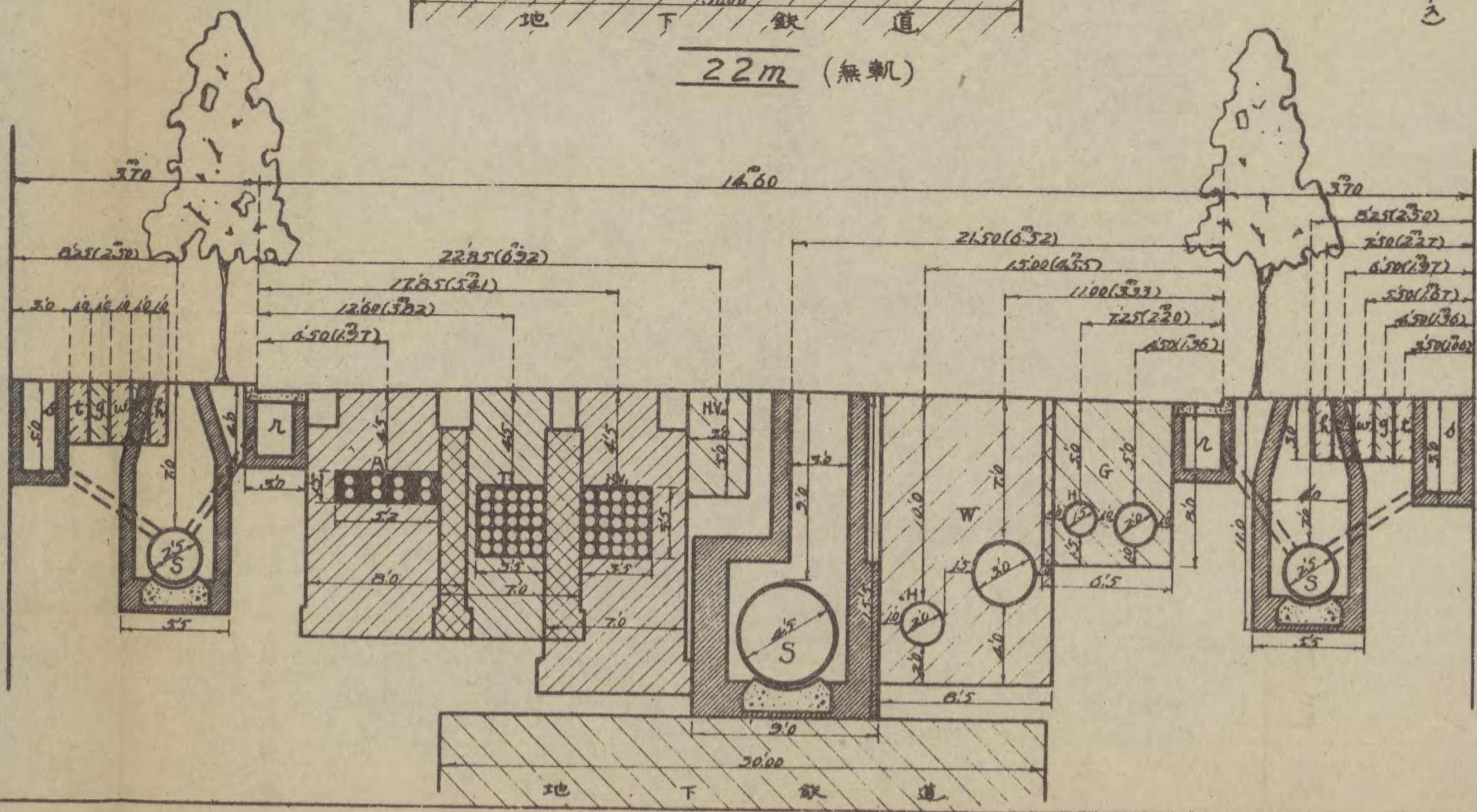
一 Aノシテハ人孔以外ハ土被ヲ三尺トシ人孔ニ於テハ破線ヲ示ス如ク土被五尺トス。
 二 氣送管ヲ埋設セザル道路ニテハハ破線ノ深サ五尺トス。
 三 電柱ヲ設ケル時ハ植樹帯ヲ利用スルモノトス。

一 電柱ヲ設ケル時ハ植樹帯ヲ利用スルモノトス。
 二 S歩道下人孔箇所ニ於テハハ破線等ハ適宜迂迴スルモノトス。

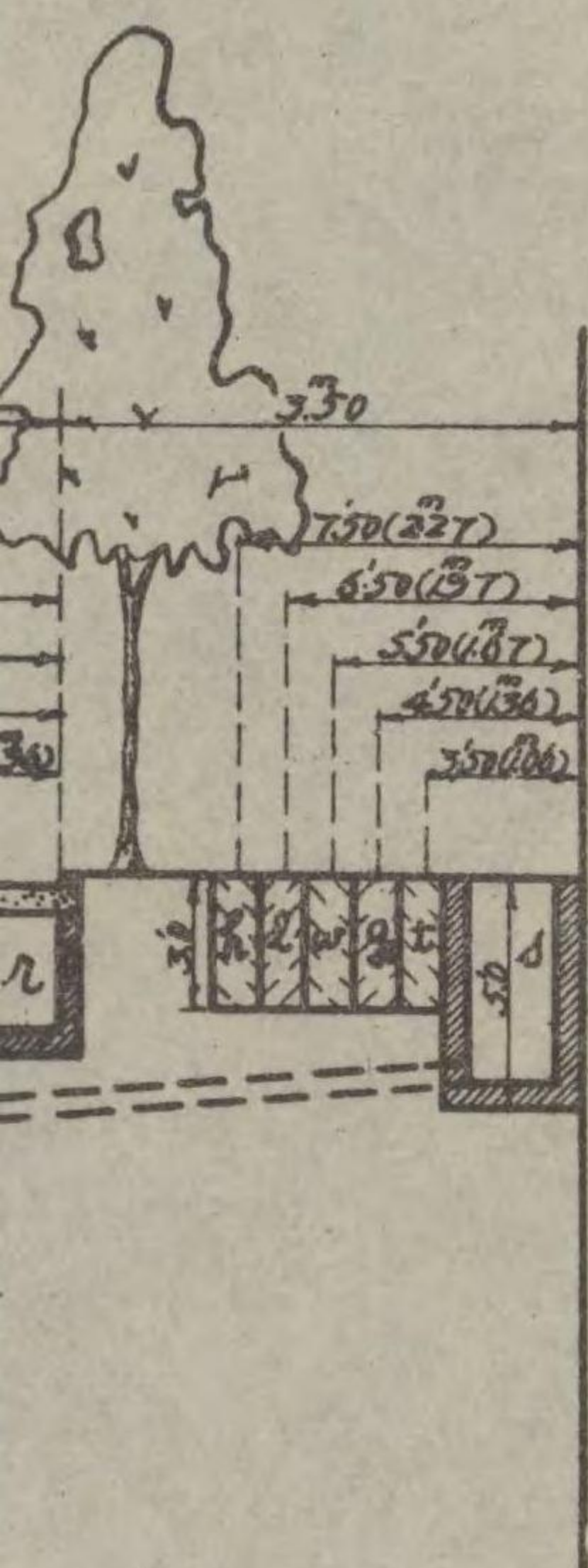
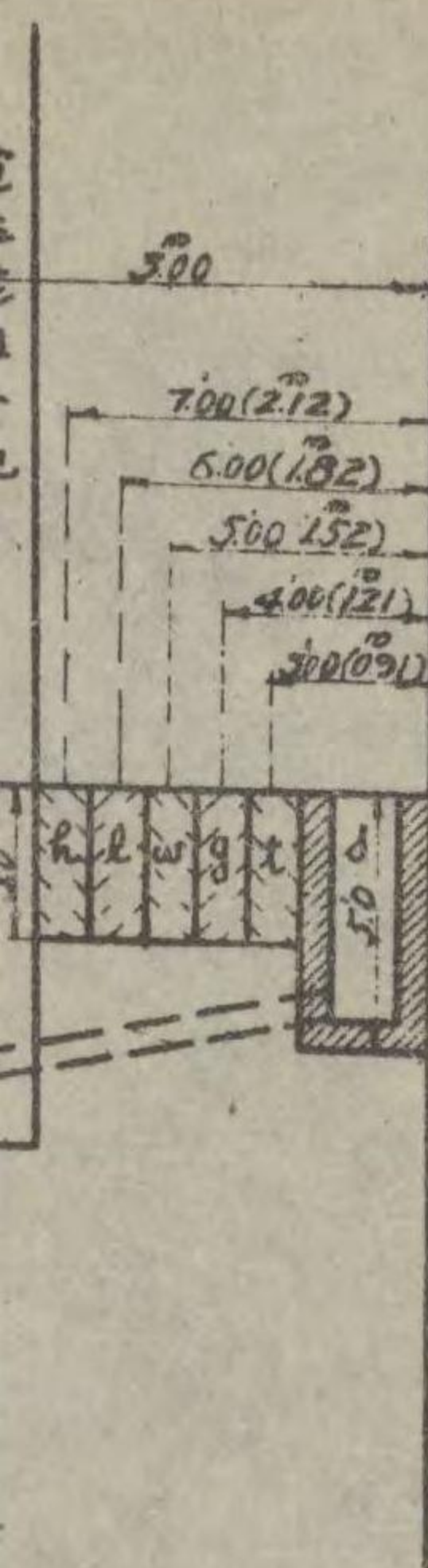
15m (特別)



22m (無軌)

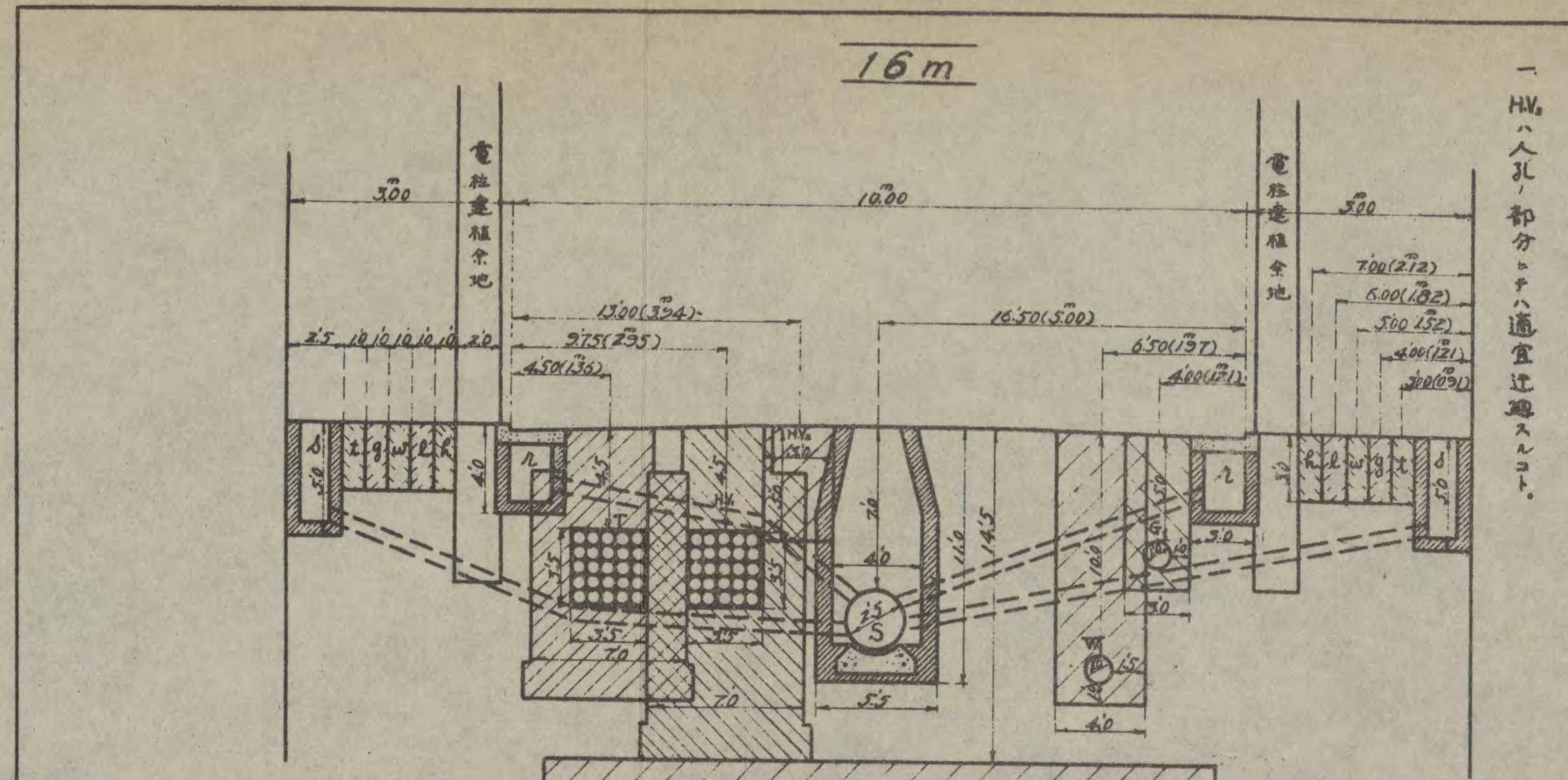


一 HVハ人孔ノ部分ニテハ適宜迂迴スルモノトス。

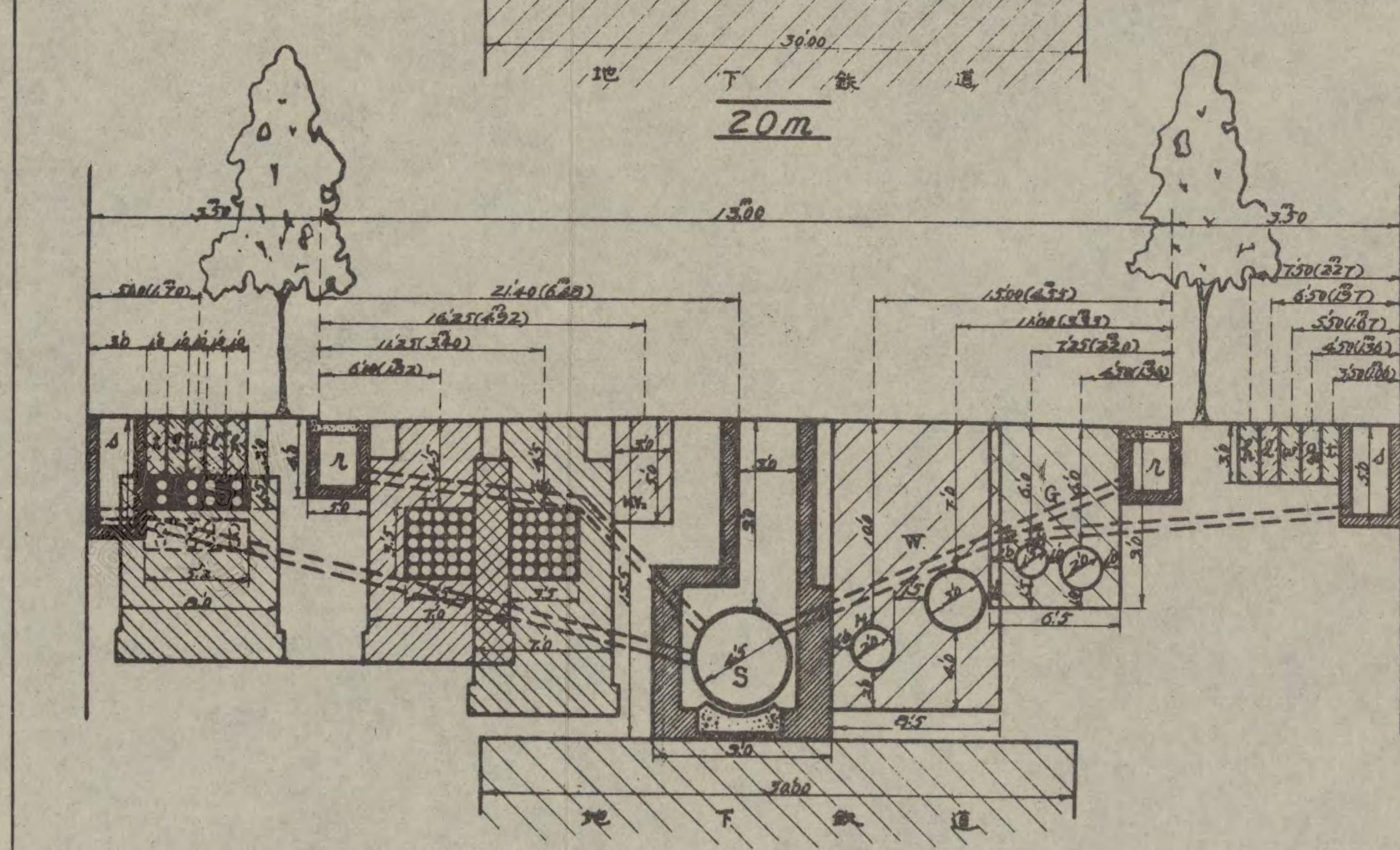


一 Aノシテハ人孔以外ハ土被ヲ三尺トシ人孔ニ於テハ破線ヲ示ス如ク土被五尺トス。
 二 氣送管ヲ埋設セザル道路ニテハハ破線ノ深サ五尺トス。
 三 電柱ヲ設ケル時ハ植樹帯ヲ利用スルモノトス。

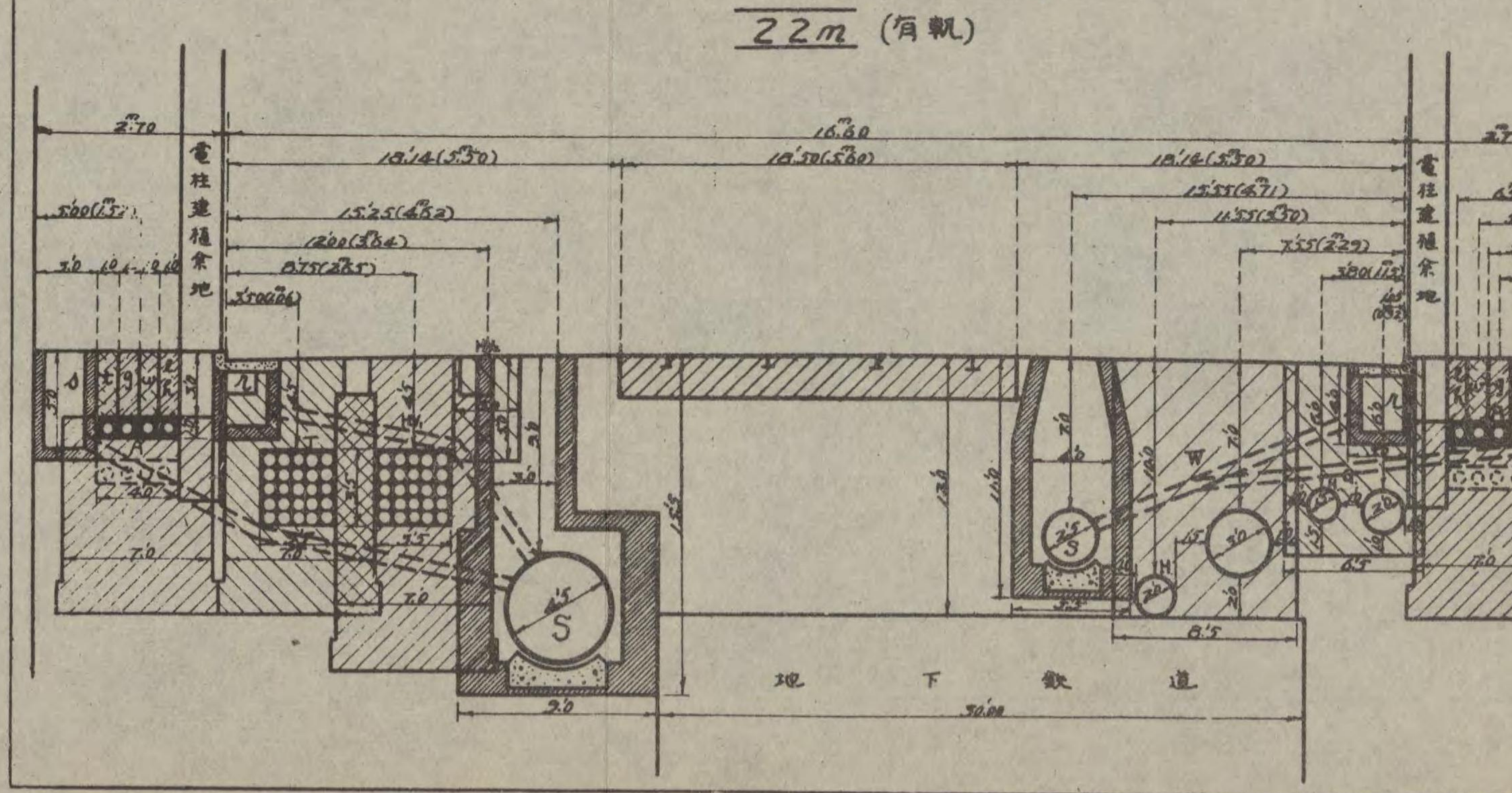
一 Aノシテハ四角ニシテ人孔以外ハ土被三尺トシ街路ノ兩側ニ設ケ人孔ニ於テハ破線ヲ示ス如ク土被五尺トス。
 二 HVハ人孔ノ部分ニテハ適宜迂迴スルモノトス。
 三 HVハSトHVノ間ヲ迂迴スルモノトス。



一 HVハ人孔部分ハ適宜迂廻スルコト。



一 Aノシフトハ人孔以外ニテハ土被リ三尺トス(人孔ニ於テハ破線ニテ示ス如ク被土ス)
 Aノ人孔箇所ニ於テハ土被リハ見立ハ迂廻スルコトス
 二 気送管ヲ埋設セザル道路ニテハハ破線ヲ深サ五尺トス
 三 電柱ヲ設ケル時ハ植樹帯ヲ利用スルコト



一 Aノシフトハ四條ニシテ人孔以外ニテハ土被三尺トシ街路ノ兩側ニ設ケ人孔ニ於テハ破線ニテ示ス如ク土被五尺トス
 Aノ人孔ノ外ニ於テハ土被リハ見立ハ迂廻スルコトス
 二 HVハストHMノ間ヲ離ラセヨトス

三 電柱ヲ設ケル時ハ植樹帯ヲ利用スルコト

西湖內景建築設計圖(其一)

